

515-143



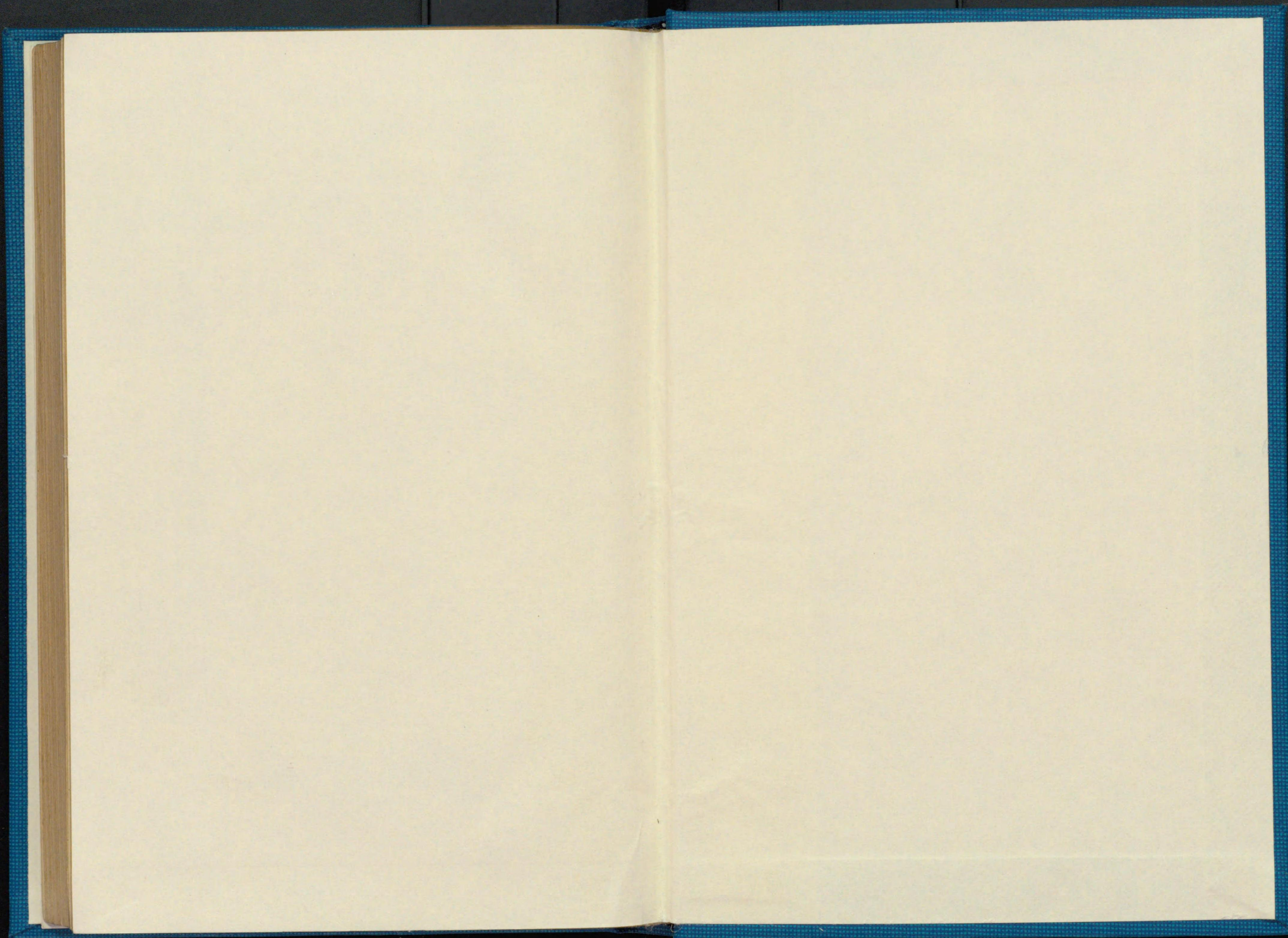
1200501487133

15

143



複写



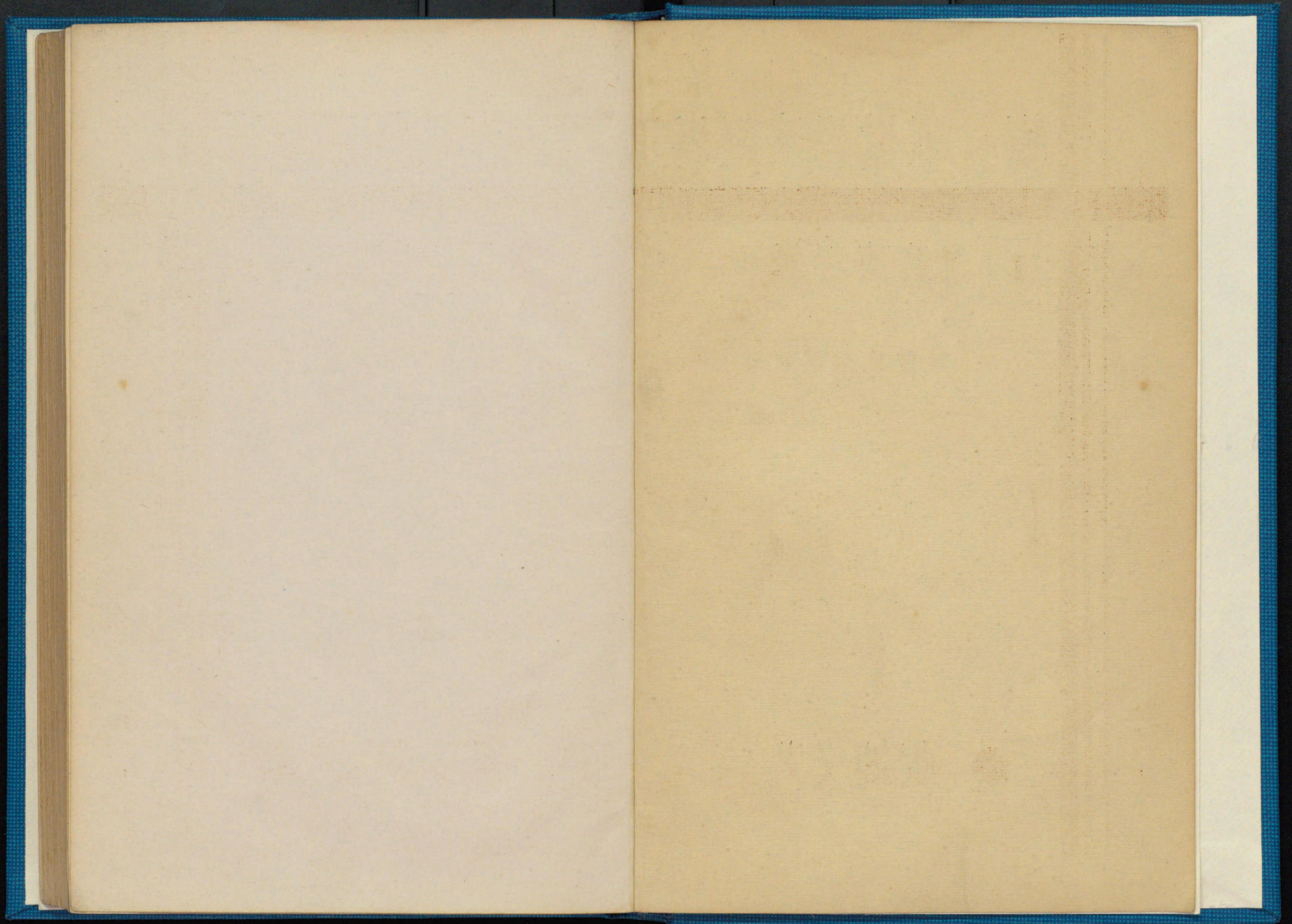
工 3F
91

一九三〇年
世界經濟恐慌第一輯

1 世界經濟叢書

經濟批判會譯編

● 叢文閣版



262



一九三〇年
世界經濟恐慌第一輯



經濟批判會譯
世界經濟叢書

(I)

叢文閣版



叢文閣



H15-143

『世界經濟叢書』の發刊に際して

世界政治情勢が切迫し複雑化しつゝある現在の時期に於て、世界經濟の研究は重要且つ緊急な課題の一つでなければならぬ。一九二八年四月以來ヴァルガの『世界經濟年報』を刊行し來つた吾々は更に『世界經濟叢書』を發刊し、吾が國に於ける世界經濟研究のために微力を盡さうとするものである。

吾々は、『世界經濟叢書』に於て、世界經濟に關するマルクス主義理論家の研究を紹介すると共に、吾々自らの研究をも發表する計畫を有してゐる。即ち資本主義諸國の經濟（經濟恐慌、農業恐慌、失業、國際的對立の經濟的基礎等々）、植民地及び半植民地の經濟（支那、印度、南米等に於ける革命運動の經濟的基礎等々）、サヴェート同盟の社會主義經濟（五ヶ年計畫、景氣等々）、これらのものが『世界經濟叢書』に於て取扱はれるであらう。

同情ある批判と支持とを希望するものである。

一九三〇年九月

發刊に際して

經濟批判會

編 譯 者 序

- 一 本書は、現在の世界經濟恐慌に關するコミンタインの理論家達の論文を、翻譯編輯したものである。
- 二 第一部の三つの論文に於ては、全體としての世界經濟恐慌のマルクス主義的分析と、その發展の見透しとが與へられてをり、第二部以下に於ては、アメリカ合衆國、東^レ及び中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、植民地及び半植民地に亘る世界經濟恐慌の全様相の展望と、その理論的分析とが與へられてゐる。日本についての論文を本輯から省いたのは、別に翻譯紹介があるので、重複をさけたのである（戦旗社發行『片山潜論文集』収録の日本恐慌についての論文の如き）。
- 三 プルヂョア經濟理論は、世界經濟恐慌に直面してその完全な無力さを曝露した（プルヂョア景氣豫測の無力、既に開始した恐慌の否認、恐慌原因の説明と今後の發展の見透しとに關する混亂）。これに反して、プロレタリアートの經濟科學が、恐慌研究の領野に於ても亦たいかに鋭く且つ正しい分析を與へ得るかは、本書の諸論文がこれを示してゐる。既に賢明なる日本の經濟學者諸君はそれらの文献を利用し、俗流學化することをよく心得られてゐる（その出所を明記し、或は明記せず）。例へば『經濟往來』五月號社會時評石濱知行氏『アメリカ取引所恐慌』は本輯におさめたルービン・シュタインの論文を、出所を示すことなく、抄譯されたものである。

四 吾々は、世界經濟恐慌の今後の發展に關しても、紹介及び研究の發表を續けるであらう。

五 本書中の二三の論文が取扱つてゐた詳細な政治的論議は、種々の事情によつてこれを省略した。また同様に収録論文の出所も明記しなかつた。

六 インターナショナル編輯部は「世界經濟恐慌」のプログラムを發表してゐる。その收めるところの論文はいづれも、注目に値するマルクス主義文献である。本輯讀者の併せて参照せられんことを希望する。

一九三〇年九月

編 譯 者

一九三〇年世界經濟恐慌 第一輯 目次

第一部 世界經濟恐慌

- 一 世界經濟恐慌、ストライキ闘争及び失業.....一
- 一 二三の暫定的結論.....一
- 二 恐慌の地理.....三
- 三 恐慌の諸結果.....八
- 二 恐慌擴大と物價低落.....一二
- 一 資本主義の一般的危機と經濟恐慌.....一二
- 二 恐慌擴大.....一五
- 三 世界物價水準.....一六
- 四 物價低落.....二〇
- 五 債務關係と所得分配.....二四
- 三 第三期と世界經濟恐慌.....二六
- 一 第三期の問題.....二六

二 世界經濟恐慌……………二八

三 寄生的金融資本の増大……………三三

四 農業恐慌……………三四

五 信用統制によつて恐慌は防止できるか？……………三六

六 『高い賃銀』によつて恐慌は防止できるか？……………四三

七 本當の恐慌防止……………四九

第二部 アメリカ恐慌……………

一 取引所大動亂と近づける經濟恐慌……………五〇

一 取引所大動亂來る……………五〇

二 アメリカ資本主義の寄生的頽廢……………五五

三 取引所大動亂の經濟的諸結果……………五九

四 經濟恐慌の發展と革命的労働者運動……………六四

二 合衆國の恐慌……………六九

一 恐慌と市場争奪闘争……………六九

二 失業と労働者闘争……………七四

三 アメリカ恐慌の進行……………

一 金融情勢……………七九

二 大衆失業の進行……………八一

三 『合衆國の恐慌は資本主義史上最も激烈な恐慌となるだらう』……………八三

四 恐慌の激化……………八五

五 自動車工業に於ける恐慌……………八七

六 生産に於ける恐慌……………九〇

七 商業及び運輸……………九四

八 アメリカに於ける經濟恐慌の諸作用……………九七

第三部 東ニ及び中央ヨーロッパ……………

第一 ドイツの經濟恐慌……………一〇三

一 ドイツ資本主義の危機……………一〇三

二 ドイツ資本主義内部に於ける發展の不均等……………一〇四

三 外國資本への依頼……………一〇五

四 市場問題、合理化と労働者階級……………一一〇

五 ヤング案とドイツ資本主義の危機……………一二二

六 アメリカ恐慌とそのドイツ資本主義への作用……………一二四

第二 世界恐慌のポーランド断片……………一二九

一 経済恐慌……………一二九

二 経済的見透し……………一三五

三 ファシスト陣營の恐慌克服方策とその成果……………一三六

第三 オーストリア……………一三七

第四 チェコスロヴァキア……………一四〇

一 チェコスロヴァキアに於ける経済恐慌……………一四〇

一 経済恐慌と資本主義の一般的危機……………一四〇

二 農業恐慌……………一四一

三 工業に於ける恐慌の發展……………一四一

四 支拂差額の逆轉……………一五一

五 金融資本の壓迫と經濟闘争……………一五三

六 恐慌對策……………一五四

七 社會ファシスト政府の正體……………一五七

二 チェコスロヴァキア資本主義の危機……………一五九

一 經濟恐慌……………一五九

二 恐慌對策と合理化……………一六一

三 闘争の昂揚と社會ファシスト……………一六四

第五 ギリシヤ……………一六七

一 ギリシヤ恐慌と闘争の切迫……………一六七

一 恐慌來とその對策……………一六七

二 闘争の昂揚……………一七一

三 諸對立の激化……………一七五

二 恐慌の尖鋭化……………一七六

第四部 西南ヨーロッパ……………一八三

第一 フランス……………一八三

一 フランス恐慌の徴候……………一八三

- 一 フランス・ブルジョアジーの不安定……………一八三
- 二 産業に於ける一般的停滞……………一八四
- 三 フランス資本主義の特殊性……………一八六
- 四 農業恐慌……………一八七
- 五 恐慌対策と戦争準備……………一八八
- 六 労働者運動の躍進……………一八九
- 七 労働者運動の新しい特徴……………一九一
- 八 總括……………一九七
- 二 フランス恐慌の進展……………一九八
- 一 世界恐慌のフランスに於ける諸結果……………一九八
- 二 フランスに於ける經濟恐慌の徴候……………二〇〇
- 第二 イタリアの情勢とイタリア共産黨當面の任務……………二〇八
- 一 恐慌の開始……………二〇八
- 二 重要産業部門の合理化の發展……………二〇九
- 三 合理化の諸結果……………二二二

第五部 植民地及び半植民地……………二二五

- 第一 支那に於ける恐慌……………二二五
- 第二 南アメリカ……………二二九
- 一 ラテン・アメリカの經濟恐慌……………二二九
- 一 一般情勢……………二三九
- 二 二大競争者……………二四一
- 三 失業は急速に増大する……………二四三
- 四 アメリカ恐慌の影響……………二四四

目次

五 衝突の見透し……………三六

二 ラテン・アメリカの経済恐慌……………三六

第三 エチプトの恐慌……………三五

第一部 世界経済恐慌

一 世界経済恐慌、ストライキ闘争及び失業

(マニルスキー、一九三〇年三月十一日)

一三三の暫定的結論

今や世界経済恐慌の成熟は争ふ餘地のない事實である。一ヶ月半前にブルジョアジーの経済新聞には、まだ恐慌が合衆國から他の諸國へ傳播するかどうかといふ疑問が書かれてゐたし、また少し以前まで共産主義的新闻にも亦た——殊にプロレタリア獨裁の吾々の國でもサヴェート経済學者達の間で(スウロフ)——アメリカ恐慌の意義の過小評價が見られてゐたとしても、もはや今日では世界恐慌の成熟といふことは争はれないのである。世界経済恐慌の成長のテムボや度合や形態については色々の違つた意見があるが、右の事實は誰も否定することができないのだ。

續いて報告者は恐慌が巨大な社會政策的諸結果を齎すことを指摘し、すでに始まつてゐる経済恐慌から二三の政治的結論を與へる。これらの結論は大體次のやうである。

第一。戦後のあらゆるブルジョア理論の根柢に横はつてゐたアメリカの『繁榮』の理論、資本主義體制の調和と安泰との理論、資本主義經濟の計畫性の増大の理論、資本主義經濟の組織性と無政府狀

一 世界経済恐慌

態克服の可能性——無政府状態は自由競争の上に立つてゐた初期資本主義の一特性に過ぎないといふのだ——といったやうなこれらの理論は破産してしまつた。

結論の第二。アメリカの例外的地位に關するラヴストーン・ベッパの理論、繁榮理論の一變種に過ぎないこの理論は、破産してしまつた。

結論第三。恐慌はまた「組織化された資本主義」に關する社會民主主義的理論を片づけてしまふ（カウツキーの超帝國主義に關する理論、經濟的利害の國際的錯綜のうちに資本主義的矛盾を取り除く要素を見つけ出すヒルファードイングの「組織化された資本主義」に關する理論、及び最後に景氣の調整に關するこの理論の最新版、これはナフタリによつて擁護され今やドイツ労働總同盟の公認綱領になつてゐる）。

第四。恐慌は「組織化された資本主義」に關する殊にブハーリン一派との吾々の討論の結論をも引き出す。ブハーリン一派は、帝國主義の現在の時期には「市場、價格、競争、恐慌の問題は益々世界經濟の問題となり、一國內に於ては組織の問題と置きかへられる」かのやうな見解を、コミンタインの列伍のなかへも亦た持ち込まうと企てたのだ。アメリカ恐慌は次のことを明瞭にした。それは「市場價格、競争、恐慌の問題」は益々世界經濟の問題となるがそれと同時に、この問題はあらゆる個々の資本主義國家の内部に於て、外的矛盾と平行しそれと常に交互作用を起しながら増大して行く深刻な内的諸矛盾をば呼び起すといふことだ。

第五。恐慌は第三期の性質に關する吾々の右翼派及び調停派との鬭争に結論を與へる。

第六。恐慌の成熟は資本主義的合理化並びにその結果に關するコミンタインの立場の正しさを證明する。

第七。恐慌は嘘八百の非植民地化理論に關して結論を與へる。

最後に、資本主義諸國に於て成熟しつゝある世界經濟恐慌は、サヴェート同盟に於ける五ヶ年計畫の勝利ある實現に當面して、世界史的意義のある總決算をやるものだ。二つの世界體制が、即ちアメリカの資本主義的繁榮の體制と吾々の社會主義的建設の五ヶ年計畫とが衝突するのだ。

吾々の五ヶ年計畫と集團化との眞の世界史的意義を正しく評價し得るためには、これらに對する全資本主義社會の恐怖を見なければならぬ。帝國主義者共の側からのサヴェート同盟攻撃の危険は増大した。帝國主義的反サヴェート戦線は擴大しつゝある。アメリカがそのなかで指導的役割を演じ始めてゐる。そしてアメリカ資本主義の地位が震撼さればされるほど、アメリカ・ブルジョアジの反サヴェート政策は益々積極的になるだらう。

二 恐慌の地理

現在の恐慌の國際的性質を示すどういふ指標があるか？ その指標は價格の反落、株相場の下落、資本發行の縮小、一聯の植民地諸國に於ける爲替相場恐慌、破産數の増加、一聯の諸國に於ける生産の不規則的な反落、及び最後に破局的な大きさを有する失業だ。價格下落は恐慌の國際的性質の眞の

指標だ。價格下落の状態はどうか？ 私は最近數ヶ月間の價格下落に關する數字を二三引證しやうと思ふ。例へば小麥の價格は一九二九年中に一〇・四％、一九三〇年のたつた一ヶ月の間に一二・六％下落した。棉花の世界價格は一年間に一四・七％、一ヶ月間に六％下落した。オーストラリアの羊毛の價格は昨年の中に三九・五％、一九三〇年の一ヶ月に二一・二％下落した（周知の通りオーストラリアは雜誌『流れに抗して』の經濟學者たちから、現在隆盛の段階にある諸國のなかに數へられてゐるのだ）。黄麻の價格は一年間に二〇％、一ヶ月間に四・五％下落した等々。昨一九二九年に比して皮革は一五％、綵皮は一〇％低落した。ゴム價格は三〇％、錫は一九％、銅は七％下落した等々。

世界經濟恐慌の發展を述べるに當つて諸國の四つの型を確認することができる。何よりも先づ北アメリカ合衆國。第二に東Ⅱ及び中央ヨーロッパ。第三に植民地及び半植民地即ち印度、支那及び南アメリカ。第四に私が前恐慌景氣の諸國と呼びたいと思ふ諸國、西ヨーロッパ、フランス、イギリス及びスカンディナヴィア諸國の一部をそれに數へることができる。

(一) 合衆國。合衆國の恐慌は世界經濟恐慌の最も重要な根本的部分だ。だが合衆國の恐慌は一九二〇年の恐慌の鋭さにはまだ達してゐない。『アナリスト』によれば一九二九年の生産指數は次のやうだ。七月一〇八、八月一〇六、九月一〇五、十月一〇三、十一月九四、十二月八九。従つて生産は約一八％低下してゐる。これは年々の季節的變動を考慮に入れてないのだから、實際には生産はもつと多く減退してゐるのだ。鐵道工事諸會社の注文に關聯して、一月には冶金工業と鋼鐵工業とにいく

らかの恢復が見られる。だがそれと同時に消費商品を生産する工業部門の状態はなほ一層悪化した。

同志諸君、諸君は、フーヴァーと工業家連中や金融業者仲間との商議に従つて經濟恐慌克服のために講じられた方策が大騒ぎされたことを思ひ出すだらう。諸君はフーヴァーのプログラムが建築事業を發展させるにあるといふことを思ひ出すだらう。フーヴァーの方策の成果はどうか？ 今のところこの成果は少しも顯著でない。一九三〇年一月の建築契約總數は一九二九年に比して五五％少い。

(二) 東Ⅱ及び中央ヨーロッパ。恐慌に襲はれてゐる第二のグループは東Ⅱ及び中央ヨーロッパの諸國である。これらの諸國の個々の國では（オーストリア、ポーランド）、合衆國より以前に恐慌が展開してゐる。これらの諸國グループは長い經濟的沈滞——それが恐慌へ伸びて行くのだ——をこれらの國で呼び起す獨自の特殊諸原因を有してゐる。その諸原因といふのは、曾つて統一的であつた國家領地の戦後に於ける分散、生産力の發展を阻害する封建的殘存物、世界資本によるこれらの諸國の財政的抑壓——この財政抑壓は、中央ヨーロッパの諸國を、オーストリアやドイツのやうな國までを、苦しめてゐる——、これらの國の資源に不釣合な軍備費や警察費の増大等々だ。經濟的沈滞の作用を深刻にするこれらすべての要素は、これらの國で政治的危機の成熟のための諸前提を作り出す。この政治的危機は吾々の戰術的立場に於て、殊にポーランドのやうな國に關して顧慮されなければならぬのである。

ドイツに於ける恐慌現象はどこに現はれてゐるか？ 何よりも先づ石炭採掘の減退と石炭貯藏の増

加とに現はれてゐる。例へば十二月末には石炭及び骸炭貯蔵は七十七萬八千噸だったが、一月末には二百萬噸となつた。鉄鐵及び鋼鐵の生産は最近一〇乃至一五%低下した。金屬加工工業や纖維工業の状態は不良であり、建築業は停滞してゐる。到る處で労働者が解雇され、株相場は下落する。東ヨーロッパの状態はもつと悪い。ポーランドでは鑛山業、鉄鐵及び鋼鐵工業が激烈な恐慌に襲はれてゐる。纖維工業の生産は半分以下に減退した。農業恐慌は尖鋭化し、株相場は下落し、破産数は増加してゐる。オーストリア、チェコスロヴァキア、バルカンの状態は非常に悪い。失業は異常な大きさに達し數十萬の労働者家族は飢餓に迫つてゐる。

(三) 植民地及び半植民地。恐慌諸國の第三の型は植民地及び半植民地だ。一般に周知の通りこれらの國は、數年來深刻な經濟的沈滞の状態を脱しない。この經濟的沈滞がこれらの國で大きな政治的運動の土臺を作つてゐる。現在の世界經濟恐慌はたゞこれらの國の恐慌現象を尖鋭化するに過ぎない。有名なイギリス經濟學者ケーンズは、『ナショナル保險會社』の株主總會での演説のなかで、切迫した恐慌によつて作り出された世界經濟情勢を特徴付けて次のやうに言つた。

「嵐の中心點はイギリスにあるのでもなければ合衆國にあるのでもない。原料を生産する諸國にある。好轉或は一層の悪化の徴候はロンドンやニューヨークに求めるべきでなく、オーストラリア、南アメリカ、アジア及び中央ヨーロッパにこれを求めるべきである」。

これらの國々ではいかなる特殊諸原因が恐慌現象を呼び起すのだらうか？ 何よりも先づ封建的殘

存物、及び多くの地方ではまた奴隸制度の殘存物を基礎とした金融資本の略奪耕作形態の發展だ。例へば南アメリカに於ける革命的昂揚の急速なテムボは次のことにその根據がある。南アメリカの諸國では奴隸制度の殘存物、封建制度の殘存物及び金融資本による搾取の最新形態といふ三種の社會的支配形態の結合が存在してをり、このことがやがてこれらの國で最も鋭い形の階級闘争を作り出すのだ。第二の原因は所謂經濟の單一作物型である。帝國主義者共は植民地を經濟的に抑壓し、經濟的な或は往々軍事的な方策を用ひて、強制的に母國の工業に必要な生産物だけを作らせる。例へばエクアドルはココアを（世界生産物の三分の一）、チリは硝石を、ボリヴィアは銅を、ブラジルは珈琲を（世界輸出の七〇%）、マレイ群島はゴムを、キューバは砂糖を、印度は棉花・黃麻・油脂植物・茶を、エチオトは棉花を（總輸出の八〇%）等々。

世界市場に於ける景氣の動搖が不可避的にこれらの産業部門の状態に反映することは全く明かだ。景氣の動搖は植民地に於ける無數の小生産者を没落させる。恐慌がこれら植民地及び半植民地の諸國の全經濟に齎らす破壊的結果を書き付けるならば、多數の頁をうづめることができるだらう。

植民地に於ける經濟的沈滞の第三の原因は、農業生産物の價格下落を遙かに超える植民地的原料價格の破局的な反落である。指導的資本主義諸國に於ける過剰生産は自動的に植民地原料の過剰生産を伴ひ、その結果著しい價格下落を引き起さざるを得ないのだ。

(四) 前恐慌景氣諸國。最後に第四のグループの諸國——前恐慌景氣の諸國（フランス、イギリス

し、同時に資本主義的××××××××××新たな諸要素を作り出す。

このやうな要素の部類に属するのは先づ第一に合衆國の攻勢である。アメリカの攻勢の形態には色々ある。第一は經濟的攻勢だ。從來アメリカはその生産物のうちの僅かを、全部で約八%を、輸出してゐた。合衆國の生産量は多大なことから、アメリカ商品の輸出を二乃至三%高めるならば、それは世界市場に於ける競争者を破局に瀕するほどに脅すのだ。

合衆國の資本輸出も亦た競争者を弱らせるといふ同じ目的に役立つ。

アメリカ資本は世界領域に於て、新興工業——電氣工業・化學工業・自動車工業等々——の方面で急速に指導的地位を獲得するだらう。だが合衆國の攻勢は經濟的壓力以外に、軍事的並びに政治的形態に於ても亦た現はれて来るだらう。

アメリカ帝國主義の歴史に於ける植民地化の新しい時期が始まる。レーニンは一九二一年に妥協に關する演説のなかで豫言した。彼はほゞ一九二五年から一九二八年の間に、植民地新分割の問題がアメリカ帝國主義にとつて特に鋭く問題になるだらうと豫言した。戦後「門戶解放」、「海洋自由」の旗の下に行はれたアメリカ資本の反イギリス政策——それはイギリス植民地及び自治領に對するアメリカの公然の攻撃のための準備段階を示してゐるに過ぎない——は、世界の新分割のための帝國主義戦争の政策へ伸びて行くのだ。發展しつゝある世界經濟恐慌は、イギリスと合衆國との間の帝國主義戦争の成熟を高度に速めるのである。

更に恐慌は一方に於て帝國主義陣營と、他方に於て植民地及び經濟的・政治的隷屬諸國との間の對立を深刻にする。ブルジョアジーは何よりも先づプロレタリアートを犠牲にし、だが同時に植民地並びに隷屬諸國及び半植民地諸國を犠牲にして、恐慌から逃れやうと試みるだらう。だがこのことからより大きな公然の植民地略奪、武装暴力をもつてする植民地分割、及び軍事占領の方法のヨリ一層廣泛な使用の時期が始まるのだ。帝國主義者共にとつては、恐慌の結果による支那の經濟的衰微によつて支那の分割が日程に上つて來た。南アメリカは内亂及び英米資本の傀儡による個々の國家間の戦争のヨリ鋭い段階へ入り込んでゐる。巨大な帝國主義的抑壓に對する返答として植民地世界全體に、最近吾々が目撃したやうな蜂起の波をすべてその蔭にかくしてしまふほどの一つの新たな蜂起の波が起りつゝある。同時に恐慌はイギリス自治領の遠心的傾向を強め、自治領のイギリスからの分裂過程を速め、その結果地球の大きな部分に於ける勤勞大衆の奴隸化を基礎とするイギリス世界帝國の、經濟的並びに政治的壊滅をも速めるのだ。

資本主義諸國家の内的諸關係の領野では、恐慌の結果新たな資本集積の波を、中小ブルジョアジーの没落を、引き起してゐる。恐慌は勞働貴族の社會的基礎を奪ひ去り、それによつて社會的諸對立の×××××招く。だがこのことは現在の諸關係の下では不可避的にファシズムの増大を招く。このことは社會民主黨と改良主義的勞働組合官僚との一層のファシズム化過程を速め且つ深めて、彼等を『資本主義的安定化』の黨から、×××××しつゝある資本主義の擁護の黨に轉化させる。同時にこのこ

義的『國民經濟』が體制の一般的危機に襲はれることが強ければ強いほどその變形は著しいのである。

周期運動が戦前時のそれに一番よく似てゐるのは合衆國に於てである——合衆國は相對的に一般的危機に襲はれた度合が最も少ない。これに反してイギリスでは、戦後に於てまだ現實の景氣上向などいふものはてんでなかつたし、好景氣などはなほ更らなかつた！ ところがこゝに一つの見解がある（サヴェート同盟ゴスプラン〔國家經濟計畫局〕の同志エフエントフ Eventov）。この見解は没落期としての現在期の性質を完全に無視するものであつて次のやうに主張する。景氣上向のなかつた國には恐慌も亦たあり得ない、なぜならば恐慌といふものは、景氣上向中に成立した矛盾の、何よりも先づ放射的分配關係にある社會の有限消費とそれにかまはず發展した生産力との不釣合の、瞬間的・暴力的解決なのだからと。この見解は正しくない。資本主義の一般的危機が存してゐる際には、恐慌局面はそれに先行する好景氣がない場合にも外部的激突があれば起り得るのである。なぜならば諸矛盾・恐慌といふ暴力的解決へとひた押しに押し寄せて行く諸矛盾は、殆んど絶え間なく——たゞ單に好景氣に於てだけでなく——存してゐるからである。

『正常』資本主義に比べて産業周期の動態に於ける相違點の主なるものは實に次の點にある。即ち資本主義の一般的危機の時期では、生産激減、つまり恐慌——たとへあらゆる點で『古典』型通りではなくとも——は、それに先行する強度の景氣上向なくとも亦た可能であること、また上昇的資本主義では恐慌局面に於ける生産はそれに先行する産業周期の好景氣局面に於けると同じ高さであり得るのに對して、現在では好景氣に於ける生産は先行周期の最高點に於けるよりも殆んど高くなく或は低いことさへもあることこれである。没落資本主義のこの特殊性を目から放してはならない。また『正常』資本主義から來るものと知られてゐる要素を悉く機械的に現在期に當てはめやうなどしてはならぬ。

二 恐慌擴大

たとへ恐慌の動態は現在では體制の一般的危機によつて變形されてゐるとしても、國から國への恐慌局面の移動の動態は大體に於て同じである。恐慌は外國貿易の途を通じて國から國へと移行する。（國際資本市場に於ける事態も亦たこゝで輕くない役割を演じるが、しかし今回はそれを詳論しまい）。外國貿易上この移植は、輸入増加といふ形でも行はれたし輸出増加といふ形でも行はれた。恐慌局面が先づ最初に起つた國の經濟的重みがどの位であるかに従つて、他の諸國に及ぼす作用は色々である。他方に於て或る國がその周期運動に於てその内的矛盾に基いて恐慌局面に近ければ近いほど、外部的衝擊は恐慌の發生を益々加速化するだらう。

合衆國はその經濟的重みから言つて殆んど資本主義世界經濟の半分を占めてゐるのだから、また多くの諸國（ポーランド、チェコスロヴァキア、オーストリア、ハンガリー、バルカン）にはそれななくてさへ——アメリカに關係なく——恐慌があるのだから、またそれ以外の多くの諸國（フランス、ベルギー、スカンディナヴィア、スイス）には景氣上向があつてそのなかで經濟恐慌の要素は發展せ

ざるを得なかつたのだから、また現在の資本主義没落期では恐慌は殆んどいつも潜在的にあるのだから、だから吾々が世界のあらゆる國を包括する經濟恐慌の直前にあることは明かなことなのだ。

だがこのことは決して、世界のすべての國がこれから數週間のうちに經濟恐慌を通過するだらうといふことを意味するのではない。それは可能ではある。しかし必ずさうだとは限らない。戦前に於ても亦た國際恐慌局面の時幅は一年乃至二年であつた。個々の國は恐慌局面を全然通過しないか或は非常に穩かな形で通過したやうなこともあつた。吾々は現在でもやはりこれに似たことがあるものと思つてゐなければならず、二三の國が何ヶ月も恐慌のお見舞を受けないからと言つて、吾々の一般的判斷に動搖を來してはならぬ。

イギリスとドイツとは、先行好景氣を通過してをらず、その經濟はどの國よりも資本主義の一般的没落に苦しんでゐる。アメリカ恐慌がこのイギリスとドイツとに作用する力の強さは、何よりも先づ恐慌に於て物價低落がどこまで激しいだらうかに繫つてゐる。

三 世界物價水準

この機會に次の問題を決定しておかう。即ち「一」一九二〇—二一年恐慌に於ける物價大低落の後に生じてゐた世界物價水準は、同志エフェントフが主張するやうに、果して『正常』物價水準と言つていゝか、「二」それともその世界物價水準は戦争期からのインフレーションの要素（この機會に清算されるかも知れない）をまだ含んでゐるのか、といふ問題である。もし第一の見解が正しいとすれば（一）、恐慌に於ける物價低落は別にさう著しくあるまいといふことになる。なぜかと言つて好景氣に於ても物價騰貴が起つてゐなかつたといふことになるからである。もし第二の立場——吾々はこの立場をとる——が正しいとすれば、物價低落は戦前の恐慌に普通であつた物價低落を凌駕することになるだらう。

（一）同志エフェントフは、ヨーロッパが經濟恐慌に引きづり込まれる可能性を否認してゐる。そのエフェントフが現在の物價水準は『正常』なものであつて著しい物價低落は豫期されぬといふ見解をも持つてゐるのは、確かに偶然ではない。

理論的にはこの問題は次のやうにスケッチすることができる。

（一）金即ち價值測定者の生産費は一の期間内不變數コンスタントであり、これに對してそれ以外の一切の商品の價值は、資本主義の特色たる労働の生産性の増加に應じて低下するものと假定する。とすればこのことは一般物價水準の低落となつて現はれてこなければならぬだらう。商品單位内に含まれてゐるヨリ少ない労働時間即ちヨリ少ない價值は、價值不變の金のヨリ少ない量に表はされるだらう。

（二）労働の生産性の増進が平均的にあらゆる商品について及び金生産に於て均齊に行はれたものと前提する。この場合には各種商品の單位内に含まれてゐる労働時間即ちその商品の價值はいかにも減少するには減少した。だが同時に金の價值も同程度に低下してゐるのだから、物價水準は變らないだらう。

(三) 金の單位内に含まれてゐる労働時間即ち金の價值は金坑に於ける生産性が商品生産の平均よりも著しく増進した結果、商品のそれよりも著しく低下しないものでもない。この場合には物價水準は高くならなければならぬだらう。

現在の物價水準は戦前の物價水準に比し平均して約四〇%乃至五〇%高い。これは一般に周知の事實である。この事實は、商品の價值が戦前に比し平均して三分の一高まつたといふことで説明することもできなければ(労働の生産性の激増がこれに矛盾してゐる)また金の價值の暴落によつても説明できない(戦前に比して金坑の技術が別に變つてゐないのがこれに矛盾してゐる)。

つまり吾々は次の結論にくる。即ち金と商品との間の交換關係の推移は價值關係の推移に基いてゐないのだと! だから吾々は、價值基準の變化に無關係に動く價格要素に騰貴の説明を求めなければならぬ。ところで吾々の信ずるところでは、一九二〇年の物價暴落は戦争中の價格形成上のインフレーション的分子を完全には清算し切らなかつた、つまり世界戦争中(當時は商品需要は絶えず供給を凌駕してゐた)價值推移とは無關係に行はれた物價騰貴を完全には清算し切らなかつた。生産費の若干の分子、例へば借地料・運賃・關稅及びこれに似たものは、戦時の物價關係を基礎として何年も先まで契約的に固定され、従つてこれを引下げることではできなかつた。だから契約に固定されてゐたこの生産費分子の作用を受けて、一九二〇年恐慌の後にでき上つた新たな物價水準は戦前に比して相變らずインフレーション期の分子を著しく含んでゐたのである。

インフレーションの遺物と並んで、明かに、強力な獨占發展の結果としての物價引上げが現在では戦前よりも物價水準の高さに一つの役割を演じてゐる。獨占はマルクスの意味に於ける生産價格(費用價格プラス平均利潤)以上に獨占的價格割増をつける。この獨占的價格割増は——同じ原料もしくは半製品に關する限りは——次に續く生産段階の生産費に入る。マルクス主義價值論の一般前提は、價格の總和が價值の總和と一致しなければならぬといふことにあるが、この一般前提の下では、獨占利潤は獨占商品の價格形成に於ける狂ひを惹起し得るだけのことである。一般的價格騰貴を惹起し得るものではない。即ち獨占資本家の利潤率が高ければ、獨占形成のない部門の利潤率が低くて埋合せがついてゐなければならぬ筈だ。だがこのことは、労働者も亦たその全幅價值通りの支拂を受けるといふ前提の下でのみ妥當するのである。もし吾々がこの前提——この前提は明かに資本主義沒落期では實際上以前の資本主義の時期に於けるほどには當つてゐない——を度外視すれば、獨占利潤の結果として生ずる原料及び半製品の價格引上げが完成品に移されて、價格引上げといふ形で少くも一部が労働者階級に轉嫁されるのだ、といふことはすぐ考へつくことである。つまり労働力の價格を労働力の價值以下に押し下げることなのだ。これは非常に複雑な過程なのであつて、現在の高い物價水準を單純に獨占形成の結果だと言つては——マルクス主義的文獻でよくさう言はれてはゐるが——決して正しくないあるまい。これが決して單純なことでないのは、一般に原料及び半製品よりも弱い獨占形成を行つてゐる完成商品工業の方の價值が平均して前者〔原料及び半製品〕よりもよつほど高い物價水準を示

してゐるといふ事がこれを示してゐる。

ドイツでは十二月中旬全國統計局が次の指數を發表した。

原料及び半製品	一三九・二
工業生産手段	一三九・六
工業消費財	一三八・七

つまりこれで見ると、一九一三年に比べて、大體に於て獨占形成の進歩が一番遅れてゐる工業消費財の價格が相對的に一番激しく騰貴してをり、獨占形成が最も盛んに行はれてゐる原料及び半製品の價格は一番騰貴してゐないのである。つまり獨占的價格引上げは明かにそれ以後の生産段階に轉嫁されてゐるのであつて、高い物價水準を單純にカルテルの作用に歸することはできないのである。

四 物價低落

勞働の生産性の増進やインフレーション的分子の絶えざる減少は物價水準を低下させる作用を持つ。獨占、保護關稅、そしてアメリカでは好景氣は、物價水準を引上げる作用を持つ。互に矛盾するかうした諸傾向の結果が、次表の示すやうな絶えざる物價低落への傾向であつた。

一九二五年	一五八・七	一六〇・九	一四一・八
	(勞働局)	(イギリス)	(ドイツ)
	(エノノミスト)		
	(一九三〇年=100)		
			(全國統計局)

一九二六年	一五二・〇	一四〇・四	一三四・四
一九二七年	一四六・八	一四三・七	一三九・六
一九二八年	一四七・一(2)	一四〇・九	一四〇・〇
一九二九年	一四八・〇(九月)(2)	一三六・九(十二月)	一三五・五

(2) 換算。現在ではこの指數は一九二六年を基準年として公表されてゐる。

以上すべての考察に基いて吾々はかう信ずる。今始まつた一般的危機は『正常』恐慌に普通であつたよりもヨリ猛烈な物價低落を來すだらう、なぜならばインフレーション的價格形成の遺物が更らに一層清掃されるだらうからと。事實上現在世界市場に於ける重要商品の價格は著しく低下しつゝあるこの物價低落は、殊に農業生産物では、もし人為的救濟行動(カナダ小麥プール、アメリカに於ける小麥及び棉花收穫國家融資、ブラジルに於ける珈琲價格鈎上げ策、ポーランドとドイツとの間のライ麥輸出協約、ハンガリーとユーゴスラヴィアとの間の小麥輸出協約)によつて物價が鈎上げられなかつたとしたならば、もつと激しかつたことだらう。

もしアメリカに於ける物價が一〇%から二〇%低落するならば、物價水準が多少とも安定である場合に比べて、アメリカ恐慌が世界のそれ以外の諸國に作用する勢は比較にならぬほど強くなるだらう。これは確かだ。アメリカに於ける原料の物價暴落は、主としてアメリカ向原料を生産する多くの諸國——後印度はゴム、ブラジルは珈琲、キューバとジャヴァとは砂糖、日本は生絲——に重大な經濟的

震撼を惹起するだらう。アメリカの輸出向農業生産物即ち小麦と棉花との物價暴落は、一般的農業恐慌を惹起するだらうし、もしくは全世界の纖維工業の震撼を惹起してこの工業はその棉花及び棉商品在荷を自己費用價格よりもずつと安く賣らなければならなくなるだらう。アメリカの輸出完成商品の物價低落は、世界市場に於けるアメリカの競争者たるヨーロッパ大工業國に痛撃を喰はすだらう。言ふまでもなく、物價暴落は既に流通部面に入つてゐる商品を減價させる結果を伴ふのであつて、それはあらゆる國に於ける商人及び取引商の破産の波を巻き起し信用制度の一般的震撼を惹起すだらう。殊に餘り獨占的に發展してゐない資本に乏しい、諸國でさうなるだらう。物價低落が激しければ激しいほど、生産部面に於ても流通部面及び信用制度に於ても恐慌は益々甚しく作用する。つまり恐慌の結果アメリカにどの程度の物價低落が起るかといふ問題はアメリカ恐慌がそれ以外の資本主義世界に及ぼす作用にとつて決定的なのである。吾々は繰返して言ふ。吾々の意見ではアメリカに於ける最近數年の物價水準はまだ、戦時のインフレーション的子を著しく含んでをり、だからまたさうでない場合に普通であるよりも激しい物價低落が來るものと見ていいのであると。著しい物價低落が進行しつゝあることは次の數字が示して居る。

アナリスト物價指數 (一九一三=一〇〇)

農 業 場	織 維	燃 料	金 屬	建 築 材 料	化 學 品	總 指 數
一九二九年七月(最高).....	一四七・一	一四七・〇	一六二・八	一三八・三	一三四・六	一四九・一
九月.....	一四五・五	一四七・五	一六〇・一	一三七・六	一五三・〇	一四一・八
十二月二十四日.....	一三九・六	一四〇・四	一五九・八	一五五・四	一五二・五	一三四・〇
						一四一・八

これで見ると、物價低落は既に約5%に上つてゐる。しかもこゝで注意すべきことは、(一)相場表には古いカルテル價格が出てゐても、事實上はこの價格以下で販賣されてゐることがよくあること、(二)アメリカ資本は輸出價格を確かに國內價格よりも著しく引下げてゐるといふ點である。

次の表は、『經濟雜誌』Magazin der Wirtschaft 一九三〇年一月三日から借りてきたものだが、二三の世界貿易品について次のやうな發展振りを示してゐる。

小麦(一ブッシェル當りセント).....	一五三・九(一九二九年一月の最高價格)	一三六・六(十二月中旬の價格)
ライ麥(一噸當りライヒス・マルク).....	二〇八・五	一六六・〇
玉蜀黍(一ブッシェル當りセント).....	一〇七・一	九三・一
米(五〇・八キログラム當りシリング).....	一五・九	一四・〇
珈琲(一封度當りセント).....	一八・五	九・九
砂糖(五〇キログラム當りライヒス・マルク).....	二八・〇	二六・三
棉花(一封度當りペンス).....	一一・一	九・一
黄麻(一噸當り磅).....	三四・五	二六・三
麻(一噸當り磅).....	三九・八	二七・五

一 世界經濟恐慌

ゴム(一封度當りシリング).....	一〇・一	二四
銅(一噸當り磅).....	九四・二	六九・一
鉛(一噸當り磅).....	三六・四	三二・四
錫(一噸當り磅).....	三七・八	一八九・一
亞鉛(一噸當り磅).....	三七・五	三〇・一
銀(一オンス當りペンス).....	三六・五	三三・五
石油(一ガロン當りセント).....	三・九	二・八七

五 債務關係と所得分配

だがアメリカ恐慌に伴ふ物價低落の度合に繋つてゐるのはたゞ單にアメリカ恐慌がそれ以外の資本主義世界に作用する勢だけではなく、國際債務の重要さも亦た著しい影響を受ける。ヤング案所定のドイツ賠償義務と聯合國間債務とは、名目貨幣單位で何十年の先まで契約的に固定してゐる。その額は金と商品との交換關係即ち物價水準には拘はりなく定まつてゐる。つまり物價水準が一〇%から二〇%低下すれば、このことは、ドイツ賠償義務即ちドイツがその義務額の支拂のためにその債權者たちに引渡さなければならぬ商品量もしくは價值量も同様に自動的に一〇%から二〇%増加することを意味する。聯合國相互間の債務及び何よりも先づ聯合國の對米債務についても同じである。これらの債務も同様に、その實質的な重みから見て物價水準の低下に應じて増加する。私契約に基いて成り立つてゐる國際支拂義務についても亦た勿論同じだ。もしドイツが例へば現在賠償金を合併して合計約三十億マルクの利子及び償還を年々支拂はねばならぬとすれば物價水準が二〇%低下した場合には、今日の物價で三十六億マルクに上る商品量をその義務額の支拂のために外國に輸出しなければならぬ。他方に於て全世界が合衆國に向つて支拂はねばならぬ貢物は、一〇%から二〇%増加するだらう！だが著しい物價低落は、なほ個々の國民的經濟の内部でも多大の狂ひと重大な恐慌とを意味するだらう。流通部面内にある短期支拂義務にあつては、商人の商品販賣上金が彼等自身その商品に支拂ふ義務ある代金よりも少くなるといふやうな情勢が生じるだらう。その結果は、支拂停止、破産、の一般的震撼であらう。

周知の通り工業長期貸付資本で操業してゐる度合は非常なものである。不動産信用、固定利子付優先株、等がそれである。物價低落は、貸付資本が企業者利潤から受取る分前が實質的には、物價低落に應じて増加することを意味する。物價低落は、かういふ風に、貸主を利し債務者を害して所得分配の狂ひが生ずることを意味し、金利生活者階級の實質所得が自動的に増加することを意味する。要するに吾々がデフレーション期にイギリスでよく見た例のあらゆる現象なのだ。

つまり、物價低落の度合如何の問題はアメリカ恐慌の蔓延にとつてだけでなく、國民的並びに國際的債務負擔の態様にとつてもまた國民的經濟の内部に於ける個々の階級の間の所得分配にとつても、どんなに重要なものかといふことが分る。現在の恐慌が資本主義社會秩序の全構造をどれほど強力

に震撼するかは、先づもつて既に起りつゝある物價低落の度合に繫つてゐるのである。

三

三 第三期と世界經濟恐慌 (一九三〇年四月)

改良主義イデオロギイの特徴づけ

一 第三期の問題

コミンターン執行委員會第十回プレナムは資本主義の現發展段階を特徴づけて次のやうな結論を下した。

『社會民主主義の豫言は、右翼と調停派とによつて繰り返されてゐる。だがこの豫言とは反對に資本主義の安定は永續的な堅實さをもたないばかりか、反對に益々動搖に陥りつゝある。第六回世界大會は現在の時期即ち戦後資本主義の第三期を次のやうに評價したが、この評價の正しかつたことは益々明かになつてきた。曰く、第三期は一般的危機の成熟の時期であり、帝國主義の内外政策の決定的な諸矛盾の激化が加速化される時期である。これらの諸矛盾の結果は不可避免的に帝國主義戦争、最大の階級衝突、決定的な資本主義諸國に於ける新しい×××昂揚の展開の局面、及び植民地諸國に於ける反帝國主義×××であると』。

社會民主主義者連がこの評價に満足せず、これに同意しなかつたことは言ふまでもない。オーストリア社會民主黨の理論的機關雜誌『闘争』Der Kampfの一九二九年十二月號は『資本主義安定と第

三期』Kapitalistische Stabilisierung und dritte Periodeと題する一大論説をもつて吾々のテーゼを批評してゐる。この論説の結論はそつくり引用する値打ちがある。これこそ詭辯と馱法螺とを結びつけた社會民主主義の低脳振りをこの上もなく明かに證明するものである。だが吾々は著者の次のやうな言ひ分だけを聞いておかう。

『ゾアルガとラビンスキ、とは慢性的、構成的失業を安定期の攪亂要因の最も重要なものに數へてゐる。だが然らばこの因子の攪亂作用とは何だといふ質問をこゝに提起せざるを得ない。經濟的に見てこゝに決定的な點は、この構成的失業が指導的諸國——合衆國とドイツ——で經濟の上昇を妨げてもゐないし、經濟攪亂の結果でもないといふことである。これらの因子と安定期の發展諸傾向とを比べてみると、共產主義の第三期理論は必然的に崩壊しない譯にはゆかない。なぜならば資本主義の成長現象の方には經濟發展の新局面の諸要因(!?)があるが、攪亂要因の方には——この新しい動態を止め得るやうな爆破力はなくて、あるものはこの動態に附隨する諸現象に過ぎないからだ。

資本主義擁護の美辭麗句だといふのか？ 社會主義の見透しに對する悲觀論だといふのか？ 否！ さうではない。新時代の認識と世界社會主義の測り知れぬ可能性の樂觀的判斷とだ。『闘争』第十二號五六三—六四頁。

これらの裏切者たちに言はせると、吾々は『現實に向つて眼を』閉ぢてゐるのださうだ。失業軍は

資本主義史上空前の數——工業諸國で約一千七百萬——に上り、世界恐慌は益々深刻化してゆき、それと關聯してプロレタリアート××××は増大してゐる。これらの事實を前にすれば、この深刻な分析と近代社會ファシスト——彼等は『世界社會主義』とか『樂觀論』とか誇大な空つ言葉を弄しながら、その實プロレタリアートを裏切つてゐるのだ——の卑怯狡猾の程度とに相當な判斷を下すことができる。

元

二 世界經濟恐慌

最重要工業諸國の生産制限、夥しい失業數（一千七百萬）、原料品及び植民地商品卸賣價格の途法もない暴落（一）、株式相場の瓦落、破産、有價證券發行縮少。これらは去年の第四期四半年以來世界經濟中心地のすべてに現はれた諸現象のうちの一三である。世界經濟の現状は恐慌——それから出てくるあらゆる結果と屬性とを伴つた——だと言ふことができる。そしてこの恐慌は益々擴大されつゝある。恐慌は北アメリカ合衆國からぢかにラテン・アメリカ、カナダ、太平洋諸國に蔓延して、これらの國々を同じ苦境に引きずり込んだ。また程度こそ低いが他の國々でも既に影響を現してゐる。ドイツ中央及び東ヨーロッパの酷い不景氣は非常に激化して、恐慌が急速に成熟してゐると言ふことができるし、また言はねばならぬほどである。西及び北ヨーロッパ（フランス、ベルギー、オランダ、スイス及びスカンディナヴィア諸國）では去年中は高景氣だつたが、今では急速な景氣逆轉が始まつた。銀本位諸國（支那、インドシナ、印度）は植民地商品價格下落の結果恐慌状態にあつたのだが、

銀價の二五%下落によつて更らにこれが激化した。このことは人口總體の購買力を非常に強度に縮少させたのだ。かうして恐慌は世界經濟總體を益々自分の勢力範圍に引きずり込んでゐる。

(一) 去年と今年との一月末價格を比較すると次のやうな下落が現はれてゐる。木綿價格一五%乃至二二%、オーストラリア羊毛價格四二・六%、印度護謨價格二九・九%、亞鉛價格一九・七%、玉蜀黍價格三九・七%、米價格九・六%、茶價格二四・三%等。

一九二七年は最高景氣の年、戦後に於ける『安定化のレコード年度』だつた。資本主義は大體この年をもつて復興期を終つて、今度は合理化の強度化と生産の擴張との時期に入つた。『資本主義の復興期』から今までの二年間に資本主義の根本的諸矛盾は益々成熟し、今發展しつゝある世界恐慌のなかにはこれが全幅の力を現はしてゐる。この恐慌は合衆國の金融恐慌と經濟恐慌との結果と反響といふばかりではない——尤も合衆國は世界經濟にとつて非常な意義をもつてゐるから、恐慌の今後の擴大と深化とに與つて力あることは些の疑ひもない。すべての國々には現在生産力伸長と廣汎な大衆の購買力縮少との間の資本主義の根本矛盾が未曾有の激しさをもつて現れてゐるのだ、そしてこの矛盾はこの『敵對的分配關係に基づく生産』の制度の一結果なのだ。

戦後には景氣上昇や高景氣のときでも一聯の國々（ドイツ、オーストリア、イギリス等）では不景氣に特有な消極的性質の二三の徴候が現はれてゐた。この事實は恐慌の様相（その範圍と性質と）を幾分薄くする。尨大な恒常的失業軍（戦前には恐慌の絶頂でも失業者數は現在の『繁榮期』ほどの高

さに上つたことはない)、販賣市場獲得の激烈な闘争、それと同時に生産装置の擴張及び完成(この生産装置は決して全輻的に利用されず、七五%まで利用されるのは時々だ)、以上の徴候は高景氣を不景氣と非常によく似たものにしてゐるのだ。だから景氣の循環的發展、高景氣から恐慌及び不景氣への移り行きは上述の消極的諸傾向が増進するといふ點に現はれるに過ぎない。

最近二年間世界經濟は、微かな景氣上昇を伴ふ不景氣のなかにあつたが、現在はその不景氣から切迫した恐慌に移つて行つた。この發展は吾々にとつて少しも驚くに當らない。一九二七年は資本主義安定化の絶頂(諸工業國の失業者八百萬、これは戦後資本主義としては非常にお手やわらかな數だ)だつたが、この年の終りにもう世界經濟では重工業の發展と完成商品工業の發展とを較べると後者の方が後れてゐて、その間の不釣合は恐慌の避くべからざることを示してゐた。一九二七年ドイツ及び中央ヨーロッパでは合理化のテムポは高くなり、労働生産性は途法もなく高く追ひ上げられ、賃銀は安定したにも拘はらず、却つて失業は減少した。これは生産設備更新が法外に強度に進行して、重工業の發展に特に有利な影響を及ぼしたからである。設備更新が終つて新生産装置が全力をあげて活動し始めれば、この生産装置が市場の消化力の制限にぶつからうといふのは分り切つてゐたのだ。この消化力制限の證據は輕工業發展の後れてゐることだ。なぜならば輕工業は多數人口層の購買力をもつ需要と直接に關聯し、それを表現してゐるものだからだ。また、合理化、労働生産性上昇、労働強度増加が行はれたのに賃銀が安定してゐたといふ事情も上のことを説明する。生産装置更新が進めば進むほど、そのなかで働いてゐる労働者は益々街頭へ追ひ出される。それ故失業は一九二八年にならうとも再び増加し始めた。

外國市場は充分に擴張せず、國內市場の方は、合理化及び失業の結果、また農業恐慌の結果、最重要人口層たる労働者階級と農民階級との購買力がなほ減少したので、縮少の傾向を示してゐる。それ一方には生産装置が擴張され、生産が増大してゐるのに、新販賣市場はまるつきりない。この根本矛盾は今やあらゆる尖鋭さをもつて現はれてきて、恐慌といふはつきりした形をとつたのである。

改良主義者共はいろいろ／＼なことを言つて保證してゐるが、資本主義は労働者階級のためにその生活状態を確保してやることなどはできなかつた、それどころか失業と自分の獨占的結合の權力とを利用して労働者を壓迫したのだ。労働の強度と苛酷さとは増加し、賃銀は引下げられたのだ。

經濟恐慌の發展は労働者階級に向つて新しい壓迫を呼び起すだらう。また多數の植民地商品の價格暴落と過剰生産とは數百萬の小生産者を破滅と窮乏とに陥れるものだ。窮乏、飢餓、失業、破滅の淵に臨んだ農民の自國地主と帝國主義者共××××××、これが世界經濟恐慌と共にやつてくるものなのだ。

三 寄生的金融資本の増大

現在の恐慌は短期信用が過剰で金利が安いときに起つた、財界の言葉で言へば、金融市場大緩慢のときに起つたのだ。このことは現在の恐慌の若干の特異性をなすもので、至るところで行はれた發券

銀行の利率引下げ（イギリスでは六・五%から四・五%に、フランスでは三%に、ドイツでは七%から六%に、合衆國では四・五%に）はこれを示してゐる。ニウヨーク取引所大動亂の後、それからその前にも、取引所投機から吐き出された資本は、經濟恐慌激化の結果、充分な用途が見付からないのだ。上述の通り、現在の經濟恐慌の特殊性の一つはこゝにある。戦前の古典的恐慌ではこれが反對になるのが普通だつた。戦前には物價の急速な下落と販路杜絶とが始まるや否や、信用の需要は増大し金利は騰貴するので、銀行は——景氣が一層發展してゆくにつれて醸し出される一般的不安の結果——信用を縮小したものだ。しかもそれは工業と商業とにこの資金が固定してしまはないかといふことを恐れてなのだ。『近世産業が依つて運動するところの回轉循環（……）を觀察するとき、利子の低率は大抵、繁榮の時期、或は特別利潤の時期に伴ひ、また利子の昂騰は繁榮とその轉換との分れ目に伴ひ、更らに極端な高利の程度に至る利子の最高限は恐慌に伴ふことが見出される』（カール・マルクス『資本論』第三卷「一」三四五頁）（改造社版三一九頁）。

短期信用の過剰は利附資本の寄生的性質が益々はつきりして來た證據だ。あらゆる資本、資本主義社會に於けるあらゆる貨幣額と同じく、利附資本は自分の利潤の分け前を欲してゐる。資本のかういふ特性を生んだものは、あらゆる資本は、餘剩價值を創造する勞働力と一緒に生産に用ひられるときは利潤を産むといふ事情である。しかしながら現在では一般的過剰生産と販賣市場縮少との結果、短期資本は産業のなかに充分有利で且つ確實な用途を見つけることができなくなつたのだ。短期資本は

通貨膨脹期の、貨幣價值下落に對する投機が濡手で粟の利潤の確實な源泉となつてゐた時代以來、まだ莫大な利潤には慣れてゐたものだ。長期資本には十分の需要があるのに——その證據には比較的金利が高いし、私設會社は有價證券發行に困難してゐる——打つて變つて短期資本が過剰な理由はこれである。利附資本のことは次のやうに考へられてゐる。短期信用の價值増殖は僅かだが手堅い。けれども株式や社債は収益性に依存するし、價格下落のおそれがある。だからこの廉價で豊富な資本を用ひて行き詰りを打開しやうといふ希望は當面の状態では空想に止まつてゐる。極端な場合にはこのやうな資本の「注ぎ込み」をやつて暫く人工的に景氣を出すこともできるだらう、だがすぐ販路の狭い限界にぶつゝかつて、恐慌は一層ひどくやつてくるだらう。アメリカは今までいつも貨幣缺乏救済者の役をつとめたが、今度は何よりも先づ自身を救済するのに努力するだらう。スローガンは資本輸出ではなくて商品輸出になつてゐる、言ひ換へれば、外國貿易の領域でもつと合衆國を擴張しろといふのだ。しかし吾々にとつて特に興味のあることは、かういふ風に資本が過剰してゐるとき、利附資本の寄生的役割の増大、資本主義の腐朽を強調することだ。マルクスは言つてゐる「利附資本は財産としての資本だ、機能としての資本ではなす」。レ、インはもつと鋭く近代資本主義のこの傾向を強調してゐる、「資本の所有が生産に於けるその使用から分離すること、貨幣資本が産業資本或は生産資本から分離すること、貨幣資本の収益ばかりで生活してゐる金利生活者が企業家や直接に資本を動かしてゐる一切の人々から分離すること、これは一般に資本主義の特性をなすものだ。帝國主義或は金

融資本の支配とはこの分離が非常に擴がつてゐるところの、かの資本主義の最高段階である『レーニン』『資本主義最後の段階としての帝國主義』五三頁（岩波文庫版八五頁）。

四 農業恐慌

世界經濟恐慌は工業に於ける過剰生産の恐慌であるが、これと全世界で密接に交錯してゐるものは農業恐慌である。次の數字を見れば農業恐慌の範圍がわかる。世界穀物市場には主要追加地域で賣り切れない小麦が九百萬噸ある。（『世界經濟』Weltwirtschaft 一九三〇年第一號一五頁）。穀物大商人の一人が『フランクフルト新聞』に投じた寄書があるが、上のことと關聯して考へるとじつに奇妙なものだ。同紙は少しばかり前に支那の飢饉に際しての檄を發表してゐた（ドイツ自身に三百五十萬以上の失業者があることを思へば、この檄が將來支那で商賣をやるために支那人の歡心を買はうとする偽善に過ぎないことは明かだ）。ところでこの穀物卸賣商人は、新收穫までの需要と比べて約六〇％も餘る尨大な穀物過剰のあることを指摘し、國際聯盟經濟會議に提議して、支那人を救済し、これによつて農民並びに穀物商人の一助としろと言つてゐる。この提議は誰も耳を借すものがなくて立ち消えになつてしまつた。そしてドイツ人の側から言へば偽善的なドン・キホーテ流の空想に過ぎない。このことは明らかである。だが今のところこれは吾々には興味がない。

この國際農業恐慌の問題に携はつてゐるドイツのゼーリング *Seering* 教授の意見によると、この恐慌は『技術的進歩の世界經濟的影響』であつて、その技術的進歩は、耕作が機械化され開墾方法が改良されて、湿度の十分でない荒地を耕して、特殊な穀種を栽培することができるようになつた結果だ。だが『比較的大きな借地農ばかりがかういふ荒地の危險に耐えることができるのだ。なぜならば彼等は豊年には最小の勞働支出で高い利得を得るからである。また彼等ばかりが高價な機械を調達してこれを有効に利用できるのだ』。だから農場擴大の自然傾向が生れ、小農場は儲からなくなり、破産する。『だがさうかと言つて』、ゼーリング教授は書いてゐる、『サヴェイト政府が今國有地や協同地に實行しやうと目論んでゐるやうな、穀物工場としての大經營は決して成立しなかつた』。すべてこゝに言つてゐるのは主として太平洋の彼方にある國々のことである。農業の領域でどの位の技術的躍進が行はれたかは次の報告に基づいて判斷することができる。これは同じ雜誌の別の論文に出てゐるものだ。『北アメリカ合衆國では農場數は一九一〇年から一九二〇年までに一・四％増加、一九二〇年から一九二五年までに一・二％、絶對數で言へば七萬六千七百三減少した。一九一〇年から一九二〇年までに七千七百萬エーカーが新たに耕地となり、一九二〇年から一九二五年までに三千百萬エーカーが農作をやめた。そのうち千九百萬エーカーは耕作し得る状態にあつたが、残りは牧場と草地となつてしまつた。農作面積が一九二〇年以來減少してゐるにも拘はらず、總收穫と農業經營の家畜頭數とは絶えず増加した。この原因は次の通りである。農業に於けるトラクターと自動車との勝利の結果、當時まで馬と騾馬との飼料用に收穫を出してゐた約千五百萬乃至二千萬エーカーの被用耕地が用なしになつて、市場向果實と食用家畜とに用ひることができるようになつたのだ（『世界經濟』一九三〇年第一號二一八



をなすものは景氣振動であるが、この振動の禍を征服すること、經濟制度の變形の過程（その意味は資本主義の社會主義への推移といふことだ——著者）とは現在十分結び付き得るもので、世間はこれを認めてゐる』。

この考への筋道は多分次の通りなのだらう。以前恐慌は資本主義の避くべからざる附隨現象と考へられてゐた。けれども今景氣振動を除くことに成功すれば、これによつて資本主義を轉形することができるだらう。資本主義は自然力的經濟から有機的經濟に變化するだらう。それ故景氣振動を征服することは労働者階級の最も重要な任務である。そして景氣誘導の最も重要な手段は信用Ⅱ及び發行政策である。この問題では一切社會民主主義者はブルジョア理論に追隨し、日向に出しても獨創性の影の一片さへ寫らない。だから吾々はその根源に向つてゆかねばなるまい。

信用と景氣の問題についての文献は夥しいものがある。ブルジョア經濟學の講師でも教授でも一人としてこの問題を見逃してゐるものはない。けれどもこの見解が最も一貫した論理をもつて發展したのは恐らくドイツの文献で、銀行家で銀行理論家のハイン、A. Hahn のものだらう。彼がたどり付いた最も重要な結論は次の通りだ。信用政策は一方では通貨膨脹と本位貨幣下落の危険を生み、他方は販賣恐慌を生む。『信用膨脹はまた生産増加をも意味する。だが、これに對應して消費が増加しなければ、生産増加は永續できない』。『純粹に理論的に言へば、販賣が行きづまつても、絶えず信用で購買力をつけた新需要を成立させ、これによつて信用景氣の永續ができることになる。かういふ状態は

ドイツでは戰爭の間に存在した。つまり新信用（大藏省證券、戰債）によつて絶えず購買力を付けた國家がどんな風に生産された生産物でも絶えず消化したのだ……だから、經濟的沈滞と貨幣價值下落及び恐慌との二つの瀬戸の間をぬけて國民經濟の舵をとること、これを目的意識ある信用政策の任務だと見なければならぬ』（國家學辭典、第五卷、九五三頁）。

信用政策の方法を使ふ資本主義がなぜ賃銀労働者總體を雇つて、最大限度まで生産をやらないのか？ 銀行家と發券銀行とのあらゆる努力のかひもなく、なぜ世界經濟は現在恐慌に陥つて失業者軍一千七百萬を擁してゐるのか？ なぜ戰後資本主義の最好況時代、一九二七年でさへ工業諸國の失業は八百萬以下に下らなかつたのか？ これらのことの一切は、景氣振動と恐慌とを伴ふ資本主義發展を信用政策といふ方法で統制しやうとする試みが完全に失敗してゐることを證明するものだ。それでもなほ他方に、信用の方法によつて『財貨』の新分配を實現して、あるだけの生産力一切を動かして生産をその最大限に達するやうにすることができるとしてハインも亦たこれを證明しやうと欲してゐるらしい。この理論の間違つてゐることを理解するにはマルクスの初歩的な命題を思ひ出さねばならない。曰く、資本主義的生産は他のすべての生産制度と同じで、自身自身に基礎をおいた生産、生産のための生産ではあり得ない。結局は消費のために活動してゐるものなのである。だが資本主義的生産はその敵對的分配といふ基礎の上に行はれる。このことは生産力が伸びてゆくと労働者の廣汎な層の購買力が制限されてゐることにぶつゝかり、それが恐慌となつてあらはれることを意味する。ハ

1. 自身も——彼はこの問題の本質に徹底してゐないのだ——このことを一部分認めて、生産はその最大限まで決して行はれ得ないものであり、しかもそれは販賣缺乏のためであると言つてゐる。さうして、恐慌ぬきの経済発展といふ理想な場合は戦争中に起つた、この時には國家がいつも新公債を發行し、無限の消費者となり、それで永久の高景氣を作り出したのだと指摘してゐる。そこでもつてハーンは信用理論から出て、景氣維持には消費者金融が必要だといふ思ひ掛けない結論に到着するのだ。

現實の場合にもあらゆるブルジョア國家は恐慌のとき狭い範圍でこの方法をとる。非常時勞働の施設をやるのがそれだ。現在のアメリカ恐慌が勃發するや否や、フーヴァーは何事を措いても先づ非常時勞働の仰々しい計畫を持ち出した。恐慌の範圍に比べればこの計畫はまったくのこけおどしだ。ブルジョアが最も善良な意志でやつてゐるとしてもそれ以外ではあり得ない。數百萬の失業者に仕事を作つてやるには、國家の持つてゐない基礎資本が必要である。貸銀だけでも非常な額に上るだらう。ブルジョア國家豫算はとて／＼それだけに生長してゐないのだ。さうするには老大な豫算増加が必要になるだらう。だが誰を犠牲にしてさうするのだ？ 勞働者階級、資本家の加へる壓迫によつても、また失業の法外な増加によつても貸銀の低下してゐる勞働者階級がこの犠牲を背負ふのか？ 資本家、従業員縮少を企て生産を休止してゐる資本家が犠牲を背負ふのか？ 資本家は租税輕減を望み財政はその反對に恐慌の時には益々逼迫する。だからそんなことはてんで話にならない。

そこでもつて吾々は次のことがわかる。

一、若し景氣の一般的上昇が既に存在してゐるなら、信用擴張は多くの場合景氣を發展させる効果がある。けれどもそれは他方に必ず通貨膨脹による物價騰貴を伴ひ、それと共に實質貸銀低下といふ道をとつて現はれるのだ。

二、信用を資本主義經濟發展の統制者とし恐慌克服の手段とする理論は吟味に耐えるものではない。その議論のととのつまりはユートピア論になる、ブルジョア國家による消費金融といふ馬鹿々々しい幻想になる。

資本主義諸新聞はみんな恐慌と失業とは資本蓄積を増加することによつてのみ克服できるだらうと書き立てゝゐる。吾々はなほこのことを近代資本主義の現實の逆説として強調しておきたい。『できる限り最大の經濟性をあげ、新しい職を作り、廣汎な大衆の生活需要を満足させやうとするには、何よりも先づ資本形成を促進しなければならぬ。資本形成は最も短い最も確實な方法で生産に新規資本をつぎ込むものだ……資本形成は生産増加の前提であり、だからドイツ民衆のあらゆる層の關心事である』。

他方に彼等は口を揃へて販賣缺乏、生産裝置の空まわり、賣れ行きがないのに生産能力が増加してゐることについて嘆聲をもらしてゐる。この矛盾は個々の資本家の立場に立たなければ理解できない。個々の資本家は多分この事柄を次のやうに考へるのだらう。『俺が自分の工場を残らず利用するこ

とができず、自分の生産を制限しなければならないのは、俺が充分競争能力を持たないからだ、自分の生産費が餘りに高すぎるからだ。だから俺は工場に新設備を施し、生産費を切下げなければならぬ。そしてこの目的のために新資本が入用なのだ。』

今工場設備更新の過程は絶えず行はれてをり、この工場は決して残らず利用されない。ドイツ經濟學者のク、チ、ン、ス、キ、ーは資本家が望んでゐる資本形成増加について次のやうに言つてゐるが、それは尤もなことだ。『吾々の生産装置は現在既に過大である。生産装置の操業割合は能力の約四分ノ三である。工業はもつと装置を發展させるかも知れない。さうすると恐らく操業割合は能力の半分に過ぎなくなるだらう。』

だが彼は進んで次のやうに言つてゐるが、これはてんで大間違ひだ。『疑ひもなく、ドイツ經濟には資本が入用だ、非常に多額の資本さへ入用なのだ。だがドイツ經濟には生産資本は入用でない、消費資本が必要なのだ。生産的目的には資本は入用でない。消費的目的に、住宅に、浴場設備に、兒童運動場に、等々に資本が入用なのだ。』

これは、既に前に批評した非常時労働による恐慌克服と丁度同じ立場なのだ。

丁度これと同じやうに——これよりも甚だしくはない迄も——労働者階級を欺瞞するものは消費金融の理論と精神の似かよつた『高い賃銀』の理論である。これからこの理論の検討に移らう。

五 『高い賃銀』によつて恐慌は防止できるか？

信用による資本主義的循環の發展行程統制の理論が改良主義者たちの間に現はれ始めたのはやつと最近数年間のことだ。けれども『高い賃銀』の理論は既に早くからその理論的論議の兵器庫の最重要構成部分をなしてゐて、西ヨーロッパでも合衆國でも改良主義的労働組合と社會民主主義政黨の公式イデオロギーに屬してゐる。

この理論の名は『賃銀の國民經濟的理論』と言ふが、恐慌は敵對的分配關係に基いた生産の結果であるといふマルクスの命題に順應した資本主義『啓蒙された資本主義』の理論であると自ら稱してゐる。この理論が認めてゐるところによると、近代の資本主義生産の混沌を逃れる道は分配の統制（高い賃銀）を通つてゐる。

資本主義發展の二つの瀬戸、即ち高景氣の時の賃銀の相對的低下と不景氣の時の賃銀の絶對的低下との間を向ふにくゞり抜けるべき萬能藥として、これらの理論家は高い賃銀をすゝめてゐる。高い賃銀は勤勞大衆の購買力を高め、蓄積のテムボを緩め、高景氣の不景氣に推移するのを阻止するといふのだ。それでもなほ不景氣が起るやうなことがあつても、高い賃銀は不景氣克服の最も重要々因をなすだらう、といふのがこの理論の代表者たちの意見だ(2)。

(2) ヴィンキー K. Massar の著書『高い賃銀の國民經濟的理論』 Volkswirtschaftliche Theorie der hohen Löhne 雜誌『勞働』一九二八年所載、マーシャール I. Marschall の論文並びにレーデラー Lederer の著作を見よ。

これらの理論家は資本主義に根本的治療を施さうと決心したのだ。その考へ方は次の通りだ。資本主義の諸矛盾が分配の敵對性から來るものならば、この諸矛盾を緩和し、また恐らくは根絶しやうとするには、賃銀を引上げなければならぬ。なほ、あとの議論の本質はこのことが資本主義自身にとつて有益無害のものだといふことにある。ところで彼等はこの理論をもつて誰を説きつけやうと言ふのか？

彼等は「客觀科學的」分析に基づいて、一方には労働者階級に賃銀引上げ闘争のときに議論を興へ他方には全體としての資本家階級に（彼等自身も個々別々の資本家は全然この議論で説服できないことを承知してゐるからだ）賃銀引上げは彼等の利益と國民經濟の利益とに合することを説得しやうとする。それも、ブルジョア諸國ではじつにこの社會の悟性の權化である國家權力の姿をかりて説得しやうとするのだ。

この理論は賃銀引上げ——このことには全體としての資本家階級も労働者階級と同様に關心を持つべきである——の根柢の上に諸階級の労働協同體と勞資間の利益協調を招致せんとする試みである。けれども、あらゆる事實が證明してゐる通り、資本主義の内在的法則性は資本家を驅つて「高い賃銀」の理論家が代表してゐるのは對角線的に反對の方向に進ませる。じつにマルクスは言つてゐる。

『この餘剩價値の生産——さうして餘剩價値の一部分が資本へ再轉化すること、即ち蓄積はこの餘剩價値生産の缺くべからざる構成部分をなしてゐる——は資本主義的生産の直接目的であり決定動

機であることは決して忘れてはならぬ。だから資本主義的生産は決して資本主義的生産にあらざるもの、即ち使用を直接の目的とし、或は資本家用の使用品生産を直接の目的とする生産と(3)として表現さるべきではない。もしさうすれば資本主義的生産の全内部的核心理態に表現されるその特殊の性質を全く無視することになるのだ』(マルクス「資本論」第三卷「一」二二五頁)(改造社版第三卷上二〇七頁)。

(3) 労働者用の使用品生産は勿論なほ更ら違ふ。これは、ローザルクセムブルグが鋭くも補論した通りだ。

生産力の増大と人口の大衆(労働者と俸給生活者)の購買力の縮少との間の矛盾は個々別々の資本家の利益と全體としての資本家階級の利益との間の矛盾を現はすものだ。一方では生産者としての各々の資本家は労働力の代價の支出を切りつめることを利益とし、またこの目的を追求する。他方にその商品の販賣者としての資本家は自分の商品の消費者としての労働者の購買力が高まることを利益とする。けれども、自ら進んで賃銀を引上げ、即ち利潤を斷念して、これによつて労働者階級の購買力を高めやうとすることは經濟の資本主義的性質とは全然矛盾してゐる。なぜならば資本主義的經濟の刺戟は利潤、それも單に利潤ではなくて、できるだけ最大な利潤であるからだ。誰か資本家が労働者階級に追加購買力を興へた場合、たとへその總額が資本家に歸つて來てさへも、このことは彼、即ち個々の資本家にとつては意味のない行爲(労働者階級への「贈物」)だらう。消費者の購買力を高めて、その結果他の工業部門の資本家を非常に富ますことになるならば、彼には愈々馬鹿げたこ

と思はれるに違ひない。だが全體としての資本家階級にとつても賃銀の一般的引上げは労働者階級への「贈物」を意味するだらう。

資本家は尨大な失業とその独占の組織的権力を利用する、だから資本家は至るところで労働者階級への壓迫を増大させる。労働時間を延長し、労働強度を高め、賃銀を引下げるのがそれだ。その上近代資本主義は自由競争の諸関係の下に發展するのではなく、——最重要工業諸部門が独占的結合に組織されてゐるといふ——諸関係の下に發展する。そしてこの事情は資本主義的循環の發展に現はれて出るのである。

資本主義的經濟は循環の形をとつて、即ち恐慌から不景氣、景氣立ち直り、高景氣を経て再び恐慌へ發展する。資本主義的經濟秩序がかういふ風に恐慌を伴つて發展する原因は敵對的分配關係を基礎として生産力が發展することである。資本主義的經濟秩序の自然的統制者は物價運動である。自由競争の場合には商品の過剰生産が現はれるとすぐ物價は不可抗的に下落する。經營の儲けは減退し、その結果、基礎資本は減價する。資本家が生産を続けやうとすれば、生産費を切りつめなければならぬ。これは技術の完成、即ち資本の有機的組成の高度化を必要とする。資本の有機的組成の高度化は新工業部門を生み出し、こんどはこの新工業部門の方が個々の工業部門の間を支配する連鎖の結果、生産手段や消費手段を生産する他の工業部門に増加した需要を出すやうになる。かういふ風にして景氣の立ち直りが現はれる。自由競争の諸関係の下では生産費を切下げれば物價を下落させることによつて

恐慌克服に効果があるといふ。近代の資本主義の發展は大部分自由競争の諸關係の下では行はれず、独占的に組織化された資本の諸關係の下（トラスト、カルテル、コンツェルン）で行はれるから、この命題は若干變更される。独占的に組織化された工業部門は生産を制限し、生産進展のテムポを弛緩させることによつて物價を安定化しまた引上げることができ、またさうすることが利益なのだ。この高價政策はまた結局独占の最重要目的である。その結果独占的結合體では生産費を引下げてもそれに應じて價格は下らない。その結果資本蓄積の増進が起り、資本主義の根本諸矛盾は最も激しくこゝに現はれる。蓄積が増進し、それが自分自身の工業部門に投資をすれば、生産擴張といふことにならざるを得ないだらう。生産擴張は反對にその高價政策を破滅させる虞れがある。独占資本主義はその商品の外國市場を求め、その資本の使用領域を求める。だから益々帝國主義的となるのだ。

独占は高景氣のとき國內の價格を引上げるが、この高價格は蓄積のテムポを早め、過剰生産の時點を近づかせ、これによつて高景氣の不景氣に移つてゆくのを早くする。他方に独占は不景氣の間今まで通りに高價格を維持するから、價格引下げの方法による正常な景氣調節を妨げ、不景氣を長びかせる。独占は生産を制限する、しかしながら價格を引下げないから不景氣の間は失業を非常に増大させる。これは國民經濟の不景氣状態をより一層ひどくする。かういふ風に独占資本主義の諸關係の下では高景氣は益々短くなり、不景氣は益々長くなる。

他方に、現在は個々の經營の間の競争は無くなつたが、尨大な諸独占の間の闘争、即ち諸独占自身

第二部 アメリカ恐慌

一 取引所大動亂と近づける經濟恐慌

(ルービンシュタイン、一九二九年十一月)

一 取引所大動亂の襲來

一九二九年十月から十一月にかけてのニューヨーク取引所の崩壊は、合衆國の經濟状態を判断するた
めにも階級闘争の發展を見透すためにも深い意義を持つてゐる。この崩壊の影響はひとり合衆國だけ
でなく全資本主義世界にも亦た深刻な變動を伴ふだらう。

多くの人々にとつてはこの崩壊は晴天の霹靂のやうに襲來した。すべての表面的な徴候から推論す
れば、アメリカ資本主義はかの悪名高き『繁榮』といふ全く獨特な上向の徴候を示しながら一九二九
年に入つたのであつた。一九二九年に於ては、アメリカ資本主義は同年初めの産業の沈滞を克服する
ことに成功したばかりでなく、更らに一聯の最重要な生産部門で新しいレコードを作ることにも成功
した。一九二九年の上半期には、自動車工業、熔融工業、化學工業及び電機工業のごとき、これらす
べての近代アメリカ經濟の『鍵』は全速力で運轉した。同年の最初の十ヶ月間に工業生産は一九二八
年同期に比べて殆んど一〇%の増加を示した。それは資本主義世界からも、又その一つたる合衆國か

らも、餘程以前に忘れられてゐたテムポだつた。

急速なテムポで合理化や技術の發展が進行した。アメリカ資本主義は國外發展の領域に於て次から
次へと成果をあげた。アメリカ資本主義は、その輸出を増大した、地球のあらゆる隅々に亘つて經營
や原料源泉を買占めた、ヨーロッパの諸々の資本家や政府に自己の意志を命令した。ヤング案はその
新たな勝利だつた。それはアメリカ資本主義が廣い場面に亘つて世界の舞臺に登場することを確保
した。

生産の増大の比較的小さな基礎の上に、取引所投機の老大な摩天樓が天にも届かんばかりに急速に
聳え立つた。株相場は僅かな中斷があつたゞけで五年以上も騰起し続けた。崩壊前の最後の六ヶ月は
真正正銘の投機亂舞の時代だつた。それは大きさに於て資本主義の歴史上にその比類を見ないもので
あり、中小ブルジョア及び労働貴族の『素人筋』の大群を含んでゐた。それは集中された金
融資本によつて組織的に煽動され、鼓吹され、指導された。金融資本はかうして小ブルジョア及び
全貯蓄と労働者階級の賃銀の一部とを自己の手中に集めた。

最近數ヶ年の間に取引所は地下の噴火力の作用を示す突發的な打撃に數回遭遇した。だが政府や聯
邦準備銀行や金融貴族は氣休め的な聲明を出して、あらゆる經濟法則は近代アメリカには通用しない
と主張した。そこで投機は勢を倍加して回復し、株は太陽に曝された水銀柱のやうに昂騰した。

崩壊の避け難いことを指摘したローヂャー・バブソン、Roger Babson などのやうな二三の景氣豫言

者は特別な連中だ。

一九二九年九月六日、或る會合でこのローチャー・パブソンは次のやうに聲明した。『私は繰返していふが、遅かれ早かれ大動亂が起つて、すべての主力株をそのなかに捲き込むだらう。……いかに聲を大にして自家吹聴 (Boasting) をやつても、上向の波は永遠には續き得ないといふ眞理を覆へすことはできない。どこかの大鐵道か電氣會社か金融會社か銀行かが破産すれば、この迷夢を醒ますことができるだらう。これらに資本を投じてゐる數百萬の人々や地主や實業家が、擬制的上向の最後がくるといふこと或ひはもうすでにきてゐるのだといふことを理解したならば、歴史上最長期のこの上向はもとより、持久的繁榮の夢も亦た止れを命ぜられるだらう。』(『金融時報』一九二九年十一月二十一日から引用)。

この種の豫言に對しては、政府の諸機關や準備銀行や御用學(即ち銀行學)や新聞やラヂオの重砲が向けられた。

たゞマルクス主義的な分析だけが、この全發展を蝕ばみつゝある腐朽や急速な矛盾の増大や近づける激變の數千の徴候を認めて、一個の統一的全體に綜合し得たであらう。だがアメリカ資本主義はマルクス主義にかゝづらつてゐるやうな暇はなかつた。資本家達は前古未聞の利潤と永遠の幸運の希望とで酔つ拂つてゐるやうだつた。

九月〔原文誤〕初めに株相場は前年の最高點を三倍或ひはそれ以上に凌駕する高さにまで昂騰した。

次いですでに九月には明かに相場下落の傾向を持つた相場の高度の變動が始まつた。十月初めには數回の強度の暴落が短い間隔において相次いで起つた。これらの息繼ぎの度ごとに、金融業者や工業家や博學な經濟學者達は、相場暴落は終つたといふ堂々たる勝ち誇つた聲明を出した。だがそれは數日後に株が再び下落することを妨げなかつた。最後に一九二九年十月二十日を中心として『地震』が襲來した。それは擬制資本と擬制繁榮との——だがその故に、正にこの金融資本の『擬制』のお蔭で近代資本主義の無制限な支配者となつてゐる金融寡頭支配にとつては擬制的どころではない利潤の——奇妙な世界に於ける真正正銘の地震だつた。

十月中に二十五種の最重要工業株の相場は、『ニウヨーク・タイムズ』の指數によれば、殆んど半値に(四五%だけ)下落した。取引所の出來高は前古未聞の大いさに達した。十月中だけでも二億以上の株がその所有者を變へた。

十月の最後の週に仲買人注文は二十億乃至三十億即ち三〇%だけ減少した。一九二九年十月一日の官廳取引所統計の報告によれば、ニウヨーク取引所の株の價值は八百七十億弗に達してゐたのに、十月二十九日にはこれに反して僅かに四百八十億弗に達したに過ぎない。取引所に上場されない株の損失や地方取引所に於ける比較的大きな損失を考へに入れると、取引所恐慌の最初の一週間に於ける損失の總計は六百億弗から七百億弗の巨額に達するだらう。

一週間以前にはまだ萬年繁榮を合唱して讚美してゐた合衆國の經濟諸新聞が、今ではこの崩壞を描

寫するのにあらゆる陰鬱な色彩を惜しまない。

二三の例をあげよう。一九二九年十一月二日に『商業及び金融時報』は次のやうに書いてゐる。「この一週間は數世紀間に於ける最大の取引所崩壊、疑ひもなく合衆國の歴史上最悪の取引所崩壊を経験し、取引所の歴史上にその比類を見ないほど巨額にして且つ廣汎な貨幣損失を経験した。それは、その後相場は回復したにも拘はらず、取引所の全構造を掘り崩した。この相場回復はこの一週間の間にすべてを失つてしまつた不運者達へ！(しかもその數は非常に多いのだ)には何にもならなかつた。それはたゞ充分な資力をもつてゐる人々を利したゞけであつた。これらの人々は、かうした收穫や取引によつてさなくとも大きかつた彼等の所有を増加するのだ。その他の(世界各地の)被害者達は、今では陸にあげられた魚のやうになつてゐて、もはや回復しないだらう。數百萬の人々は翼を切られた。彼等は財政的な廢人であつて、長い間に亘つて取引所に於ける活動に再起することはできないだらう。更らにまた彼等は斷然その家計を緊縮しなければならぬだらう。このことが多くの商業部門に不利な影響を及ぼすだらうといふことは少しも疑ひを容れない。」

ニウヨーク取引所に於ける劇的壞滅と同時に——と十一月一日の『アナリスト』は書いてゐる——今一つ他の大動亂が続いて起つた。それは最近數ヶ年の間に非常に廣汎に撒き散らされた投機や投資に關する多くの理論の崩壊で、第一に『萬年繁榮』とか『資本主義の新時代』とかに關するお饒舌の本來の基礎の崩壊である。

二 アメリカ資本主義の寄生的頹廢

大動亂の最初の雷鳴が止んだ後は、取引所も幾らか落着き始めた。數百萬の馬鹿者は骨の髄まで苦しめられ、今では荆棘の道を進まねばならない。多くのアメリカ資本家達、殊に下落した株の買占めで一儲けしたやうな連中は、再び以前のやうな底抜けの樂觀論に耽り始める。更らに進んで彼等は、取引所大動亂はアメリカ資本主義にとつて有益であつたに過ぎないとまで斷言する。

南部工業地方の指導機關誌『工業レコード』Manuf. Record はその表紙に太字で堂々と聲明して曰く、「太陽はなほアメリカの上に輝いてゐる……アメリカの資源は、僅か一噸の鑛鐵又は石炭さへも、一ガロンの石油さへも、一ブッシュェルの穀物または一俵の棉花さへも、一棟の工場さへも減少してはゐなす」と。この連中は正に、以上の事實にこそアメリカ資本主義の不治の疾患が、その最大の矛盾即ち生産装置の『過剩發展』と購買力ある需要の未發展との間の増大しゆく不均衡の根元があるのだといふことを理解しない。太陽はなほアメリカの上に輝いてゐるしまた將來も輝くだらう。だが資本主義的『繁榮』の太陽は、おゝ悲しいかな、永久に没落してしまつたのだ！

『工業レコード』は崩壊が有益な諸結果をさへ齎らすだらうといふことを斷言しやうと試みる。「ウォール街に於ける旋風は適度な取引や利潤のために周圍を淨めてくれた。投機熱が全國を引捉えてゐた。投機といふ傳染病がアメリカ國民の血液中に滲透したかのやうに思はれた。投機利潤は恰かも磁石のやうに他の場所に必要な貨幣を吸引した。この氣違ひじみた熱病が吾國の發展を阻害し、失業を

作り出したのだ。今やこれに反して、吾國は數百萬の人口の注意を側道にそらしてゐた亂暴な賭博の力を克服し、眞の建設的な活動に向つて進むだらう。』

かういふ議論は、アメリカの新聞に滿載されてゐるし、またアメリカ労働總同盟や社會黨やその他の金融資本の労働者及び小ブルジョア士官連の仲間の間に特に流行してゐる。

ヨーロッパでもやはりアメリカの大動亂の多くの批判者達は、『マルクス主義者』と呼ばれることを要求してゐる連中に至るまで、合衆國に於ける取引所投機の發展と崩壊とを何か偶然的な外部から持ちこまれたものとして、資本主義的機構の生命に係はるやうな中樞を傷けないで切開され得る膿腫と看做さうと努めてゐる。

すべてこれらの小ブルジョアの空想主義者達は次の事實を理解してゐないしまた理解しやうともしない。それは、投機の亂暴な放縱性が資本主義の現段階に於ては單に避け難いものであるばかりでなく、むしろ資本主義の固有の本質とさへなつてゐるといふことである。投機は、近代資本主義經濟にとつては異分子ではなくて、その脈管組織なのだ。金融資本はその助力を借りて、人口のあらゆる層からその榮養分を集めるのだ。取引所は經濟の半自動的規制者から、投機を中心となり、投機がなくては成立し得ない金融寡頭支配の中心となつた。かくてレーニンは次のやうに書いた。『資本主義の發展は、商品生産がなるほど依然として支配的であり且つ全經濟の基礎として作用してはゐるが、事實上ではすでにそれは掘り崩されてをり、最大の利潤は金融取引の「天才」の手に歸してゐるやう

英

な點にまで達してゐる。これらの取引や詐欺の根柢には生産の社會化があるのであつて、やつとこの社會化にまで築き上げた人類の巨大な進歩は、投機者を利するものとなつてゐる。』(レーニン、全集第十九卷九〇頁)『帝國主義』長谷部氏譯岩波文庫版三八頁)。近代アメリカ經濟に於ける投機の役割は、アメリカ資本主義の寄生的頹廢と腐敗との非常に雄辯な徴候である。

フーヴァーやメロン、ラモントやクラインは、現在相競つて公衆に次のやうに説伏しようとしてゐる。取引所に起つたことは、工業や商業や失業には影響しないだらうと。昨日まで彼等によつてお説教されてゐたことすべてと反對に、今や工業は金融や取引所とは全然關係してはならないのだ。取引所は餘りに高く登り過ぎた、だから今やその罪滅ぼしをしなければならぬ。これに反して生産にはそんなことは毫も關係ない、生産は何事も起らなかつたかのやうに健全で繁榮し續けるといふのだ。『商業新聞』Journal of Commerce はかうした意見について完全に正しい批判を與へてゐる。『投機と生産との間には關係がないといふ、ワシントンから出された聲明は、それを信用する人々にとつて氣持がよからうが、一つの囁語である』。また他の號では次のやうに言つてゐる。『投機と實業とを分つ境界線は、理論上未だ會て存在してゐない。實際には反對に、主だつた投機者は同時にまた最も活動的な實業家である、彼等は餘り多くの場合に取引所投機に参加してゐるので、相場が暴落するとすぐに不具者になつてしまふのだ。』こゝではたゞ次のやうな反駁できない事實を示すに止めよう。ウォール街の投機の指導者は同時にまたアメリカの産業の無制限な支配者である。正にこの點にこそ金融

資本の固有の本質があるのだ。従つて、取引所は経済的な基礎から切り離されてゐるといふ聲明は、生産が取引所から獨立した自分自身の道を進むといふやうなことを意味するのではなくて、反對に、全經濟が近代の取引所の水準の上にあること、即ち全資本主義が骨の髄まで寄生と腐敗との要素で滲透されてゐるといふことを意味するのだ。

すでに一九一八年にレーニンは最近のアメリカ資本主義の寄生的特徴の急速な増大を強調してゐる。その時以來、この傾向の發展は更らに一層急速なテムポで進展した。

數十億弗の有價證券の形態に於ける貨幣資本の蓄積は、不可避的に、『金利生活者即ち利札切りによつて生活する人々、いかなる經營にも毫も參與しない人々、怠惰を職業とする人々の階級——あるひはヨリ正確にいへば——層の非常な増大』を呼び起す（レーニン『帝國主義』長谷部譯岩波文庫版一四四頁）。レーニンがこれらの數行を書いた時以來、一方では職業的投機者の一層廣汎な層が金利生活者層に加はつたと同時に、他方では意識的或は無意識的に、直接或ひは間接に人口の廣汎な層が投機に干與したといふ事實がある。アメリカ資本主義の寄生的墮落のこの基礎、この本質を理解しない者は、取引所崩壊の原因についても、またこの崩壊がこの國の經濟に及ぼす影響についても、何一つ理解することはできない。この立場からすれば、ニウヨークの取引所大動亂は資本主義的生産の最も深刻な寄生主義と、同時に最も大きな無政府状態とを明確に表現するものである。この無政府状態は、資本の集積と金融寡頭支配の獨占とが高まるにも拘はらず——或はより正確に言へば——正にそれが

高まるが故に、益々増大するのである。この大動亂は非常に明確に、『私經濟的關係の外殼が腐敗に瀕しその周圍のあらゆるものに傳染してゐる』ことを示してゐる。

三 取引所大動亂の經濟的諸結果

すでに取引所大動亂以前から、若干の最重要生産部門では生産減退の徴候が見られた。これに反して、その他の生産部門では、言はば極度の「過勞」状態の特徴たる神經昂奮の時期を想起させるやうな、特殊の活氣が支配してゐた。

アメリカ資本主義の內的諸矛盾の堆積は、『レコード年度』たる全一九二八年にも一九二九年にも絶えず續いてゐた。一月毎に、生産装置の可能性と生産との不釣合、生産と購買力ある需要との不釣合、生産力發展の可能性と資本によつて搾取される大衆の消費との不釣合は増大した。『過剩』資本の投資の可能性は絶えず縮小した。

經濟的變革、諸矛盾の恐慌による『爆發』の準備は、全速力で進行した。明かに、取引所恐慌が初めてこれらの矛盾を作り出したのではなくて、それはたゞ、一方でこれらの矛盾が表面に現はれるための動力の役をつとめたと同時に、他方では若干の矛盾の作用と意義とを強めたに過ぎない。

第一に、この恐慌は新たに國內市場の急激な縮小を呼び起した。吾々がすでに強調したやうに、かの大動亂は、直接に數十萬の——數百萬とまでは行かないとしても——中小ブルジョア出の、また農民や労働者階級のうちの特權ある頭株仲間出の、自發的な或は自發的でない投機者を破滅させた。彼

等の消費は不可避的に縮小するだらう。彼等は飢餓の帯を一層強く緊めねばならないだらう。彼等の買入をあらゆる方法によつて縮小しなければならぬだらう。

そして大動亂による消費の縮小は贅澤品だけに關するものだといふ金融貴族の氣休め的な聲明に答へて、『商業新聞』は全く正しく次のことを指摘してゐる。合衆國では贅澤品と大衆の消費する品物との間に境界線を引くことは全然できない。他方に於て、贅澤品の生産から労働者を投げ出すことは、これらの労働者の非常に大きな層の消費を縮小するものであつて、さうでなければ必要だつた原料等々の獲得もこれに應じて縮小されるのだ。

これについて『金融時報』（十月十九日）は一層卒直に述べてゐる。『贅澤品の消費だけでなく通常の消費も亦た縮小されるだらう。そしてそのためにこれらの生産物を製造してゐた工場に影響するだらう。なるほどすべての工場は依然として元の場所にあるだらう、それは本當だ。だがそれは以前のやうには使用されないだらう。このことは賃銀や失業に反作用するだらう。……吾々は老大な豫備軍や過剰のエネルギーを持つてゐる、だが吾々は擬制的繁榮が望むほどにはこれらのものを要求することができない。なるほど全基礎は健全だ、だが僅か一週間の間に二百五十億から四百億弗の證券價值が消滅したといふことは、現實の價值にも亦た影響せざるを得ない。國民の購買力からインフレーションが除かれて、従來の購買力のうち一層少い部分だけが残つたに過ぎない。……全實業生活の弛緩は今後數ヶ年間避け難い。繁榮はまだまだ續くといふお上からの氣休め的な聲明は、自分自身を元氣

づけるための筈以外の何物でもない。夢は終つたのだ！』

賦拂購入による負債は廣汎な大衆の購買力の縮小にとつて大きな意義をもつてゐる。この賦拂購入は合衆國では非常に擴まつてゐて、殆んどすべての必需品を包含してゐる。數百萬をもつて數へる大衆が言はゞ賦拂購入で生活してゐるのだ。經濟的上向時代にはこの購入は市場を擴大するに役立つた。それは、この購入方法が繁榮の安定性や永遠性に驚くべき影響を及ぼすといふことを——當該會社から金をもらつて——述べ立てる一聯の理論を呼び起した。だが不景氣が始まるや否や、賦拂購入は正に正反對の方向に作用し始めた。新聞は今や次のことを強調してゐる。直接間接金融大動亂のために苦しまねばならなかつた數百萬の人々や、街頭に投げ出された數百萬の失業者その他は、以前に行つた購入のために負債を負はされてゐるので、今では新らしい商品の買手としては非常に悪い。上向期に於ける信用の過度の發展は、不景氣が始まると共に、その報ひとして市場の縮小を促進するのである。

十月即ち取引所崩壞がまだ始まらない前の數字がすでに一列の最重要生産部門の生産の減退を示してゐる。鋼鐵製造の指數は一二・六ポイントだけ低下してをり、製鐵所の操業度は少し前まで殆んど一〇〇%を示してゐたのに、ピッツバーグとシカゴとでは七五%にまで低下した。十月には自動車製造も亦た高度に減退した。すべてこれらの過程は直ちに石炭産出に反作用した。一般に一國の經濟狀態を非常に特徴的に示すところの鐵道貨物指數は前年十月の價值以下に低下した。建築契約は十月に

は前年同期に比べて一二%だけ低下した。季節的變動を除去してゐる『アナリスト』の一般工業指數は、十月には三・五ポイントだけ低下した。

この國の經濟生活指數のかうした變動、取引所大動亂以前から且つそれとは獨立に認められてゐたかうした指數低下は、『アナリスト』をして次のやうに聲明させた。『この場合問題なのは、公衆の信頼とかその他の感傷癖ではなくて、事業の現實の打撃への冷酷な順應だ。この打撃は一言で特徴づけるならば即ち過度の發展だ。取引所大動亂はその後からやつと起つたものである。……前代未聞の大金融崩壊は、單にこの不景氣を一層悪化させその回復を妨害し困難にするに過ぎない』。

十一月の報告はまだ不十分だが、それは發展が現實にこの道を進んだことを示してゐる。フォードはその全連鎖工場の活動を休止し、デトロイトでは三萬の労働者を解雇した。ヂェネラル・モーターズの諸工場は經營を非常にひどく縮小した。若干の獨立自動車企業は、殆んど全休状態となつた。數千の労働者がデトロイト近郊の自動車町即ちポンティアク大移住地を立退いた。町に残つた労働者は街頭にさまよひ、就業はすつかりあきらめてゐる。

シカゴの收穫機械製造會社は數千の労働者を解雇した。被服工業はクリスマス季節が近づいてゐるにも拘はらず崩壊の直接の結果として鋭い販賣恐慌を忍ばねばならない。最後に南部地方の纖維工業家聯合會は一週四労働日制に移行するだらうといふことを聲明した。フーヴァーが鎮靜させようと努力したり巧みに説得したりしたにも拘はらず、殆んどすべての生産部門の工業家はその經營を縮小

したし、或は近い内に縮小しようとしてゐる。デトロイトでは十月にすでに十萬の失業者があり、フィラデルフィアでは七萬五千の失業者があつた。

すでに始まつてをりすでに疑ひもなく存在してゐる不景氣が、或る一定の月に激烈な恐慌に轉化するといふことを豫言するのは(1)、吾々の考へによれば、あまりに大膽なやり方だ。この領域ではアメリカ資本主義の策動の可能性はなほ非常に重要である。アメリカ資本主義に恐慌を除去する可能性は全然ないとしても、それはなほ一聯の方策によつて恐慌を或る期間遅れさせることはできる。これは一般にたゞ崩壊の鋭さを強めるに過ぎない。

(1) 經濟恐慌は合衆國に於てすでに始まつてゐる。だから吾々はいつ恐慌が始まるかといふことなど豫言する必要はない。

以前の恐慌の間に得られた諸經驗は次のことを示してゐる。取引所崩壊と産業恐慌との間には通常數ヶ月の時期が経過するのを常とし、時としてはそれが一年にも及ぶことがある。この時期は屢々生産の新たな上向によつて、言はゞ過勞せる肉體の人工的な神經昂奮によつて、特徴づけられる。すでに當時エンゲルスが豫言したやうに、恐慌の形態は、一つの重要な變化への傾向、即ち激烈な動搖を益々短く且つ益々弱い新繁榮期を伴つた慢性的な沈滞によつて置き換へるやうな傾向を示してゐる。それはどうであらうとも、ヒルファアディングが彼の『金融資本論』に書いてゐる次の句は少しの疑ひもなく眞理だ。取引所恐慌は單に商業Ⅱ及び工業恐慌の一徴候であり一前兆である。蓋し實に貨

幣市場に於ける變動は生産に於ける變動を條件としてをり、それが恐慌に導くのだ（「ヒルファードイ
ング『金融資本論』林要譯弘文堂版第三分冊五四九頁」）。

四 經濟恐慌の發展と革命的労働者運動

合衆國の労働者階級及び労働者運動にとつて經濟恐慌は非常に重要な諸結果と結びついてゐる。

一、労働貴族、「ブルジョア」のこの社會的主要支柱の深刻な危機。すでに取引所大動亂の影響で、合衆國に於て他のいかなる國に於けるよりも比較的廣汎なこの支柱は、一方で縮小したと共に他方でその位置を變へた。恐慌は一方では改良主義と資本との一層大きな融合、一層強固な癒着を呼び起し、取引所大動亂後も傷けられずに残つた労働貴族の一部の金融寡頭支配への完全なイデオロギイ的屈服を呼び起した。恐慌時代にいつも起るやうに、アメリカ改良主義の指導的層は、「苦境を救ふ」ために、彼等の支持と協力とを得て労働者大衆の搾取を極度に強化することによつて恐慌から脱出する血路を見出す希望を辯明するために、ブルジョアによつて殊に前面に押し出された。恐慌の第一段階が、アメリカ労働總同盟や社會黨やその他マス・Muste、ローア・Lore、ラヴストーン、キャノン Cannon のやうな「左翼」改良主義者グループの重要性を——よしその影響は増大しないとしても——或る程度増大させるだらうといふことは、極くありさうなことだ。この増大は主にそして先づ第一に、豫期しなかつた震撼のために「發狂」した小ブルジョアや俸給生活者等々をだしに使つて起るだらう。彼等の全活動は、全然金融寡頭支配に奉仕するために、資本主義の震撼された建物を

支持するために向けられるだらう。

この支持は、ブルジョアジの命令に應じて色々様々に行はれるだらう。アメリカ労働總同盟の代表者連は、新聞電報が報道してゐるやうに、取引所大動亂によつてぶちぬかれた穴を塞ぎその結果を緩和することを目的としてゐる金融及び工業貴族との共同會議へ、すでにフーヴァーの招待で参加した。この代表者連は「産業平和」を保護し、いかなるストライキをも斷念し、かうして労働條件に對する資本の攻勢を容易ならしめることを謹んで誓言し奉つてゐる。

他方に於て、あらゆる色合の「左翼」改良主義者は、同一の任務を他の形態で即ち見掛けだけの階級闘争とか労働者大衆の反抗や組織化に關する空言とかの口實の蔭に隠れて實行するだらう。そして資本主義の溫和な「批判」やその「改良」や「修正」の無数の計畫によつて、労働者大衆の注意を闘争から外らすだらう。

かうしてあらゆる色合の改良主義者は、一層緊密に金融資本と結びつくだらう。彼等は金融資本の掌中にあつて、労働者大衆を武装解除し、分裂させ、欺瞞するための一層重要な道具となるだらう。だがそれと同時に、取引所大動亂による大衆や小ブルジョアや自作農の破滅、合理化の進歩のために生産から突き出された専門労働者の破滅、労働者銀行や労働者株券の激烈な崩壊、「資本の民主化」といふ廣汎に撒き散らされた幻影やその他のアメリカ資本主義のお伽噺の曝露、あらゆる隨伴現象を伴つてゐる農業恐慌の尖鋭化、これらのものは、×××——「ブルジョア」のために偽瞞されて

70
界の健實とを祝ひ合つてゐる。フーヴァーは大統領當選の直後に告知して、『貧窮撲滅』のために三十億弗の資本を提供するだらうと言つた。資本主義の辯護者共はアメリカの技術の讚歌を唱ひ、アメリカの繁榮は永遠に續くものだと言つた。これが取引所大動亂の直前の有様だつた。七月以來記録された生産の反落は恐慌の迫つてゐる徴候だと考へられなかつたのだ。今日では『繁榮』の代りに深刻な經濟恐慌が見舞つてゐる。

合衆國共産黨の中央委員會は、一九二九年十月の第一週に於けるその總會で情勢を正しく評價した。中央委員會は種々な工業に於ける恐慌、生産反落の開始及び猛烈な取引所投機に基いてかう言つた、『合衆國の現在の情勢もやはり經濟恐慌の性質を示してゐる。……合衆國では現在高景氣曲線の陥没と前恐慌段階の開始とが起らうとしてゐる情勢がある』。

まだ今でも恐慌は完全に現はれ盡してはゐない。だがどの位深刻かといふことはすでに知ることが出来る。生産反落は加速化されたテムポで繼續してゐる。十一月中の反落は、一ヶ月間の反落としては、取引所の強烈な震撼の結果起つた一八九三年及び一九〇七年の深刻な恐慌の年を除けば、この半世紀以來の最大の反落だつた。

事業狀態指數は十月に一〇三・五だつたのが九五・八に低下した。今までの奔騰期の最強の支柱だつた自動車Ⅱ及び建築工業の反落は特に大きい。自動車生産の指數は六月に一五〇・五だつたが、十月には一一五・五に下り、十一月には八一・八に下つた。十二月にはなほ一層著しい生産の反落を示してゐる。自動車生産は更に激落し、實に三七⁷/₁₀を減じて現在五一・五になつてをり（鑛産物の採掘は十一月の二二五、八二二から十二月の二二五、〇〇〇に減つた）、多年來の最低狀態に達した。建築業は十二月には一九二四年來の最低點に達し、これに對して生鋼の生産は八九・一から七八・四に減じた。このことは資本主義的商業雜誌『アナリスト』をして次のやうに確認させた。『生鋼生産のこの激減は一般事業狀態指數の押し下げに作用した』(このことを『アナリスト』は證明した)。同紙は生鐵生産の反落が『豫想以上に著しい。二十以上の鑛鑛爐が最近二ヶ月間に作業を停止した。これは一九二四年四月及び五月以來の最も著しい反落だ』と告白しない譯に行かなかつた。

輸出貿易は一九二九年十一月に、一九二八年の十一月に比べて二〇%低下した。これは一億弗の額に當る。

經濟恐慌は今までのところはまだ信用恐慌の形をとつてゐない。だがいくらかの金融引締りを確認しなければならぬ。短期信用（仲買人信用）は十月三十日の五十五億弗から、取引所大動亂直後一月八日には三十三億五千二百萬弗に低下した。ブルジョア新聞は、ヨーロッパ諸國殊にフランスへの金輸出を不満足だとしてゐる。

卸賣物價は一九二九年六月の一四九・一から一九三〇年一月の一四〇・二に下つた。支拂停止數は更らに上昇しつゝある。一月の第一週には支拂停止の數が前週の四〇七に對して六一八になつた。あらゆる指標は恐慌が急速に過ぎ去りはしないだらうことを物語つてゐる。『アナリスト』は、少く

とも六ヶ月間は続くと言つてゐる。「商業新聞」はもつと長い恐慌期間を豫言してゐる。恐慌は一九二〇—二一年の大恐慌——再び上向運動が始まるまで十八ヶ月間続いた——を特徴づけるあらゆる症候を現在すでに示してゐる。だが恐慌の大きさ、その意義及び恐慌に続く不景氣の長さを、合衆國のこれまでの恐慌を基にして定めることはできない。それは、戦後の資本主義的没落期に、ヨリ正確には資本主義の一般的危機の第三期に起つたアメリカ恐慌は、最初から非常に鋭い形態をとらなければならぬからだ。恐慌はまた、合衆國及び全世界に於ける慢性的な且つ深刻な農業恐慌によつて影響されるだらう。農業恐慌は國際市場の一層の狭小化を惹き起す。

合衆國の激烈な恐慌は、ブルジョア化した社會ファシスト的經濟政策家連中の大風呂敷の化けの皮を剥いだ。この大風呂敷はラヴストーンやデトロウが口眞似したものだが、アメリカ資本主義は資本主義制度に内在する諸矛盾を克服してしまつたといふことだつた。フーヴァーがいかに努力しても没落運動を妨げはしなかつたし、また妨げ得なかつたのだ。大銀行、産業男爵、實業官僚から成る經濟審議會の設置は、恐慌の前進に停止を命ずるといふ成果を擧げなかつた。金融資本の大富豪連の會議の目的は外にあつたのだ。

この會議のプログラムは、新たな合理化の波に對する貸銀切下げ及び労働者階級の極度の搾取に對する完全な出動準備だ。それは新たな販賣市場の獲得に對する強暴な攻勢のための準備として、アメリカ資本主義の金融力を集積することだ。國內市場の狭小化とヨーロッパ諸國の激烈な競争とは、新

市場獲得及び世界の新分割のための深謀なうまく組織された攻撃を命令する。

この任務の遂行に當つてフーヴァーの用ひる攻撃方法、即ち工業生産の全段階の動員は、戦時動員を思ひ出させる。實際に於て政府は最近農村と工場とを軍事地帯に區分し、來るべき戦争と労働者階級に對する攻撃とのための任務を課し、同時に恐慌の負擔を労働者に背負はせることができ得るために、労働組合官僚に向つてはストライキぶつこわしの役割と工業の運轉を止まらせぬやうにする役割とを言ひつけた。販賣市場争奪のため及び利潤の維持と引上げとのために、對外戦争と内亂とのあらゆる武器をもつて戦ふだらう。

『合衆國鋼鐵コルポレーション』社長フアーレルは、『吾が國外貿易の振興以上に重要な任務はない』と『北米評論』に書いてゐる。また『ナショナル・シティー銀行』の頭取チャールス・ミツチェルは、十月ウォール街の取引所大動亂の以前に『ヨーロッパ資本との競争は輸出の増加に結びついてをり、且つアメリカ工業の輸出能力に對する唯一の限界は市場の消費力であること』を確言した。これらの新たな市場の確保のために、資本家階級は生産費引下げをしやうとしてあらゆることを試みるだらうし、資本家階級は労働者階級の生計水準に對する猛烈な攻撃を遂行するだらう。

アメリカ資本主義はその過剰資本のための風通しを世界市場に求めなくてはならないが、世界市場は世界生産の増加に益々遅れて行くのだ。この恐慌は、他の諸國へ擴がつて行く結果同時に世界市場を狭小化する。帝國主義諸國家間の對立が尖鋭化する。イギリスとアメリカとの間の敵對が強烈にな

る。ロンドン軍縮會議は、益々擴大する世界恐慌の面前で開かれてゐるといふことを明瞭に表はしてゐる。恐慌は帝國主義戦争の危機を接近させる。合衆國での経過は、恐慌が突然に且つ經濟生活が表面健實で繁榮だつた時に起ることを示した。戦争も同様だ——矛盾の尖鋭化の結果ブルジョアジイは、戦争の助けを借りてそれを克服するより外に道を求めることができない。平和についてお喋りがされればされるほど、所謂平和會議が頻繁になり益々盛大になればなるほど、戦争が突發しさうになつてゐるのだ。アメリカ資本家階級は帝國主義が増大しその矛盾が顯著になるに従つて、益々反サヴェート同盟統一戦線に於ける指導を引き受けざるを得なくなる。世界資本主義及びその最強帝國主義部分であり恐慌に苦しんでゐる合衆國と、社會主義建設を進展せしめてゐるサヴェート同盟との間の割け目は、サヴェート同盟に對する新たな干渉の危険を強くする。煽動された支那傭兵のサヴェート同盟攻撃は、世界戦争勃發の危険を示してゐる。帝國主義的世界戦争の問題は、恐慌によつていかなる時よりも×××××なる。サヴェート同盟防衛のための闘争はいかなる時にも増して×××××ある。

アメリカ資本主義はその植民地と勢力範圍とを抑壓し、それらに一層苛酷な帝國主義的負擔を負はせるだらう。だが恐慌は合衆國だけに限られてはゐない。ラテン・アメリカも亦た深刻な恐慌状態にある。もしもアメリカ資本がその主要競争者たるイギリスに對抗して、ラテン・アメリカの市場に向つて突進するならば、植民地及び半植民地民衆の×××××闘争に強力な刺戟を與へることになるだらう。

二 「失業と労働者闘争」

労働者階級に對する恐慌の第一の大きな作用は大衆解雇、急激な失業者軍の増大である。慢性的失業者を除いてすでに五百萬の労働者が街頭に投げ出された。慢性的失業者数は生産期間の隆盛時に約三百萬に上つた。

ニウヨーク州の労働監察官は、一九二〇年以來今ほど失業の猛烈なことはないと報告してゐる。恐慌がその深刻な状態に達するすでに二三ヶ月前に、アメリカ労働總同盟の労働組合官僚は、シカゴでは建築労働者の僅か四〇%が就業してゐるに過ぎないと公表した。その後突然猛烈な大衆解雇が起つた。完全失業の外に數十萬否數百萬の労働者が短時間労働をやつてゐる。

一九二〇—二一年の恐慌の年に、保守黨のブルジョア政治家は失業者數を五百萬と見積つた。一九二七年の短い沈滞期に、ニウヨーク州選出の上院議員ワグナーは失業者數を七百萬と報告した。現在の恐慌が尖鋭化すれば、八百萬から一千萬の失業者數を算へなければならなくなるだらう。失業は合衆國に於ても他の資本主義諸國に於けると同様、階級闘争を尖鋭化し資本主義の基礎を震撼する一つの×××である。合衆國では街頭に投げ出された労働者は絶對的飢餓に直面する。「失業扶助のため」に「ヨーロッパの資本主義諸國では僅かのはした錢をくれるが、アメリカの労働者にはそれもない。今日恐ろしい失業の影がアメリカ労働者家族の大多數の前に立つてゐる。最近發表された二つの研究は、労働者に及ぼす失業の作用を示してゐる。一九二九年失業者問題に關する上院委員會は、三つの異つた工業に於ける八百人の熟練労働者の解雇の結果に關する調査のなかで、次のやうに報告

二 アメリカ恐慌

してゐる。これらの労働者の五〇％は一年経つた後にもまだ仕事がない。他の者は三ヶ月乃至六ヶ月失業してゐた後にやつと賃銀の安い不熟練労働を見つけ出した。著者が『中都市』と呼んでゐるアメリカの平均都市に關し、また百二十二家族の調査の結果に關して報告してゐる研究のなかには、次のやうなことが言はれてゐる。これらの家族のうち八十三家族はそれに先立つ數ヶ月間に失業したものであり、六十八家族はその生活水準を變化させねばならなかつた。四十三家族はその食料品の量を減らさなければならなかつたし、四十七家族は衣服を切り詰めた。妻を労働に出さなければならなくなつたのが二十七件あり、保險證書を失効したのが十五件あつた、等々。完全に就業することは労働貴族の特權となつた。

賃銀値下げ及び労働時間延長をやらうといふ鋭い攻撃がすでに始まつた。『鋼鐵トラスト』はヤングスタウンの金屬労働の賃銀を二〇％引下げた。自動車工場では賃銀が二〇％から四〇％引下げられた。これは他の工業にも及んで行くだらう。×××労働組合×××××と對するテロルは強化されるだらう。最近二ケ年間赤色救援會は五千以上の事件を取扱はなければならなかつた。逮捕の數、外人労働者に對する襲撃、×××労働組合指導者を私刑に處さうとする企て、ストライキ労働者の射殺、×××事務所・事務室に對する襲撃、すでに二三の州であつたやうに黨を×××××押し込めやうとする直接の企て——すべてこれらは現在の恐慌によつて×××××されるだらう。

労働者階級の賃銀や生計水準に對するこの攻撃に際し、労働者階級は資本主義的國家と社會ファシストとの同盟に對立する。資本主義的國家は徹底的に益々ファシズム化する。支配權力は大統領や大臣や特別任命の委員會に益々集中する。極く最近にフーヴァーは、『特別委員會』による支配の價値について書いた。大統領が裁可した『法律勵行委員會』——その先頭にはゴリ／＼の反動家ウィツカーシヤムが立つてゐる——は數日前一つの法律案を提案した。それによると、禁酒法の勵行のために一萬人の役員を新たに任命するといふのであり、更らに巨大な禁酒機關を司法大臣に直屬させることを要求するのである。同委員會は、將來小犯行や合衆國法律の違反に對する審理をもはや陪審員によらず、特別任命の合衆國委員會によつて遂行することを提案する。これは陪審裁判廢止に向ふ第一歩だ。『パウム委員會』は都市的及び農村的規模に於て特別に任命された裁判官の掌中への權力の集中、及び四回重犯した犯罪者に對する終身懲役を規定した。『アメリカ労働總同盟』及び『社會主義黨』はこのファシズム化の最前列に立つてゐる。最近の選挙戰で、社會主義黨のニウヨーク市長候補者ノーマン・トーマスは一つのプログラムを代表し、彼はそのなかで『政治的拘束を受けない警察制度』による警察の活動力の強化を要求した。現在行はれてゐるイリノイスの坑夫ストライキの間に、坑夫組合の組合員は警察官として戰闘的坑夫を逮捕したり威嚇したりしてゐる。

アメリカ労働者階級は新たなブルジョアジの攻撃に對していかに反應してゐるか？

『繁榮』の時期に於てアメリカ労働者階級は戰闘精神を高めた。企業家、國家及び社會ファシストの統一戦線の面前で、労働者はこれらの敵の攻勢に對し鋭く頑強な反抗を對立させた。ガストニア及び

株式市場に於ける大動亂（歴史上で最も大きな恐慌だ）は、その凄惨を極めた二日には、取引所市場時間一時間毎に二十億弗づゝの証券價值を淘汰してしまつた。そして大動亂のどん底では、控え目に見積つても五百億弗以上に達する總損害額となつたのだ。

進展しつゝあるこの一般的經濟恐慌は、諸銀行の情勢を少からず苦しいものにした。勿論大會社や大銀行はどん詰りになつて初めて苦しくなる。従つて従前通りに清算の負擔をできるだけ多くヨリ小い諸企業に轉嫁するだらう。だが不景氣はもう全國の經營及び金融を襲ふ點まで到達したのだ。

フーヴァー大統領は全く長い間黙つて傍觀してゐたが、その後彼は、株式市場がそのどん底に行きつくや、商業會議を召集して商業擴張のプログラムをひろげ始めた。大資本の代表者や改良主義勞働組合の官僚共はその席上でいろ／＼な約束をした。これらの約束は無論たゞ改良主義勞働組合の官僚共だけが守るのだ。なぜならば、彼らにこそ資本のために何でもお望み次第の御奉公を諾々として勤める用意があるからだ。

勞働者の解雇もしなければ賃銀の切り下げもやらないといふ企業家の約束が嘘なのは、失業が短時間勞働や賃銀減額と共に著しく増大するといふ事實によつて明かだ。

政府のファシスト化は急速に前進してゐる。そして恐慌はこれをぐんと促進させた。今後なほ起るべきことは、フーヴァーのやる全國經濟會議の組織から生れてくるのだ。この全國經濟會議の目的はこの國の商業を奨励し、また殊に、すでに進行しつゝある勞働者との鬭争を強固にし、合衆國の商品

で外國市場を氾濫させてやらうとする努力を支持し、且つこの激化した商業鬭争によつて益々近づいてくる戰爭の準備をしやうといふ點にあるのだ。

またもや株式市場の恐慌が近づいてゐることは、諸大會社の行動のうちすでに現はれてゐる。これらの會社はその株式を小分して、零細な欲張りどもを釣り込んでそれを買はせやうとしてゐるのだ。

一般電氣はその株數を七百四十萬から二千九百六十萬に増加した。大屠獸商會スウィフト商會、^{ヂエネラル・エレクトリック}ウエスティングハウス電氣商會、オティス・エレヴェーター商會、アリス・アンド・チャールマース商會（電機類）、ヂエネラル・瓦斯及び電氣商會、ユナイテッド・ステーツ鋼鐵等々も、同じやうに率先してやつてゐる。最近の大動亂の基礎となつた幻想、即ち證券の枚數を増加すれば會社資産の價值が増加するのだといふ幻想に惑はされて、多數の素人筋はこれらの證券を買入れるだらう。そしてこのこともまた來るべき恐慌に力を添へるだらう。

二 大衆失業の進行（リッチマン、一九三〇年一月十日）

合衆國の勞働大衆にとつては、最近數年間幸福などいふものはてんであるどころか、反つて安い賃銀、酷使勞働、失業と短時間勞働、勞働の不安固、四十歳を越すともはや勞働を得る見込み全くなし、といふやうなものがあつたゞだけだ。最近數ヶ月間の發展は、この「一九三〇年初めの」冬には失業者數が數百萬人に達するだらうといふことを暗示してゐる。上院議員クレーゼン Council の報告によつても既に三百萬人以上の失業者がある。しかも失業の大膨脹は、まだ／＼その絶頂には達してゐな

いのだ。

「一九二九年」十一月には失業は三・一％増加し、賃銀額は六・八％減少した。この百分率は工場、坑山、公共事業及び商業に於ける五百萬以上の労働者に關するもののだが、この百分率は多分實數よりもすつと低いだらう。なぜならば、この數字を報告する政府官廳即ち合衆國労働省及び労働統計局はこれらの數字をごまかしたり引下げたりするので有名だからだ。

最近三ヶ月間に工場工業の就業度指數は、一九二六年の平均を一〇〇に等しいとして、九月の九九・三から先づ十月には一〇二・三に上り、間もなく十一月には九五・一に下つた。この報告は、就業者數の減退がこれらの工業だけでも十一月には十八萬六千人を下らなかつたことを認めてゐる。だが實數がこれよりもすつと多いことは確かだ。

就業度總指數は九八・三から十月には九四・八に下つた。賃銀額總指數は同期間に一〇二・三から九五・一に下つた。殊に自動車工業に於ける就業度指數は、同期間に一〇三・七から八五・七に下つた。この工業に於ける賃銀額指數は一〇五・一から八二・七に下つた。銑鐵Ⅱ及び鋼鐵工業に於ては、就業度指數は九九・五から九六・六に、賃銀額指數は一〇四・四から九七・二に下つた。織維Ⅱ及び被服工業では就業度指數の低下は二・四、賃銀額指數の低下は七・四に達した、等々。

官廳統計に包括されてゐる六十の工業部門及び職業部門のうちで、六つを除いてはすべて就業度指數の減退を示した。なほこれら六つのなかでも四つは賃銀額指數の減退を示した。

十一月末にフォードは、彼の工場に於ける十三萬七千の労働者のうち約半數を解雇した。その際、工場で就業を繼續した者の多くは、短時間労働と賃銀の切下げ、酷使労働と下級労働への引下げとを喰つた。フォードの三十の工場は、完全に或は部分的に閉鎖された。その口實は新型の準備のためだといふのだ。だが實際は、フォードの取引商が多くは在荷を過剰に手持ちしてゐたからだ。

一九二一年以來約二百三十萬の労働者が工業及び農業で失業した。そして彼等のうちで他の工業部門に收容されたのは極く少數の者だけだつた。このことは設備の合理化、恐ろしいテムポに間に合はない老年や古參の労働者の解雇、その他の多くの原因に歸すべきものである。

アメリカ合衆國共産黨は、その綱領のなかで、一日七時間一週五日の労働、労働者保險、失業保險その他の社會保險の管理の下に於ける國家の失業者扶助、家賃滞納による立退命令に反對する闘争、等々を要求してゐる。黨は酷使労働の廢止、私設職業紹介の廢止、浮浪者法の廢止及び幼年労働の廢止のために闘争しつゝある。

三 『合衆國の恐慌は資本主義史上最も激烈な恐慌となるだらう』（一九三〇年一月十三日）
合衆國共産黨政治部は、この國の現在の恐慌について一つの決議を採用し、そのなかには次のやうに聲明されてゐる。即ち吾々は戦後發展の第三期の一つの循環的經濟恐慌に當面し、そしてこの經濟恐慌は、資本主義史上最も激烈な恐慌となり、且つ全資本主義世界を引きづり込むだらうと。
取引所大動亂は、經濟恐慌の最初の外面的な徴候ではあるが、やはり生産逆轉の一つの不可避的な

現在の恐慌の特徴は、すべての基本工業が一つの例外もなく廣範圍に亘つて生産を縮小したことだ。鋼鐵生産はその生産能力の五〇％に減退した。しかも多數の工場は完全に閉鎖された。製鋼工場の經營指導部は、新年の豫測に際して、一九三〇年には合衆國の鋼鐵生産は少くも一四％は引下げられるだらうといふことを認めた。自動車工場主たちは、フーヴァーのおつ始めた『樂觀主義』の闘争を促進するために、生産は僅か百萬臺だけ即ち通常生産の二〇％だけ縮小されるだけだらうと言ひ觸らした。

失業は、既に五百萬以上の労働者を包括ししかも急速に増加しつゝある。企業家たちは廣汎な賃銀切下げ闘争を遂行してゐる。そして彼等は、合衆國の改良主義労働組合同盟たるアメリカ労働總同盟から至れり盡せりの支持を受けてゐる。

〔合衆國の〕半ファシスト會議〔ヴァルガ『世界經濟年報』第一部参照〕は、合衆國の指導的搾取者四百人を包括し、そのうち二十人がこの會議の尖端に立つてをり、この二十人のなかにはヤング Owen D. Young、ロバート・ラモント Robert Lamont、デニリアス・ローゼンワルド Julius Rosenwald、その他のお歴々が入つてゐる。フーヴァーはこの半ファシスト會議を通じて、すべてのブルジョア新聞に將來の經濟的繁榮についての樂觀的聲明を満載させてゐるけれども、他方ブルジョアジーの一流の經濟新聞や經濟雜誌はこの激烈な逆轉を思はしくないものと見てゐる。

『ニウヨークタイムズ』は恐慌の範圍についての二三の數字を掲げてゐる。これらの數字からは色々

の結論が出て來るが、先づ二三の結論を述べると、建築業は一九二七年同期の生産よりも約二七％事業を減じた。鐵道の正味収益は一九二八年の収益よりも二四％低い。電流の使用は鑛山業及び熔鑛爐生産の衰退の結果減退した、等々。

合衆國改良主義労働組合の委員長グリーン、William F. Green は聲明を發したが、それは、あらゆるブルジョア新聞によつて公表された。この聲明はフーヴァーのおつ始めた宣傳と完全に一致してゐるのだ。

大衆の手に入る諸新聞が、唾棄すべき樂觀主義的宣傳を續けてゐるのに、他方資本家の一流機關紙は合衆國帝國主義の將來について神經過敏にびくついて不安でたまらないといふ態だ。

資本家共は自分の自由になる装置を總動員して、労働者の生計に向つての猛烈な攻撃と世界市場の分け前へを擴大するための戦闘との準備をしてゐる。殊に自動車工場主たちは、國內市場が過度に飽和してゐるので、世界市場の共同攻撃のためにその分散した力を集中しつゝある。

恐慌の結果はまだ〔一月二十四日〕はつきりしない。だが恐慌は今日既に國內の階級闘争を著しく激化し、労働者の頑強な闘争を豫想させてゐる。この恐慌が國際的對立の尖鋭化を著しく促進させることも同様に明かなことだ。

五 自動車工業に於ける恐慌（ガンネス、一九三〇年二月四日）

合衆國資本主義の主要な支柱の一つは自動車工業である。アメリカ合衆國帝國主義の生産装置のこ

の部分に於けるひどい不景氣は、非常に大きな影響を及ぼしたに違ひない。現在〔二月四日〕では、吾々は單に明白な自動車工業の逆轉ばかりではなくて、合衆國に於ける資本主義經濟の總機構の危機を眼前に見てゐるのだ。

自動車工業がアメリカ合衆國帝國主義の經濟生活にいかん深く根を張つてゐるかは、次の事實で明かだ。即ち鋼鐵生産の二〇%、ゴム生産の八五%、板硝子生産の七五%、鞣革生産の六二%、硬質木材生産の二〇%、軟質木材生産の一三%、鉛生産の二七%等々が自動車工業で消費されるのだ。

アメリカ合衆國自動車工業生産の一九三〇年の見込みはどうだらうか？ 五百六十萬臺に達した一九二九年度の生産を繼續することは絶対に不可能だ。全國自動車工業會議所長アルフレッド・リトヴィス Alfred Reves は、もしも三百萬臺を國內で賣捌き百萬臺を輸出することができるとすれば、それだけでもすでに非常に有利なことだらうと言つてゐる。

このことは、自動車工業に於ける四百萬の労働者にとつては、少くとも彼等のうちの二〇%は失業者になるだらうといふことを意味する。これは従來の酷使テムボがこれ以上高められないと前提してのことだ。ヨーロッパ、ラテン・アメリカ及びアジア市場の争奪闘争を強化するために、賃銀を切下げなければならぬといふ點では、すべての自動車工業企業家の考へが一致してゐるといふことは分りきつたことだ。

國內市場はあらゆる種類の自動車で過剰に飽和してゐる。古自動車市場を氾濫させてゐる。自動車の賦拂販賣は苦境に陥つてゐる。百萬の小ブルジョアに損害を與へたニウヨーク取引所の大動亂は市場を更らに狭くした。

だから自動車工場主たちが外國市場に突撃しやうと思ふのは決して偶然ではない。百萬臺の輸出といへば従來の輸出を二倍にすることを意味するのだ。外國の自動車工場主たちは防禦の戰闘準備をしてゐる。

フランスの自動車工場主たちは「防禦委員會」を組織した。その上に彼等はフランスの資本家政府から申分のない支持を受けてゐるのだ。フランス政府は、合衆國の自動車に對しては九〇%、自動車部分品に對しては一〇〇%餘りの關稅引上案を提出した。

ヨーロッパの大抵の國の自動車工場主は、アメリカ合衆國の自動車工場主の突撃に對抗する闘争でフランスの工場主に味方してゐる。

合衆國に於ける自動車工業の労働者たちにはどんな見込みが展開されるか？ 企業家たちは、一九三〇年には自動車工業だけで少くとも八十萬人は失業者ができるだらうといふことを認めてゐる。輸出を促進するためには、價格の切下げが必要になるだらう。そしてこの價格切下げは何よりも先づ賃銀の切下げによつて可能になる筈だ。その上に酷使労働はもつとひどくなるだらう。

フォードの所在地デトロイトでは、労働者は救濟闘争を指導する諸失業評議會を組織することによつて、大衆失業に應へてゐる。賃銀切下げに對しては、未組織労働者を自動車労働聯合内の労働組合

統一同盟の指導の下に組織することによつて對抗してゐる。

六 生産に於ける恐慌（リッチマン、一九三〇年二月十四日）

合衆國帝國主義は、生産力の増大と市場の縮小との不釣合から來てゐる經濟恐慌から脱出しやうともがいてゐる。合衆國帝國主義は、一九三〇年初めに、解決すべからざる矛盾のなかに深く足をつゝこんでゐる。合衆國帝國主義は、賃銀切下げにより、失業と短時間労働との増加により、生産の二層の合理化によつて、一方では國內の購買力を減じ、労働者——生活維持に加はる猛烈な攻撃によつて組織化へと驅り立てられてゐる労働者——の急進化を加速化してゐる。他方に於て、合衆國帝國主義は、輸出向生産を安くすればするだけ國際市場爭奪闘争を尖鋭化し戰爭の危険を増大させてゐるのだ。

情勢は「アナリスト」一九三〇年一月十七日に出てゐる指數がよく示してゐる。この指數は次の發展を示してゐる。八月一〇六・八、九月一〇五・八、十月一〇三・五、十一月九四・二、十二月八九・五。殊に鐵道貨物積載では八月の一〇一・八から十二月の九二・三といふ反落があり、棉花消費は一〇〇・四から八五・八に、鑄鐵では一二六・三から九一・七に、鋼塊では一二〇・二から七八・四へ、電力消費では一〇四・七から九四・七へ、自動車では一三六・八から五一・五へ、等々。

十一月及び十二月の「アナリスト」一般指數は、一九二一年以來の同月の最低であり、一九二四年八月以來のいかなる月をとつても最低である。自動車工業はこの指數の作成（一九一九年）以來の最低點に達し、鋼鐵及び亜鉛の生産も電力及び棉花の消費も、一九二一年恐慌以來の最低であつた。十一月は、「アナリスト」一九二九年十二月二十日が確認したやうに、過去四十六年間のいかなる月をとつて見ても最低點を示してゐる（一八九三年及び一九〇七年の恐慌は例外）。

以下合衆國の種々の生産部門に於ける恐慌についての資料を掲げる。

鋼鐵工業。鋼鐵工業は一九二九年にその生産の最高點に達した。實に五四、一六五、一〇〇鋼塊。けれどもこのレコードは、一九二九年の最初の五ヶ月の生産から來てゐるもので、この五ヶ月の生産は生産能力の九九・五%といふ五月の最高點に達し、それから反落が起つて、生産は十二月に生産能力の五五%となつてしまつた。十一月だけでも減退は一九%に上り、十二月もほぼこれに同じである。鋼鐵工業の生産能力は今では六千五百萬噸に上り、一九三〇年度には五十の新熔鑛爐が建設され、これらは生産能力を五百萬噸以上増加することになつてゐる。だが一九三〇年度の生産は、樂觀的推算に従つてさへも、僅かに約四千五百萬噸、つまり生産能力の六五%に上り、一九二九年よりも約一五%少いだらう。十二月の最後の週と一月第一週とは生産は生産能力の三八・五%であり、一月第二週には前年同週が八二・五%であつたのに六五%であつた。

建築業。建築業は、經濟情勢の最も重要な測度器の一つであり多種多様の材料の主な消費者である。一九二九年には他の大多數の經濟部門がレコード能率をあげてゐるにも拘はらず、建築契約の價値は一九二八年に比して一三%低下し、殊に住宅建築は三一%、低下した。十一月には建築計畫の價値は一二%、十二月には二六%も低下し、ために一九二八年十二月に比して四三%低下したことになり、

五ヶ年半以來の最低點に降つた。商業Ⅱ及び住宅建築は七年以來の最低點にさへ降つた。公共建築は五年以來の最低點に下つた。たゞ工業建築だけは、八月以來絶えず下降して十一月に最低點に達したが、十二月には一時的増加を示してゐる。

金屬工業と機械製作。金屬工業と機械製作とは、一九二九年五月に減退が始まり、この減退は十一月には特につきりと現はれた。十一月にはその生産は十月の生産から一三・三%低下したのだつた。これらの工業部門は年來新施設の大過剰生産に悩み抜いてゐた。一九二五年にはその設備の殆んど半ばは十年以上の古いものであつた。機械は五年後には通常古くなつたものと看做されてゐるにも拘はらずさういふ有様だつた。今や近代化や合理化が遂行されるので生産能力は更らに一層高まるだらう。

造船業。造船業は一般に現在の恐慌の暗黒のなかに僅かしかない光明點の一つだと見られてゐる。なぜならば造船業は多額の政府資金補助により私人企業が行ふ軍艦建造によつて助成されるからである。けれども十一月には後退があり、十一月一日には總噸數三三八三、〇〇〇噸の二二六艘の船舶が建造中または契約中であつたに過ぎない。それが前月は總噸數四〇一、〇〇〇噸の二四三艘だつた。造船所はその生産能力の三分ノ二以下で操業してゐる。

纖維工業。木綿工業は十二月には四五三、八九二梱を消費した。これは一九二八年七月以來の最低點であつて、一九二九年十一月に比しては一六・五%の減退であり、一九二九年十月に比しては二九%

一九二九年一月に比しては三四%の減退である。年末の綿織物の販賣と生産との關係は二年以來の最低であり、積出の關係は四年以來の最低であつた。綿織物の生産は十二月には二億四千四百萬ヤードで、前月よりも三〇%少なかつた。羊毛工業は十二月にはその生産能力の僅か五〇%で操業した。

電流生産。電流生産は一九二九年には殆んど一十億キロワット時間に上り、一九二八年よりも一%多かつた。だが十一月にはそれは十月に比べて五%以上低下した。一九二九年四月には電力生産は一九二八年四月の生産を一五%凌駕したのだが、一九二九年十一月には一九二八年十一月の生産を僅か六%凌駕しただけだつた。十二月の暫定數を見ると、工業の電力消費は一九二九年十一月よりも七乃至八%低く、一九二八年十二月よりも一%低かつた。

農業。農業の慢性恐慌は續いてゐる。貧窮した數百萬の借地農は離村を餘儀なくされてをり、更らにその上に數百萬は借金を負ふて借地契約の鎖で農村に縛りつけられてゐる。借地農の正味所得は、農務長官ハイド Hurd 自身が認めなければならなかつたやうに、現金所得（新聞の報道によると前年には七千九百萬弗増加したといふことだ）と同じには増加してゐない。なぜならば生産費、租税、借金の利子が激騰したからである。消費のために残る所得は、自家用農場生産物の價值を算入して、千六百萬弗といふ大した額だけ増加した。つまり一人當り半弗になるかならぬかだ。

すべてこれらの數字は、一九二九年六月三十日をもつて終る農業年度の數字であり、従つて七月一日以後の農業生産物價格の反落——これは他の價格に於けるよりもひどかつた——を計算に入れてゐる

ない。従つて『アナリスト』は農業からの所得の減退を一九三〇年には五%と推算してゐる。一九三〇年初め農業生産物の価格は（一九一三年を一〇〇として）一三七・二、即ち一年前よりも一〇%低い。しかも不動産債務は激増してゐるのである。

右以外合衆國の多くの生産部門にも、何よりも先づあれほど重要な自動車工業にも、恐慌は利き目を現はしてゐる。一九三〇年の見透しは陰慘である。

七 商業及び運輸（リッチマン、一九三〇年二月二十八日）

合衆國の生産恐慌は勿論合衆國の商業及び運輸にも現はれる。

鐵道の貨物運輸はかなり確かな恐慌測度器である。一九二九年は五千二百七十九萬貨車であつて、一九二八年に比べて二・三%の増加を示し、一九二六年のレコードから僅か〇・六落ちるだけだ。この年の最初の九ヶ月間には、毎月前年同月に比べて増加を示した。だが十月には減退が始まつて、各月とも一九二八年同月よりも低くなつてゐた。

九月の最後の一週間の貨車積載数は百二十萬二千だつた。十二月の最後の一週間（そのうち一日二日の休日あり）は六億三千八百四十四萬五千。一九三〇年一月四日に終る一週間には七十七萬六千二百五十九即ち九月の最後の一週間よりも三五・五%少なかつた。最大の減退を示したのは集合積荷だつた。この種の貨物は消費財を含んでゐるので商業の一般状態を判定するのに一番據り所になるものだ。『アナリスト』の卸賣指數は八種の商品から成る一類について、一九二三年から一九二五年までの平

均を一〇〇に等しいとして、八月から十一月までに一七ポイント、十一月中に一九ポイントの低下を示した。それがため十一月には九六ポイントといふ状態を確認しなければならぬことになつた。

物價は一九二九年には、六月と七月とに上昇した後、八月以來不斷に低落した。ブラッドストリート消費財物價指數は十二月では四%八分ノ五、一九二九年全體では九%八分ノ七の低下を示した。

賦拂商業は、總小賣商業の約二〇%から二五%を占めてゐるものだが、この賦拂商業も同様に苦境に陥つてゐる。賦拂購入による負債額は年末には二十億乃至三十億弗と推算されてゐる。そのうち半分は自動車に、残りは個人的消費用品、家計用品、等々である。

銀行のうちでは大銀行だけが良好な状態にある。合衆國の二萬五千行の銀行の總資産のうち五分ノ一は二十四行の手中にある！ 六百五十以上の銀行が一九二九年中に没落した。合計五萬行が最近九ヶ年間に没落したのだ。その多くは小銀行及び農業銀行だつた。

一九二九年中に一萬九千七百三の會社が破産した。これはなるほど一九二八年に比べると三・二%の減少である。けれどもそれは數字の上だけのことだ。なぜならば債務額は一九二九年には六億二千八百九十九萬弗に上り、前年よりも二・四%多かつたからだ。一九二九年の最後の三ヶ月には破産件數が恐慌増大のために勿論著しく増加した。破産事件の大多數は、銀行殊に農村に於ける銀行の倒産から來てゐた。倒産銀行の債務は一九二九年には一〇%増加した。十二月に支拂停止件數は一九二八年十二月よりも九%多く、且つ債務は一九二八年十二月よりも六〇%多かつた。一九二九年に於ける

倒産商業會社の債務は七年以來の最高額だつた。一九三〇年の最初の一週間の支拂停止件數は前週に比べて四六%増加した。

六

合衆國の外國貿易は一九二九年には九十六億弗に達した。輸出は一九二八年よりも二三%多かつた。輸入は一〇%多かつた。だが貿易差額上の受取超過は十億七千三百萬弗から七億四千六百萬弗に減退した。完成品の輸出は一八%増加した。あらゆる輸出商品の四分の三は今や完成品、半製品、及び加工・半加工食料品である。だが十月には輸出入の減退が始まつた。即ちこの年の最後の二ヶ月には輸出は一七%、輸入は二〇%減退した。六月初旬には輸出は一九二八年同旬の輸出を二八%凌駕してゐた。十二月初旬には僅かに三・五%凌駕したに過ぎない。

合衆國が、國內に於ける恐慌を一部分埋め合せるためにどの程度まで輸出を高め得るだらうかは、興味ある問題だ。來年「一九三〇年」中には合衆國の輸出は、外國で合衆國資本家が所有してゐる分工場や合衆國資本家の支配してゐる外國企業の競争の増大と闘はなければならぬだらう。またヨーロッパの競争の増大とも闘はなければならぬだらう。世界經濟恐慌、殊に合衆國總輸出の五分の一の仕向け先きであるラテン・アメリカに於ける恐慌は、この輸出の著しい減退を豫想させる。(現在合衆國は、ラテン・アメリカに向けてイギリス、フランス及びドイツを合せたものよりも多くを販賣してゐる。)

外國投資に關しては、一九二九年には外國貸付は前諸年の二十億弗に比べて僅か五億五千萬弗にしか上らなかつた。一九二九年の最後の月にはたつた五千萬弗だつたに過ぎない。これは手に入れ得る資本が殆んどすべて株式市場の氣違ひ投機のために吸收されたからだ。これに反して、總外國投資は十六億七千七百萬弗と推算された。合衆國の外國資本投下は、戦前には主として未發展諸國の原始生産(鑛業、材木業、等々)に向けられたのだが、現在では發展諸國の工場への資本投下が重きをなしてゐる。

合衆國は現在重大な恐慌のまつたどなかにある。この恐慌はまだその經過の終點には到達してゐない。それは恐らくもつと激烈になるだらうし、いづれにしても國際的反應を持たずには止まないだらう。殊に捨賣値段で商品販路の争奪を行ひ、且つ輸出商品で外國市場を氾濫させるのだから、さうあらざるを得ない。これは勿論戦争の危險が本質的に増大することを意味し、反サヴェイト同盟戦争の危險の増大をも意味するものだ。

八 アメリカに於ける經濟恐慌の諸作用(ベダクト、一九三〇年三月十一日)

アメリカの自由主義的經濟學者連や資本主義の社會民主主義的從僕共は、アメリカ資本の『繁榮』を全資本主義經濟體制の合理化の結果だと説明しやうとして、最近數年間熱心に努力した。彼等は、アメリカ資本家の商賣繁昌を、労働者はどこまでも資本主義を有難がり且つ防衛せねばならぬといふ政治的論據に變化しやうと企てた。このアメリカ資本主義の商賣繁昌はまた、アメリカの『例外的地位』といふ理論が國際的に信じられた原因だつた。世界の資本主義を元氣づけるには、たゞアメリカ

資本主義の例外的方法を世界の資本主義の上に移しさへすればいいのだといふ結論が引き出された。アメリカ化は資本主義の世界特許薬となつた。ドイツの社會民主々義者共は、アメリカ化が社會主義への道だとまで言つたものだ。

十一月にはこの牧歌のなかに取引所大動亂の電光がひらめいた。ウォール街も、フーヴァーからラヴストーンに至る連中も、この爆發は少くも經濟生活に關係するところがないし、『財界は平常通り』だとごまかしてしまつた。フーヴァーは、株式取引所に於ける株價の破局的崩落が繁榮を少しも害しはしないだらうと聲明した。ラヴストーンは、ウォール街の株式取引所狀況と産業狀況との間には少しも連絡がないと公言した。

だが第一の爆發に引き續いて、一聯の他の一層猛烈な破産が起つた(フォシエ等々)。工場が閉鎖された。三乃至四百萬人の恒常的失業者軍が恰も一夜のうちに數百萬人増加した。鋼鐵生産は一ヶ月の間にその生産能力の四〇%まで低下した。自動車生産は停止した。建築業は突然後退した。

フーヴァー、自分では取引所と産業との間の關聯を自ら餘りにもよく知り過ぎてゐるフーヴァーは全國經濟會議を召集した。この會議で労働者は、賃銀闘争をやらないといふ義務をアメリカ労働總同盟を通じて背負ひ込むことになつた。企業家の方では新工事、擴張工事等々をやるといふ義務を負はなければならぬ筈だつた。

アメリカ労働總同盟はその義務を負つた。會長ウイリアム・グリートンは、恐慌の間は労働闘争を起さぬやうにすると公然宣言した。グリーンンの宣言は、『労働者が恐慌に續く賃銀値下げに反抗致し候節は何時たりともストライキ破り仕るべく候』といふ恭々しい誓約なのだ。勿論アメリカ労働總同盟はその誓約を守るだらう。いや誓約なんかする前からそれを守つてゐるではないか。

だが非常救濟事業と産業擴張の方はどうか? 『ウォール街新聞』は、こんな約束は履行されはしないと極くざつくばらんに言つた。同紙は言ふ。現在の疾患は不必要な事業膨脹から發してゐるので、この上事業を膨脹させたところでこの疾患が治るものではないと。

勿論一月には自動車生産に好轉が起り、従つて鋼鐵生産にも好轉があつた。だが第一に、その間に恐慌は完成品工業の上に伸びて行つてゐるし、第二に、所謂自動車及び鋼鐵の活況は専ら貯藏品の活況だ。ニウヨークのナショナル・シティ銀行の報告は言ふ、『今のところ消費市場は實際上死んだやうなものだ。活況は將來の需要を當てにしてゐる印しに過ぎない』と。この將來の需要は起るだらうか? この問題の結論はすでに引き出されてゐる。『否』といふ答へだ。

取引所大動亂は、既にこの大動亂以前に成熟してゐた一聯の恐慌諸要素の表現だ。だがしかし取引所大動亂は、それ自身恐慌を尖鋭化し深刻化する重要な一要素となつた。殊に大衆の直接的購買力の賦拂購入による人爲的釣上げは、その飽和點に近づいてゐた。その時取引所大動亂が起つたのだ。この取引所大動亂は小市民層を襲つたばかりではない。労働者の生活から小市民の天國入口まで、また罪の汚れない人間ならば大資本の天國まで引き上げてくれるといふ槓杆の力を、株の思惑から見つ

け出さうなど、夢みてゐた労働貴族をも亦た襲つたのだ。大動亂はこの夢を揺り醒ました。だがまた同時に廣汎な賦拂支拂市場を、殊に半奢侈生産品例へば安自動車、ラデオ、中等家具等々に於ける賦拂支拂市場を破壊した。

賦拂購入は將來の収入に對する抵當權だ。恐慌は大衆を仕事から投げ出し直接の市場を破壊するばかりでなく、以前の義務の履行をも亦た不可能にする。かうして恐慌をなほ一層尖鋭化する一つのメントができるのだ。

恐慌はアメリカ資本主義の威信を傷けずにはおかなかつた。そしてアメリカ資本主義の痛いところを突いたばかりでなく、アメリカ資本主義がすでに傷ついてゐることを證明した。恐慌がこの傷をアメリカ資本主義に持つて來たのではない。傷はもつと深いところにある。傷は世界資本主義とアメリカ資本主義との統一體のなかにある。アメリカ資本主義の資本力が當分の間世界資本主義のなかへ新生命を引き入れ得たとしても、しかしまた兩者の統一體によつて世界資本主義の有機的疾患はアメリカ資本主義の肉體を蝕ばまざるを得ないだらう。従つて恐慌はアメリカ資本の疾患の本質ではなく、たゞ一方にこの疾患を示すと共に他方にこれを尖鋭化するといふだけだ。疾患の本質は世界資本の恐慌であり、アメリカ資本は世界資本の恐慌を感じない譯には行かないのだ。昨日のアメリカ資本の『繁榮』はこの世界恐慌のアメリカ製表現なのだ。この『繁榮』は世界資本の市場恐慌を強めた。それは世界資本主義の政治的對立を深刻化した。

だが恐慌は國內に於ける階級對立の直接的尖鋭化を招く。恐慌は搾取の未曾有の尖鋭化を誘發する。フォードだけでも僅か二三ヶ月間に、その工場の労働者の生産性を三分ノ一高めた。合理化の領域に於ける最近の『業績』は労働者の腕の運動を記録する腕捲時計だ。この時計が使はれるところは、労働者はもはや彼が生産過程で過ごす時間に従つて賃銀を支拂はれるのではなく、時計に記録される運動に従つて支拂はれるのだ。このやうな技術上の『業績』がアメリカに對しても亦た、資本主義の世界恐慌の最重要要素即ち戰鬥的労働者階級を作り出すことは明かである。

つまり恐慌はアメリカの例外的地位に止めを刺した。アメリカ化は少しも治癒力のないことを證明するばかりでなく、資本主義に對する新たな毒素であることを示した。恐慌のなかにある世界資本主義の内部でアメリカ資本主義が好景氣を作り出してゐる丁度その間に、資本主義の國內對立はアメリカのなかで最も強められた形態で發展しなければならなかつたのだ。社會民主主義者、ラヴストーン及びその他の資本主義の讚美者共は、商賣繁昌の方だけを見ることを頑固に主張し、アメリカ資本主義の内部にも作用してゐた敵對的勢力の前に労働者の眼を閉ぢさせやうと企てたのだ。恐慌はアメリカ及び世界の労働者の眼を開かざるを得ない。

アメリカ自體に於ては、最近數ヶ月間にプロレタリアートの生長が示されてゐる。あらゆるストライキに於て、労働者は資本主義的權力に對し武器をとつて防衛する。あらゆる産業に於て、労働者は賃銀値下げや労働テムポの最惡の加速化の方法に對して反抗し始めてゐる（炭坑ストライキ、自動車

工場のストライキ等々)。これまで資本家に忠實だったアメリカ労働者は街頭になだれ出た(八月一日
ニウヨークのカトーヴィのデモ、三月六日)。プロレタリア的×××闘争の第一前提条件が合衆国で作
り出されるだらう。即ち労働者階級はイデオロギー的に資本家階級と分離し、資本主義に對する獨立
的勢力として社會戰場へ立ち現はれるだらう。

第三部 東ニ及び中央ヨーロッパ

第一 ドイツ

經濟恐慌(ベールデー、一九三〇年一月二十九日)。

一 ドイツ資本主義の危機

一九二九年はドイツ資本主義にとって何を意味したか? 社會ファシスト連や共産主義背教者連の
言ふやうな〔景氣〕上昇や健實化や健全化の年ででもあつたのか? そして諸共産黨の内部には相變
らず右翼分子があつて、彼等は、第六回世界大會に於ける同志ブハーリンのテーゼの最初の構想に従
つて、資本主義の發展は『ヨリ新らしいヨリ高度の基礎の上に於ける』建設、『前進發展と改造』、一般
的危機の弱化、致命的な諸矛盾と諸對立との克服などの旗印しの下に進み行くものだと見てゐる。

だがブランドラー派背教者のやうに『正統マルクス主義者』とさへ自稱する人々、また次のやうな
諸事實——信用恐慌、パリ賠償會議中の資本逃亡、五月闘争、議會的民主主義の外觀の清算(これは
シャハト獨裁や伯林初め多くの都市の議會自治の撤廢に際して現はれた)、年末失業者三百萬、國粹社
會主義者の進軍、階級闘争の絶大な尖鋭化——の前をどこに風が吹くかと平然と通り過ぎ、かゝる諸
現象の根がどこにあるかも問はないやうな人々に向つては、何と言つていゝのか? ブランドラー派

背教者とコミンタイン内の右翼とは、これらの現象の多くを、急速に進行しつつある資本主義分解の結果と見ないで、社会民主党及び共産黨の「悪い政治」の果實だと見てゐるのだ。ブランドラー一派は社会民主党に向つて、聯合内閣から脱退しそれによつて労働者の「統一戦線」を可能にしようとする。この闘争戦線によつて労働者階級の状態を繁榮資本主義にふさわしく改善しやうとする。

背教者と右翼とのお喋りは、社会ファシストのお喋りと同様現實とはかけ離れてゐる。階級對立の絶大な尖鋭化、ファシズム化の過程、國粹ファシズムの成長、階級闘争の高度形態の成長、議會主義の事實的清算——これらすべての現象のなかには、ドイツ資本主義内に急速に進行しつつある内的分解、内的對立と矛盾との強暴な増進、ドイツ資本主義の危機の異常な深刻化が現はれてゐるのである。

二 ドイツ資本主義内部に於ける發展の不均等

一九二九年の景氣進行の特色は、殆んど絶え間なく國內市場が狭小化しつつ同時に輸出が激増したことである。總工業生産は一九二八年の生産を少しばかり越してゐるだけである。だが個々の工業部門の發展は全く不均等である。「新」生産部門（電気工業・化學工業）や重工業や機械工業の一部は一九二八年よりも著しく多くを生産してゐるのに、大部分の完成商品工業の生産數字は一九二八年以下だつた。

價格態様では發展の不均等はもつと激しく現はれてゐる。強固な獨占到結合してゐる工業は下向景氣にも拘はらず價格を引上げることができたのに（例へばコークス價格の九%の引上げ、鉄鐵價格の

五%の引上げ）、非獨占工業の商品の價格は一九二八年末から一九二九年末までに一四%低落した。

生産に於ける發展のこの不揃ひは新たな權力移動を導いた。産業資本のうち獨占到結合してゐる部分とこれと溶け合つてゐる大銀行とはそのヘゲモニーを著しく強化した。總餘剩價值額の分配の上には大きな移動が生じた。獨占資本はその利潤を著しく高めることができたのに、非獨占工業や小銀行や小商企業にあつては發展は不可抗の震撼を招來した。現實破産の數は、一九二七年の四、九一六、一九二八年の七、三五六から一九二九年の約一〇、〇〇〇に増加し、他方同時に數千の中小企業は大企業に合併されてやつと破綻を防いで身を守ることができた始末である。言ふまでもなく大企業が中小企業を驅逐するといふ法則は今でも全幅的に働いてゐるのではあるが、右の過程を單純に資本主義的發展が「正常」に進行する場合の集積過程と同一視してはならない。だがこの發展の嵐のやうなテムポはドイツ資本主義經濟内の基本的矛盾を正しく認識してのみ理解されるのである。その矛盾とは、生産力が發展して販路即ち市場の發展がそれと歩調を合せないといふことである。この矛盾の破局的作用は獨占資本によつて（一部分は價格の釣上げによつて）停止させられた。だがこの破局作用は、非獨占的資本をまた獨占的資本の内部に於てさへも中小企業に全幅の勢をもつて作用するのである。

三 外國資本への依頼

あらゆる資本主義讚美者たちは、輸出が増加し、貿易差額が僅かばかり出超となつたことを指摘して、一九二九年度のドイツ資本主義經濟の最大成功の一つだと言つてゐる。そのくせ、この事柄の意

義を非常に減殺する数々の要素があるのだが、これらの讚美者たちはその全部を黙殺してゐる。その項目だけを擧げておかう。

106

一、景氣逆轉の時や不景氣の時には輸出は増加し、輸入は減少するものだ。一九二四年以來のドイツ外國貿易發展の曲線は直接に景氣消長を物語つてゐる。

二、ドイツの重要仕向先の若干國——フランス、スカンディナヴィア——の經濟は一九二九年末まで高強だつた。合衆國ではなるほど下半期に入ると共に恐慌切迫の徴候が現はれた。「だが」生産部面に恐慌の影響が始まつたのはやつと昨年終りの數ヶ月になつてからだ。イギリスでは景氣の一時的上昇があつた。つまり一年の最大部分が外國販賣に都合な状態だつたのだ。終りの數ヶ月間も色々の理由があつて——それをこゝで詳論する必要はない——貿易差額にまだ逆轉は現はれないですんだ。

三、一九二九年の輸入數字が特に低いのは一九二八年にドイツに異常な豐作、何よりも先づパン用穀物の豐作があつた結果である。これによつて貿易差額の態様は數億「マルク」好轉した。

勿論これらの事實だけでは輸出増加、殊に工業生産物の輸出増加は完全に説明できない。ドイツ資本家がダンピング競争の廣汎な攻撃戦線を展開することができたのは、合理化と労働者階級の搾取強化によつて生産費を減じ、同時に國內市場で價格を支へ或は引上げてさへゐたからだ。ドイツ資本家は恐慌諸現象と解き得ざる諸矛盾一般とに對して奮闘して若干の効果をあげた。吾々はこのことを否定しやうとするものではない。讚美者たちはこれらの効果を見て、既に恐慌とあらゆる根本的諸矛盾

盾とは克服されたものであり、資本主義の成長力が現はれてゐるのだと考へてゐる。だが吾々の知る通り、この効果はとりも直さず新しい諸矛盾を内部に於ても外部へ向つても發展させ、今度は新矛盾の方が根本的矛盾に反作用してこれを深刻にし、一般的危機を尖鋭化するものだ。このことはあとでドイツ資本主義經濟の發展の見透しを考へるときにまた問題にしやう。外國貿易差額が比較的有利であるにも拘はらず、支拂差額の支拂超過は少なくとも二十億になり、種々雑多な形の資本輸入は約三十億（『フランクフルト新聞』による）に上つてゐる。本年度一九二九年は支拂差額の異常に有利な年なのだが、それでさへ資本主義ドイツは支拂差額決済のため、また資本輸出のために三十億に上る外國資本を招致しなければならなかつたのだ！そしてこの『有利』な年はとりも直さず、ドイツ資本主義經濟が全く外國に依頼し、經濟的獨立性を持たず、外國に於ける經濟恐慌の諸現象から猛烈な反作用を受けてゐることを示してゐるのだ。

一九二九年にはこの依頼性が完全に現はれた項點が三つある。第一はパリ賠償會議中のことだつた。この會議の決裂の可能性が見えた結果、ドイツ金融市場にはパニックが起つた。資本輸入は停止し、短期投資は回收され、資本流出が始まつた。一三週間のうちにライヒス・バンクの金及び外國手形保有高は十億マルク以上減少した。本位制度恐慌の徴候は悉く存在してゐた。激しい信用制限——その打撃を受けたのは誰よりも先づ小資本家だつた——、利率の昂騰、それと關聯して景氣の軟弱化。新しい『祖國救濟者』シャハトを首席とするドイツ委員が降伏して、やつと事情は緩和し轉換した。

第二の項點はアメリカ經濟の事情と關聯してゐる。恐慌の前徴たるアメリカ金融市場の引締りの影響で、アメリカ資本の流入は停頓し、ヨーロッパ信用資金はニューヨークへ向けて流出するやうになつた。ヤング案採用の結果、新しい弗の雨を力にして「景氣一轉」を畫したのも、水の泡となつた。金融市場は緩和しないでまた新たに引締つた。ドイツ金融資本が勞働大衆を犠牲にして隣寸獨占をクロイガー・コンツルン Kreuger-Konzern に讓渡するといふ氣の毒千萬な取引を承諾したのはこの事情に餘儀なくされたのだ。

第三の、最も劇的な項點は十二月に現はれた。モルガン銀行の委任を受けてシャハトはその諸條件を聯邦政府とドイツ議會とに指令した。これらの諸條件はドイツ工業全國聯合會の條件だと間違つて解されてゐる。なぜならば第一部即ち未曾有の大衆負擔を新しく課するといふ部分だけがドイツ金融資本の綱領と一致するからである。トラスト・プルデオアジの綱領第二部、即ち金融資本の利益のために借金經濟を續けるといふ部分は、こゝ暫くは見合せといふことになつて引込めてある。この悲喜劇の次の幕はベルリンその他數多のドイツ都市に財政獨裁を敷き、建築を中止し、失業激増に伴つて獨立的議會主義の外見さへも清算してしまひ、交通・電氣・ガス・水道の料金や家賃を引上げ、社會施設的扶助を緊縮して最も苛酷な大衆收奪をやるといふ場合であり、また大團圓には失業者とそれに味方する工場勞働者と共に鉛製の大豆〔彈丸〕を食はせ、國防法を作り、×××に機關銃をお見舞したのだ。〔外國資本に〕依頼してゐることは他の方面を見ても分る。電氣工業は一般的危機の損害を蒙ること

との最も輕かつた工業である。他の生産部門のやうに戦後の發展によつて泥沼に陥ることはなく、大擴張をやつた。この意味に於て「新」工業と言はれてゐる。このやうに擴張できたのは電化が非常に普及し、新工業部門（ラヂオ・映畫・新電氣機械・器具・家具）が加はつたためである。それにも拘はらずアー・エー・ゲー〔一般電氣會社〕はデエネラル・エレクトリックに降伏した。これは愛國心がないとか何とかいふのではなくて、經濟上止むを得ないのだ。電氣工業のやうに好況であつてさへもドイツの現状の——また益々進行して行く——恐慌状態のなかでは八%以下の信用は借り入れることができないのだ。

他の新工業の最重要部分をなす人絹工業は曾ては讚美者たちの歡呼の的だつたが、今はしんみやうにオランダの管理の下におとなしくしてゐる。自動車工業は殆んど全部（オーベル Opel、マツエデス Mercedes、ネッカーズルム Neckarsulm）外國の手に移つてしまつた。大纖維企業と大商業企業と合併だが——はアメリカ金融資本の援助を受け、その持株参加の下に行はれてゐるのだ。

長期債の形をとる資本輸入は一九二九年には少かつた。短期投資（株式投機、利鞘稼ぎ）も亦た減少した。資本輸入は一層攻勢的となつた。それはドイツ金融資本の「支令權」に手をのばしてゐるのだ。

『國際的』讚美者たち、殊に「左翼」社會ファシストとブランドラー一派のやうな『マルクス主義者』

との言ふところによると、かういふ發展は悪くはないのださうだ。かういふ風に資本が國際的に結合するのは帝國主義的諸對立尖鋭化防止、新帝國主義戰爭防止の保證となり、同時にドイツ資本主義經濟の將來の發展に對する信頼をあらはすものださうだ。

だがこの状態は事實上は何を意味してゐるのか？ これはドイツ資本主義經濟の弱點に外ならず、またこの弱點につけ込んで外國資本は今のところ巨額の過剩利潤を搾り取ることができるといふ事實に外ならない。その上アメリカ金融資本の側には次のやうな事實がある、即ちアメリカ金融資本は第一に經濟の上でドイツをイギリス帝國主義に對抗するための進出地としやうとしてゐるのだ。だがこれによつてドイツ資本主義は強さを増しはしない、その恐慌の諸現象は緩和しないで、寧ろ尖鋭化する。その諸矛盾は益々深刻になる。この發展は——プロレタリア×××見込にとつては——悪くないが、どんな色彩の「資本主義」讚美者にとつても決してよくないのだ。

四 市場問題、合理化と労働者階級

一九二四年（ドーズ案と賠償借款）の本位制度安定化以來の景氣進行は病氣のドイツ資本主義の熱病曲線を現はすものだ。一九二五年復興景氣、一九二六年恐慌、一九二七年高景氣（一九二六年下期のイギリスの社會的經濟的恐慌の刺戟を受けて）、一九二八年景氣下降、一九二八—一九二九年冬恐慌、一九二九年初夏僅かに上昇、それ以來國內販賣の停頓が大規模な諸部分恐慌を伴つてゐるが、外國市場の好況によつて緩和されてゐる。

ドーズ案が終末を告げ、弗の雨が降つた後で、誰よりも先づ社會ファシストは繁榮の時代が來ると豫告したのだが、それは來ないだらう。外部からの刺戟を受けて短期間の上昇が起つてもすぐに恐慌に移り、長い不景氣に移る。好景氣の時でも諸部分恐慌は續き、強烈なブームにはならない。

一九二四年以來工業に新しく投資された額はいくらであるか統計がない。一九二五年から一九二九年までの五年間の蓄積は少くとも一年分平均六十億乃至七十億と見積ることができ。これに外國資本約八十億マルク（資本輸入總額百六十億マイナス賠償外貨正金拂四十五億マイナス資本輸出四十億）が加はるが、その大部分は生産設備擴張用に使はれた。巨額の投資を更新し、——それよりも重要なことには——生産装置を改造し技術化して、最も進歩したアメリカ資本主義に順應し、部分的にはこれを追ひ抜いたのである。

ドイツ資本主義はその「太陽の位」、その競争能力を恢復しやうと非常な努力をした。輸出が着々と増加してゐることを見ても、全く効果がなかつた譯ではない。だがそこまで來たのはたゞ労働者階級の搾取を猛烈に激化し、廣汎な中間層、どの層よりも先づ農民層を貧窮化し、無數の中小資本家を破滅させたことによるのだ。一ブルジョア經濟論者はドイツの經濟發展の過程を「痲痺の合理化」と呼んでゐる。この概念は正確ではないが、資本主義腐朽の特徴を正しく表はしてゐる。

忽ち滅亡する危険を避けやうとすると、競争に鞭打たれて生産力を絶えず發展させ同時に労働者の搾取を激化させることを餘儀なくされる。だがこの滅亡防禦策は一層強力な新壞滅、新腐朽の諸要素

を呼び起すことであるに過ぎない。なぜならば必然的な生産力発展と共に資本主義は決定的市場即ち國內市場の成長を妨げるからである。資本主義は労働者を強制して不健康な狭い破ら屋に住まはせ、衣服、下着、日用品等々の消費を節約させる。資本主義は、農民がその經濟を技術的發展に順應させることを妨げ、地方自治體をして學校建築、交通機關建設等々の中止を餘儀なくさせる。資本主義は「資本形成の強化」、一層制肘なき搾取、大衆消費の新制限を要求するのだ。

資本主義は尨大な恒常失業「構成的失業」を作り出す。その数は昨年夏既に約百萬と景氣研究所が見積つてゐる。高景氣の時でさへも百萬の失業者が——現在の状態では——街頭にあふれてゐるだらう。これが「組織化された」資本主義の姿なのだ。労働者の窮乏化、それから恐らく、數十萬のプロレタリアートの墮落と滅亡は組織化されてゐるかも知れない。だがその他の何ものも組織化されてはゐないではないか。

搾取を激増させやうとして、資本主義は高率保護關稅の手段に訴へてゐる。これは競争國が對抗方策に出るのを容易にしました強制するものであり、輸出を困難にする。

この堂々めぐりから逃れる道はドイツ資本主義にはもうないのだ。日毎に脅威を増す市場問題はドイツ資本主義には解決できないのだ。比較的好景氣の期間は益々短く、軟弱になり、不景氣は益々長く深刻になる。

五 ヤング案とドイツ資本主義の危機

賠償はドイツ資本主義の恐慌と腐朽との原因ではない。恐慌と腐朽とは資本主義の世界的危機の一部なのだ。「だが」資本主義的世界危機のあらゆる現象は賠償問題のなかとこの問題の解決し難い點とに現はれてゐる。帝國主義的諸對立の急速な尖鋭化、世界再分割の渴望、いづこも同じサヴェート同盟への對立、個々の資本主義國內の國民的規模に於ける恐慌現象の反映等々がそれだ。それ故に賠償問題を取扱ふ法廷は常に、世界的規模に於ける資本主義の滅亡を反映し同時にこの運命から身を守らうとする資本主義の試みを反映する法廷となるのである。

賠償は資本主義ドイツにとつては腐朽過程を法外に加速化させることを意味する。國內のあらゆる矛盾を高め、對労働者攻勢を尖鋭化し、中間層の收奪、貧農中農の貧窮化を加速化する。「ドイツは」高度に發展した資本主義國として獨立の帝國主義的活動を渴望してゐながら外國金融資本への依頼關係は増加して行き、賠償はその間の非常な矛盾を深め進めて行く。賠償は輸出強行を餘儀なくし同時に帝國主義的競争國をして最も猛烈な防衛行爲を取らしめる。輸出強行は資本輸出増加を必要とする、だが餘剩價值のうち資本輸出に使ふ部分は丁度賠償のために切り取られてしまふ。その結果國內消費は引き締められる、だがそれと共に市場問題とその影響の一切——これは労働者階級にとつて特に恐るべきものだ——とは尙一層容易ならぬ形をとるのである。

ドーゾ案からヤング案に移行してもこの關係には本質的な變化はない。ヤング案規定の年次支拂額は、殊に最初の五年分はドーゾ案規定のものより少い。だがドイツ・ブルジョアジの希望はとつく

にぶちこわされて、時にはイギリス帝國主義から、時にはアメリカ帝國主義から決定的な援助を受けて賠償支拂を本質的に切り下げ或は帳消しにしようといふ期待は駄目になつた。支拂年額二十五億五千萬マルクか二十五億マルクか、これは量の問題に過ぎない。賠償影響の質はなくなりもしなければ、本質的の變化もないのだ。

これに加へてドイツ資本主義を困難ならしめるものは賠償貢物の證券化の問題である。その第一回分をヤング案批准直後に募集しなければならぬ。この證券化は國際金融市場に巨額の負擔を課するもので、それが遂行される度に應じて外國信用の利率はその都度引上げられるだらう。なぜならば賠償證券化は賠償が一時的の負擔だといふ作り話しを一掃して、『永久』に即ち資本主義がドイツになほ存在し得る限り賠償負擔を安定化するからである。それ故に賠償のうち外貨拂保護を受けない部分の増額が第一回ヘーグ會議で承認されたのは決して些事ではない。なぜならばこの賠償部分は證券化ができるからである。

六 アメリカ恐慌とそのドイツ資本主義への作用

一月半ばにベルリンの失業者数は殆んど五十萬に増加した。昨年二月レコードを遙かに越したのだ。全國では失業者軍は三百萬を遙かに越して増大した。建築工業はこの冬は温かであつたにも拘はらず殆んど完全に停止してゐる。なぜならば住宅建築に主として資金を融通する自治體に向つて信用閉鎖が行はれたからである。同時に吾々は、殆んどあらゆる工業部門に於ける生産及び手持注文高の減退を見、従つて諸部分恐慌が一つの一般恐慌へと合流するのを見る。第二回ヘーグ會議は、今日までの交渉の結果によると、ヤング案を更に一層惡化して終ることになるだらう。なぜならば、ドイツ帝國主義のファシスト的、社會ファシスト的代表者たちは、フランス帝國主義の代表者たる國粹ファシストのタルデューとイギリス帝國主義を代表する社會ファシストのスノウデンとの共同動作と威嚇とに面して、ドイツ・プロレタリアートを犠牲として更に一層の讓歩をやるのに反對する譯がないからだ。だがプロレタリアートのなかには抵抗力が成長しつゝある。失業者は市廳を襲撃し、もう既にバリケードを築いて警官と戦つてゐるのだ。

これらすべての窮状があるのに、も一つおまけにアメリカ恐慌といふ事實がある。アメリカ恐慌についての最初の精確な報道がドイツに入つたとき、ドイツ・ブルジョアジーは即座にこの側から彼等を脅かす危険を理解した。できるだけ多くの専門家たちは、それについてブルジョア新聞で書き立てた尻理屈をこねたりした。彼等は理屈に合つた助言を何一つ與へ得なかつた。アメリカ資本の世界市場への已み難い進出を空つ言葉で防衛し得るのもあれば、この喧嘩はドイツ資本主義に軍配が上つたかも知れない。だがこの無慈悲な喧嘩では、たゞ冷酷な事實だけが、そのみが、勝負を決するのだから仕方がない。

ドイツは一九二九年に約百億マルクの完成商品を輸出した。即ち完成商品生産の殆んど二五%である。合衆國は一九二九年にはその商品生産の約一〇%を輸出した。だがそれはその工業完成商品生産

の一〇%よりも遙かに少い。なぜならば輸出の著しい部分は棉花・穀物・銅・等々だからである。

アメリカ金融資本は、保護關稅とダンピング關稅との制度で國內に於ける自己の獨占的地位を最も強固に固め、輸出増加の力強い武器を磨いた。新關稅法案はこの制度に残つてゐた最後の缺陷を埋めて完成するだらう。

アメリカ金融資本は、恰かもこの不景氣時に當つて資本を輸出することが出来るだらうし、またこの資本輸出増加を市場征服競争戦に於ける武器として驅使するだらう。

ドイツ資本主義はこのやうに戦備を備へてゐるアメリカ資本主義の向ふに廻つて一體何を使つて對抗するのか？ その資本輸出は最も狭い限界のなかで可能であるだけであり、自己を強化するには一々高價な外國信用といふ代價を拂はなければならぬ。この外國信用は主にたゞ最有力なコンツェルンやトラストだけが利用し得るものであつて、中小企業の大群は極く僅かしかこれを利用し得ない。

ドイツ資本主義も亦た、外國市場を維持し外國市場を征服するためにダンピングが競争をやつてをり、外國では國內價格よりも遙かに安く販賣してゐるだけでなく、時には生産費以下で販賣してゐる。だが工業生産の八%或は二五%が外國で販賣されるか、それとも三〇%も四〇%も外國で販賣されるかは、大きな違だ。ドイツの諸電氣コンツェルンは巨大な大怪物だ。シーメンスは昨事業年度報告のなかで、該コンツェルンの生産の三分の一以上を外國で販賣したと述べてゐる。アメリカの諸電氣トラストはドイツの諸電氣コンツェルンよりも遙かに強力である。彼等の外國販賣はドイツの競争者の

それよりも遙かに少く、また彼等の背後には途方もない勢力を持つアメリカ諸大銀行が控えてゐる。彼等は遙かに廣大な國內市場を持つてゐる。彼等は銀行——彼等はこれと溶け合つてゐる——から最も有利な條件で信用を得てゐる。シーメンスほどの大怪物でも、こんなに違つた事情の下でアメリカの競争者との競争戦に於て息が切れて參つてしまふまでには一體どの位かゝるのだらうか？ 分裂してゐる機械工業、小銑鐵工業、纖維工業等は、この競争戦で遙かに早く參つてしまふに違ひない。

恐慌の結果非常に激化したアメリカ資本主義の競争戦が衝突するのはドイツの競争者ばかりではない。イギリス、フランス、ベルギー等々の競争者にも衝突する。これらの諸國は最も防禦力の弱い國であるドイツ資本主義をこそ攻撃するだらう。世界市場に進出するアメリカ資本の壓力を直接受けることは資本主義ドイツよりもイギリス資本主義の方が恐らく多いだらう。だがイギリス資本主義の防禦武器はドイツよりも精銳である。そしてイギリス資本主義が他の方面でアメリカ資本主義によつて驅逐されるならば、少しも躊躇せずその武器をドイツの競争者に向けるだらう。

ヤング案の影響についての討論と關聯して、商品輸出増加の收入で賠償を支拂ふことについて多くの説があつた。資本主義讚美者たちは直ちにヤング案をドイツ資本主義發展のモーターだとほめ稱へてゐる。こんなお喋りはとつくにアメリカ資本主義經濟の恐慌の以前にすでに馬鹿氣た愚論だつたのだが、この恐慌の影響によつて根こそぎ明白にやつつけられるだらう。

アメリカ恐慌がどこまで深くまた恐らくどこまで續くか、吾々は現在まだ判斷することはできな

い。尨大な失業と短時間労働についての數字はこの恐慌の異常な強度を物語つてゐる。この恐慌の影響がどれほどであるかは「恐慌の」強度によると共に長さにもよるものである。このことは論ずるまでもない。この影響と合流するものにドイツの景氣の恐慌、國家及び地方自治體財政の危機、ヤング案から出てくる困難な諸問題があり、このことによつては右の影響はドイツ資本主義の一般的危機の法外な尖鋭化と合流する。だから一九三〇年の發展が潜在的××情勢を脱して尖鋭化した××情勢に移行する可能性があるのだ。ドイツ×××は、自身がこの發展に耐えるほど成長してゐることを示す極めて大きな任務を負つてゐる。

第二 ポーランド

世界經濟恐慌のポーランド斷片 (ツルキ、一九三〇年二月五日)。

一 經濟恐慌

ポーランドに於ける經濟恐慌は巨大なテムボで前進し、同國經濟の益々重要な部門を襲ひつゝある。

十二月及び一月上旬にはポーランドの總經濟生活曲線低下のテムボは記録的數字を示した。この激烈な經濟的震撼はポーランドの經濟指導者とファシスト經濟學者との間に著しい動搖をひき起した。これらの紳士連は、最重要經濟指數の破局的低下に面して、ファシスト元帥杖下のポーランド經濟の繁榮と言ふ彼等のお伽噺を役に立たない道具として藏ひ込まざるを得なかつた。彼等は『ポーランドには近い將來に恐慌が起る憂は全然ない』とかポーランド經濟のあらゆる消極的現象は『一時的性質』のものに過ぎないとか言ふお饒舌を止めなければならなかつた。

一月一日、新年評論の際に、ポーランド資本のオリンパスたる大工業家及び銀行家中央會の機關紙から次のやうな言葉が響いて來た。「過去一年間に疑もなくポーランド經濟の發展は後退し、著しく明瞭な經濟恐慌は始まつた」。ポーランド工業家の最も卓越した代表者の一人、前閣僚クラルナー Klara Ner は同じことを一層激しい調子で主張して次のやうに公言してゐる。「ポーランドの經濟生活の歴史

上、一九二九年は議論の餘地なく最も不況の年として、若干の領域では破局的な年とさへ記録されるだらう(1)。

過去數ヶ月間にポーランド經濟の領域に起つた事實そのものを觀察すれば、ポーランド大資本の代表者の口からこのやうな陰鬱な言葉がなぜ突然出てくるかは理解できるだらう。

(1) 『プシエグロンド・ゴスボダルチ』Przełom Gospodarczy 一九三〇年第一號。

ポーランドの官廳登録失業者數は一月十八日に二十四萬に達した。これはポーランド工業労働者總數の四分の一である。ポーランドの實際失業者數は官廳登録失業者數よりも著しく多い。このことを考慮に入れるならば、ポーランドの失業者數は三十萬を超過し、ポーランド工業労働者の殆んど三分の一は今失業してゐると考へるに十分な理由があるわけだ。その上一週に二日乃至三日就業する短時間労働者が加はる。短時間労働者數は現在尨大なものがある(纖維工業のみで短時間労働者數は七萬と數へられてゐる)だが過去數ヶ月分の短時間労働者數については多少とも完備した統計は差當りないのだ。

かうして、本年一月上旬のポーランド失業者數は過去四ヶ年總體の失業の程度を凌駕し、ブルジョア國家ポーランドが『獨立』以來最も激烈な恐慌を経験した一九二六年の程度に著しく接近した。一月上旬のポーランドの失業者の相対的度合を見れば、ファシスト・ポーランドは失業に關して他のヨーロッパ諸國を凌駕したことがまた分る。オーストリアでさへ失業者數は労働者總數の二〇%を超過してはゐない、即ちポーランドは現在疑もなく、失業の本家本元だ。

近時の失業増加のテムボは失業の度合そのものよりもよりよくポーランド經濟恐慌の激化を物語つてゐる。一九二九年一月上旬から一九三〇年一月上旬までにポーランド失業者數は一四・七%増加した、ところが一九二五——二六年の恐慌の同期には失業者數の増加は僅かに六・四%だつた。恐慌現象がこのやうに強度に發展しつゝあることを考へれば、ポーランドの經濟有機體が現在蒙りつゝある震撼はいかに深刻なものであるか、ポーランド經濟の發展はどこを目指してゐるか、と言ふことがわかる。

方向を轉じてポーランド經濟の個々の主要部門の情勢を觀察しやう。纖維工業は殆んど全く休止してゐる。若干の金融的に最も強力な企業のみが操業してゐるが、これとても一週二日づゝに過ぎない。機械工業では、一九二九年十二月一日の注文は一九二八年の同日に比べて二五%乃至三〇%の減少と算定された。それ以來需要は一層減少し、著しい生産制限が行はれた。木材加工業は官廳の査定によれば『沈滞の状態に』ある。鋼鐵工業では、一九二八年十一月分の注文は八萬噸だつたのだが、一九二九年十一月には二萬六千噸だつた。このポーランド最重要工業部門では注文は今や前經濟年度同月の三分の一に減少し、恐慌の年一九二五年の同月よりも少いくらひだ。重工業はかくも急速に恐慌に襲はれつゝあるが、この速さはまた現在の恐慌が一九二五年の恐慌——この國にとつて今までで最も恐しい恐慌だつた——よりもつと根強くポーランドの經濟有機體を襲つてゐる、と言ふことを示す

一要因である。

炭鑛業では比較的好況が最も長く続いた。だが一九二九年に於けるこの工業部門の情勢の好轉はヨーロッパ一般にさうなつたのであつて、たゞ獨りポーランドの現象ではなかつたのだ。十一月になつてもまだ國立景氣研究所はポーランド炭鑛業の情勢を全く好況だと見てゐた。だが、今はもう政府の公の機關紙『ポーランド官報』Gazeta Polska は『石炭戦線』から驚く可き状態を傳へてゐる。次のやうに報告してゐるのがそれだ。曰く、一月には國內市場の需要は激減した。また、

『價格は低下し、ストックはあふれ、商人は石炭を販賣する機会がないので五六日も貨車の中に入れて放しにしてゐる。そして商人がその受け取りを全然拒むので、石炭は貨車から競賣にされたといふ場合すらあつた』。

(2) 『ポーランド官報』一九三〇年一月十六日。

更に附加へなければならぬのは、ポーランドの石炭輸出は既に十一月に一五%減少し、ポーランドはスカンディナヴィア市場の大部分を失つたといふことである。この市場はポーランドがイギリス炭坑夫ストライキの間に征服し、三年間見事に守り通して、もう得々として自國の永久的販賣市場だと考へてゐたものである。外國市場の喪失と國內市場の販路の縮小との結果、炭鑛業でも亦た生産は減退し幾多の炭坑は閉鎖されてゐる。かうしてポーランドの恐慌は最後の重要工業部門をも襲つたのだ。

だが農業——この國內市場の決定的要因——の領域と信用の領域との情勢は特に悪い。この二つの領域はポーランド經濟總體の慢性的特徴、病的状態の大部分を決定するものなのだ。

一九二九年十二月の小麥價格は一九二七—二八年の價格の僅か七〇%であり、ライ麥の價格は五七%であつた。地主雜誌の『ロルニク・エコノミスタ』Rolnik-Ekonomista は農業の形勢に關する一論說で次のやうに言つてゐる、『恐慌は疑もなく重大であり、農業の購買力は著しく縮小した』(3)。

(3) 『ロルニク・エコノミスタ』一九二九年十二月十五日。

需要が減少したのは消費品に對してのみでなく、人造肥料や農耕機械に對してもだ。十一月の化學肥料販賣額は一九二八年十一月の僅か六四%しかなかつた。この事情は農耕機械の方でも同じだ。今年の播種面積が減少するだらうといふことはもう今から充分確かに豫言することができる。なぜならば農業にとつては遙かに好況だつた一九二八年でさへ小麥及びライ麥の播種面積は七%減少してゐるからだ。農耕集約度の減退とその衰頹の諸要素とは既に明かに現れてゐる。前掲地主雜誌は心配げにこの事實を指摘して、『農耕集約度の減退は國土の總經濟情勢に對する容易ならぬ危険を包藏してゐる』と述べてゐる。

ポーランドの農業恐慌は穀物經濟のみならず、ポーランドの外國貿易中主要な役割を勤めてゐる畜産業にまで及んでゐる。既に十一月にポーランドの豚の輸出は二五%減少した。

ポーランド經濟總體の恐慌の重大なことは、破産と手形拒絶數との著しい増加並に株式市場の沈滞

がまた證明してゐる。十二月に手數拒絶總額は満期手形總額の一二%を超過した、これは前年の當該百分率の三倍である。株式指數は、一九二八年末の指數を一〇〇とするならば、一九二九年十一月には六八に下つてゐた、それ以來株式の需要が極度に少い結果益々低落し續けてゐる。

全南東ヨーロッパの特徴である資本の缺乏は現在ポーランドでは極度に達し、ルーマニアの記録さへ凌駕してゐる。『ポーランド新報』Kurjer Polskiの新年號は次のやうに述べてゐる。

「過去一ヶ年を顧みるとまた新しく次のことがわかる。最もさゝやかな取引だけに金融するにもポーランド資本の助けを借りることはできないのだ。かゝる事情は、若し外資が流入しない場合には吾國ではあらゆる投資運動が立ちどころに休止してしまふといふ情勢を現出せしめてゐる」。

しかしながら外資の流入は一九二八年の下半期から殆んど全く杜絶した。この原因の一つは取引所投機熱に關聯してアメリカからの資本輸出が一般的に制限されたことであつた。この全期間中ポーランドは長期信用を得ることができなかつた。ポーランド公社債は外國の取引所では買ひ手が無いので相場が著しく低落した。短期借入金は極く僅かな金額の流入をみたのみであるが、しかもこれすらも一九二九年十一月下旬には流出し始めた。外資がポーランドに流入するだらうと言ふ希望は、未だ充分實現されないうちにニウヨーク取引所大動亂の結果空しく消え失せた。前述のファシスト經濟學者は陰鬱な調子で次のやうに確認してゐる、『アメリカ資本のポーランド市場向投資の可能性と結びついてゐた希望は、ニウヨーク取引所大動亂の結果實現されるに至らなかつた』(4)。この結果一九二九年度

ポーランド工業向投資は皆無となり、流通資本の基礎は著しく狭められ、その上『貨幣飢饉』は極度に達した。かくてポーランド工業の外國に於ける競争力は一層弱められ、ポーランド經濟生活の解體は尙一層進んだ。殆んど一切のヨーロッパ大資本主義諸國では利率引下げをやつたにも拘はらず、ポーランドでは事實上まだどん／＼昂騰しつゝある。ポーランド銀行が引受けをやらない手形——といふのは同銀行の信用能力が非常に限られてゐるからだ——の利率は、十二月には著しく昂騰して、年四〇%に達した。

(4) 『ポーランド新報』一九三〇年一月一日。

二 經濟的見透し

ポーランド經濟生活の解體は著しく深刻なものがある、だから職業的樂觀主義者たるファシスト經濟學者さへも、ポーランド經濟の近い將來に向つてなんら華やかな見込を豫言しないのみでなく、尙多難の日がさし迫つてゐることを認めてゐるほどだ。ポーランド貨幣價值が目まわるやうな暴落をやつた時前首相ウイトス Witos は『明日はもつと悪くなるだらう』といふ歴史的聲明をしたが、これはポーランド・ブルジョア經濟學者の現在の氣持と意見とを最もよく表してゐる。前述のクラナーの言ふところだけでも聞いてみよう。彼の新年展望は次の言葉で結ばれてゐる。『(一九三〇年の)初めの數ヶ月間に一般經濟情勢は一層不況に陥る恐れがある』(『ポーランド新報』第一號、一九三〇年一月一日)。

また他のファシスト經濟學者は續けて言つてゐる。『一般的經濟恐慌を急速に克服することは到底出來ない』、『ポーランド新報』一九三〇年一月三日。ポーランド大資本の中央機關紙たる『プシエグロンド・ゴスポダルチ』さへも恐慌に就て次のやうに述べてゐる、『經濟生活に對して、個人の側からせよ又は國家の側からせよ、なんら刺戟がないので、近い將來にこの諸困難はなほ一層激烈になると無條件的に豫期せねばならぬ』(一九三〇年一月十五日)。

國內市場はその後すつと狭化しつゝある。このことは國立景氣研究所もその十二月刊行物の中で認めてゐる。次のやうに聲明してゐるのがそれだ。『都市並に農村の消費者大衆の購買力は減少しつゝある』、『コンジュクツルナーヤ・ゴスポダルチャ』Konjunktura Gospodarcza 一九二九年第十二號)。

ポーランド工業は外國市場裡の競争の全期間國內市場價格引上げと生産費以下の輸出強行といふ犠牲を拂つて僅に對抗することができたのだ。この『ダンピング』政策は石炭、銑鐵、砂糖、石腦油、木材等あらゆる主要工業部門に行はれてゐた。だから國內市場の著しい縮小は、ダンピングによる損失填補の財源を奪ふことによつて、ポーランド工場の外國市場裡の競争力を弱めつゝある。同時にアメリカ及びヨーロッパの最重要諸國に於ける恐慌はあらゆる市場裡の競争を激烈にし、その結果ポーランドのやうに最も弱い國は先づ第一に困難に陥らなければならないのだ。

農業の將來に對する見透しは一層悪い。國內市場價格を引上げ輸出を増進せんがために政府が最近とつた方策(輸出補助金制度の創設)は明確な効果がなかつた。國立景氣研究所は次のやうに報告してゐる。

『十一月及び十二月の上半月の農業の情勢は政府のあらゆる方策にも拘はらずたゞ單に好轉しないばかりでなく、最近數週間にはむしろ一層不況に陥つた』。

畜産業に於ける恐慌は間近に迫つて來た。十一月の畜産物輸出の減少は極めて徴候的な現象である。ポーランドの家畜と肉製品の大部分が輸出されて行つてゐたチェコスロヴァキアとオーストリアは、今や農業恐慌發展と地主黨の壓迫との結果これら生産物に對する保護關稅を引上げた。

ファシスト地主黨の一人——ゴスチツキ Gostycki 地主組合の有名な代表者——は次のやうに述べてゐる、『近い將來に畜産物の價格が下落して、その結果農業は破局的形勢に陥ることを豫期しなければならぬ』(『ロルニーク・エコノミスタ』一九二九年、第十三—十四號)。

有名な閣僚のプシエドベルスキー Pzedpelski はセイムの演壇から同じことを言つてゐる。『穀物恐慌について肉類價格の恐慌の危険があらはれ始めてゐる。若しこの肉類價格恐慌がやつて來れば實際、收拾し難い形勢になるであらう』。

このやうな陰鬱な様相の背景に外見上光明を投げかけてゐる唯一のものは過去半ケ年の貿易差額の若干の好轉である。最近數年間ポーランドの貿易差額は支拂勘定であつたのが、最近數ヶ月間に受取勘定に變り、輸出は輸入を若干超過し始めた。だがこの好轉はたゞ單に外見的なものである! なぜ

ならばこの『好轉』は景氣の惡化（工業用原料及び機械の輸入の減少、これらの商品の輸入は十二月に一五—二五%減少した）と資本流入缺乏の直接的な現れだからだ。ポーランドではドイツと同じく、貿易差額の好轉は徹頭徹尾殆んど國內市場の枯渴と恐慌襲來とばかりを物語るものである。

ポーランドのファシスト政府によつて遂行されたあの不評的な安定化が全く腐朽してゐると言ふことは今は既に明白になつたので、その腐朽を發見するのに何も眼鏡などはいらない。ポーランド經濟生活のファシスト指導者すらも今は次のやうに認めざるを得なくなつた。『ポーランド經濟の景氣は何ら安定の要素をもつてゐない』（『プシエグロンド・ゴスポグルチ』一九三〇年第一號）。

世界恐慌はK・I・第六回世界大會並にK・I・執行委員會第十回プレヌムの形勢評價を見事に確證したが、それと同じに、ポーランドの經濟情勢はポーランドKP第四回黨大會及び中央委員會第六回プレヌムによる情勢評價の確證に役立つてゐる。現在の恐慌はヨーロッパの安定化の最も弱き一環である。ポーランドの資本主義的安定化の腐朽を現はすものである。

三 ファシスト陣營の恐慌克服方策とその成果

ピルスツキ Pilsudski 政府とポーランドの資本家階級は恐慌の渦中に卷込まれて袋路から脱出しやうと幾多の手段を盡して痙攣的に努力してゐる。

保護關稅の一層の引上の提案、輸出補助金の増加、農業に於ける輸出大シンデケートの設立、及び國內市場に於ける價格の引上等は、これらの諸方策中最も重要な地位を占めてゐる。かくて上シ

レシア金屬工業の代表者は、恐慌撲滅には「銑鐵の國內市場價格を引上げて輸出補助金を増加する以外に方法はない」（『ポーランド新報』一九三〇年第三號）と述べてゐる。他の部門の工業家も亦た同様なことを述べてゐるし、地主も亦た同意見で「すべての穀類及び畜産物の國內價格を世界價格以上に關稅の全額だけ引上げること」（『ロルニク・エコノミスタ』一九二九年十三—十五號）即ち穀類價格は凡そ二五—四五%、肉類生産物價格は一五—二〇%引上げることが必要であると聲明してゐる。この提案の目的は、強力な柵によつてポーランド國內市場を外國商品及び世界市場に於ける價格下落の傾向から隔離し、この國內市場で價格を人為的に引上げて廣汎な消費者大衆の搾取を増進し、これから生ずる財源によつて外國市場裡の競争を強めて、生産の水準を維持することにある。だがこの提案は異常に多くの『弱點』を伴つてゐるので、その實現は殆んど不可能である。

何よりも先づこの過保護主義的價格引上げは廣汎な農民大衆の貧窮と都市労働者の未曾有の困窮に衝突する。

農民大衆の貧窮化を明白に示してゐるのは、ポーランドの農家の殆んど七五%は自家の消費にも足りぬ位しか生産してゐないと言ふ事實である。労働者階級の狀態は國立『經濟研究所』の新刊書の中に最も明瞭に示されてゐる。この公廳刊行物は労働者の家計を分析して次のやうに述べてゐる、『吾々はポーランドの労働者階級の生計と賃銀水準とがヨーロッパ中最も低い方に屬してゐることを確認しなければならぬが、これは充分正當に言ひ得ることだ』。同書は更に曰く『若し労働者の支出豫算の

たファシスト政府はこの公債協定に際してアメリカの債権者に對してかゝる有利な條件を承認し、アメリカ人に對してポーランドに於けるかくの如き特殊權利を與へたのだ。こんな權利のことは政府は今日に至るまで秘密にしておくのが良いと考へてゐる程である。比較的好況の時代でさへ信用を得るのにこんな犠牲を拂つたのだ。だから現在ではもつと大きな犠牲を拂はねばならぬのは明白である。極くさやかな資本を得るにもファシスト・ポーランドは外國銀行家に一層從屬の度を増し、『國家の主權』を犠牲にして一層多大の經濟的特權と新しい供物を捧げねばならぬだらう。このことはわかり切つてゐる。勿論これはポーランドブルジョア諸集團間の若干の軋轢を伴はぬ譯にはゆかぬ。だがこれは原則としては解決済みである。ピルスツスキとポーランド大資本とはその計畫を立てゝゐる。

ポーランド工業家及び銀行家の中央機關紙は、この著しく物議を醸したハリマン利權（即ちポーランドの主要地方の電力生産獨占權をアメリカの會社に與へた利權）に反對して、次のやうな意見を發表してゐる。曰く、『若干の企業家團に獨占状態を作り與へ、既にポーランドで活動してゐる他の内外企業家團を次第にこの企業家團に從屬させるやうな結果になりかねぬ利權を外國資本に讓渡する』とはまだ差控えなければならぬ（工業家、金融家等の中央會の覺書）。これはすべて外國資本と取引しやうとする努力に外ならぬのであつて、外國資本に莫大な特權を提供することに原則的に反對してゐるわけではない。該覺書には更に次のやうに述べられてゐる、『外國資本を輸入するための――筆

者）條件は、若干の點については數多の外國よりも吾國の方が苛酷に違ひないと言ふ意見もあるが、これには豫め諒解をつけておかなければならぬ。ピルスツスキ政府は外國資本に對するかくの如き『犠牲』に賛成してゐる許りではない。ファシスト政治家は、『ポーランドの政治情勢の不安定は外國銀行家を危懼せしめ、彼等のポーランド向資本投下を差控えさせる』と言ふことを認めてゐる。最近ピルスツスキとセイム「反對派」との間に妥協が成立したが、それには――大資本の代表者が最近の聲明書で非常に強調した――これらの考慮が決して少からぬ役目を勤めてゐることは疑ひない。

だが『ポーランド政治情勢の不安定』は中産階級若干部分や小ブルジョアの上層内の不平不満にあるのでは勿論ない。彼等は決定的根本問題に關しては全體としてファシスト獨裁を支持してゐるのだ。ポーランド政治情勢の不安定の原因は寧ろプロレタリア大衆、被搾取農民階級、及びポーランドによる被壓迫民族の勤勞大衆の革命的昂揚である。だから『ポーランド政治情勢の不安定』を清算することはポーランド資本家並に資本家志望者の力に餘ることだ。

ピルスツスキ及びその從僕たる社會ファシストは、『政治的爆發』の危険を除去するために革命的運動を殘忍な手段によつて抑壓しやうと努力してゐるが、彼等はそれによつて同時にアメリカの債権者の意を安んじやうと希望してゐるのだ。彼等は又同時に外國資本の植民地利潤をも保護せんとして勤勞大衆の首を益々強く締めつけつゝある。だがこの鬭争の終結は彼等の力によるのではなくて勤勞大衆の堅忍不拔によるのだ。

恐慌克服の次の『処方』は『税制改革』である。ポーランドでも、ドイツ、フランス、その他の資本主義諸國でも『財政改革』は日程に上つてゐる。ポーランド大工業家及び銀行家聯合會は既に數ヶ月前財政改革に關する覺書を政府に手交した。數多の閣僚との協議が幾度も開かれた。最近ワルシャウで開かれた商工會議所總會も亦たこの問題に著しく注意を向けた。また今恐慌の進展と共に大資本のあらゆる聲明書に於てこの問題は特に著しく論議されてゐる。大資本はこの財政改革によつて彼等の利益に最も著しく反する資本収益税や賣上税等の如き諸税を廢止しやうと欲してゐるのだ。彼等は此の整理によつて株式會社の租税を輕減し、一切の直接税の累進賦課を緩和して同時に間接税を引上げやうと努力してゐる。社會フアシストも亦た労働組合の最近の大會で、『ポーランドに於ける資本形成促進』を目下の重大問題なりとし、これを實現するための計畫の立案に努力して、銀行家中央機關紙の大袈裟な賞讃を博した(『プシエグロンド・ゴスポドルチ』一九一九年第二號)。ピルスツスキ政府は無雜作に、また特別の法律的手續を経ずして『税制改革』を實行しつゝある。一九三〇—三一年の豫算に於て直接税は一九二八—二九年に比して一〇%増加してゐる、けれども工業税は三五%減少した。間接税もこれに相應して引上げられたことは勿論だ！ 大衆からの掠奪は全力を集中して行はれてゐる。

最後にポーランドの地主や工場主はドイツやイギリスの先輩に倣つてあらゆる形態の所謂『社會的費用』や社會保險や賃銀を減少することによつて袋路から脱出しやうとした。賃銀が言語に絶したほど低く——國際聯盟の報告及びポーランドの國立研究所の承認してゐるところによれば、ポーランドの賃銀は全ヨーロッパ中最も低い方だ——社會的費用に對する支出が著しく少いにも拘はらず、ポーランドでは次のやうな一般的な鯨波の聲が上げられてゐる。曰く、社會立法を廢止しろ、賃銀をもつと下げろ！ 何よりも先づ『農業社會保險法の改正』の計畫がある。その次には疾病基金が問題となつてゐる。經濟指導者の一人は、正にこの社會保險の改正並びに賃銀の引下は恐慌克服のための『アルキメデスの支點』となるに相違ないとさへ述べた。だがこの問題に就いては全體として資本家連中とその政府は不言實行を旨としてゐる。労働者からの社會保險掠奪の實行や賃銀引下げの企て(社會フアシストは無條件にこれを支持してゐるのだ)はこれに關する聲明に先んじて新聞に現はれてゐる。フアシスト陣營に例外なくあらゆる恐慌撲滅策に共通した且また明白な目的は、形勢から生ずるすべての重荷を勤勞大衆、殊に先づ第一にプロレタリアートに轉嫁し、ヨーロッパの眞只中に植民地的事情を作らうと言ふのだ。

まだもう一つ『処方』がある。これに就いては公然と語ることは最も少い。それは戦争だ、サヴェート・ロシアに對する戦争だ。經濟機關の破壊が益々著しく、販路缺乏のため閉鎖する工場が益々多い程、ブルジョアジーが他國を併合しやうとする努力は益々著しくなる。情勢が行きづまれば行きづまるほどフアシスト救世主は斷乎として異常な『英雄的手段』——戦争冒險——をとらうとしてゐる。その結果ポーランド總豫算の約四〇%を占めてゐる軍事豫算は益々増加してゆき、戦争の準備は外國

資本の好意とポーランド社會黨及びその友人連の全力的支持の下に行はれてゐる。かうして國家豫算中不生産的支出は増加し、金融恐慌は激化されつゝある。

これら一切の企圖はファシスト獨裁の危機から生れてゐるのだが、その結果社會的諸矛盾を増大し階級闘争を尖鋭化しつゝあることは特別に證明するまでもなく明かだらう。かうしてポーランドでは革命的昂揚はもう明白に生長しつゝあるのだ。ピルスツスキについての幻想は大衆の間から急速に消え始め、ファシスト制度の最も重要な支柱であるあらゆる種類の社會ファシストは労働者大衆の間でその假面を剥がれつゝある——かういふ條件の下にポーランド經濟恐慌は激化しつゝあるのだ。だからポーランド恐慌の社會的・政治的結果もこんなに急速に現れてゐるのだ。

ポーランドのあらゆる隅々に起つてゐるストライキや失業者の示威運動や農民大衆の蜂起は、×××××あらゆる企圖に抗して労働大衆が決然と奮ひ立つたことを物語つてゐる。だがこれは經濟恐慌の發展に伴つて益々展開するあの大きな戦ひ——プロレタリアート××××××××——の前哨戦に過ぎない。

第三 オーストリア (ザミ、一九三〇年四月二十三日)

オーストリア司法大臣ショーパーは、二月にベルリンを訪れた時、新聞社代表たちに與へた會見に於てオーストリアの經濟情勢を美しく語つて聞かせた。彼はかう話した。農業生産は一九二二年と比べて増大したから、今後國內需要の大部分を満すことができるだらう。石炭採掘量は二八%褐炭は二二%、鉄鐵生産は二三%、鋼鐵は二七%増加し、水電エネルギーの生産も同じく増加したと。

ショーパーはまだこの外にありとあらゆることを話した。だが彼はたつた一つ、決して重要でないとは言へない或る數字を述べるのを忘れた。といふのは失業者數のことだ。失業者數は、丁度一九三〇年二月に未曾有の高さに達してゐた。

ショーパーの話したことは、要するにオーストリアは戦後の經濟的破滅から逃れ出たといふ平凡な眞理に外ならなかつた。オーストリアが一九二七年以後一九二九年下半年初めまでの間——特に重工業に於て——中間景氣を経験したことは争ひ難い。

だがこの景氣は一九二九年末に至つて突如激變した。經濟恐慌の原因は種々である。だがそのうち最も重要なのは、國際的事變「世界經濟恐慌」とりわけドイツに於ける景氣の下降と關係がある。經濟情勢の變化の最初の犠牲は信用局だつた。同局は一九二九年九月末に破産した。そしてシュタイエル(自働車)工場、マウトナー(纖維)コンツェルン、シュテツグ(機關車建造)會社、等のやうな同じ

く重要な諸企業を破産の道連れにした。

二五

だがこの信用局と直接連絡のなかつた他の諸生産部門も、やはり経済恐慌にひどく悩まされてゐる。鐵鑛探掘量は、一九二九年七月には十九萬三千噸だつたのに、十一月には十三萬八千六百噸、十二月には九萬五千四百噸に下つた（これに反して一九二八年十二月には十四萬五百噸だつた）、そして一九三〇年の最初の二ヶ月になつてやつと少しばかり上つた（一月十一萬七千噸、二月十萬八千噸）。鐵工業は一九二九年七月に生産能力の八〇％だけ操業してゐたのに、同年十一月には七二％、十二月には四五％、一九三〇年一月にも四五％、二月には四二％に下つた。製鋼業では、生産能力の利用程度は七月に九九・七％、十一月に七三％、十二月に五三％だつた。褐炭生産の數字は次の通りだ（單位千噸）。十月三二七、十二月二九七、一月二八八。纖維工業では恐慌は暴威を振つて、その結果多數の企業が閉業し、ひどいのは破産した。そしてその機械は分解されて外部へ賣り拂はれた。かやうにしてそれら地方全體の人口は、もう仕事口を見附けることができないういふ宣告を下されたのだ、良好な状態で操業してゐるのは、マッチ工場、麥酒醸造工場、マグネサイト企業のやうな少數の獨占工業だけである。かやうに經濟は急速に下降した。その結果は破局的な失業だ。一九三〇年一月半ばには、失業は一九二三年の平均よりも九七・二％多かつた。扶助を受けてゐる失業者の數だけで、九月に十萬四千九百人、十月に十二萬五千八百人、十一月に十六萬七千五百人、十二月に二十二萬六千五百人、一月に二十七萬三千二百人、二月に二十八萬四千五百人、三月に二十六萬九千九百人あつた。

この恐慌の見透しについては、「オーストリア景氣研究所」は近い將來に於ける好轉の可能性を否定してゐる。

プルヂョアジが命の綱と頼んでゐるのは借款だ。これを第二の合理化の波を捲き起す準備に役立つせやうといふのだ。その政治的補足が暴力行爲取締「法」だ。だがこの借款は同時に、多數の道路の築造、鐵道への大投資、となることによつて、「對サヴェート戦争に於ける」オーストリアの軍略的重要性を高めるにきまつてゐる。

だがこの恐慌解決策は、失業といふ最も重要な社會問題を解決し得る性質のものではない。鐵道敷設、道路築造、水電力の發展、住宅建築等に基く經濟回復は、恐らく失業を少しは減少させるだらう。だが他面失業は、第二の合理化の波によつて一擧に激増するだらう。だからかやうな恐慌「解決策」は、高められた水準での恐慌の再生産を意味するばかりだ。

第四 チェコスロヴァキア

一 チェコスロヴァキアに於ける經濟恐慌

(ルドヴィヒ・フロインド一九三〇年一月二十二日)

一 經濟恐慌とチェコ資本主義の一般的危機

チェコスロヴァキアも亦た世界經濟恐慌に捲き込まれて、新たな經濟恐慌が起つてゐることはもはや疑もないことである。チェコスロヴァキアのこの新たな經濟恐慌は孤立したものと考へてはならない、これは資本主義の一般的危機の尖鋭化の現れとしてのみ理解し得るのであつて、この尖鋭化は戦後資本主義第三期一般にとつても、またチェコスロヴァキアにとつても特徴となつてゐるのである。よしこの新經濟恐慌が起らなかつたとしても、諸矛盾が並はづれて増大してゆくことからしてチェコスロヴァキアの一般的危機の高潮を云々せざるを得ないことは明かである。今始まつてゐる經濟恐慌は、チェコスロヴァキア資本主義の相對的安定が今後一層震撼してゆく上の、一つの特種的なモメントに過ぎない。しかもこれを特に尖鋭化させるモメントである。

經濟上の事實から見れば、チェコスロヴァキアは正に、かの生産に於て戦前水準を突破し、最近數ヶ年間に生産力の極めて強力な發展振りを示した資本主義諸國のうちの一つだといふことは確かだ。その特徴は、丁度生産手段を生産する工業部門に特に強力な飛躍が行はれたことである。先づ第一に

チェコスロヴァキアの銑鐵Ⅱ及び鋼鐵工業がさうだ。一九二六年はまだ恐慌の年であつたが、同年以來急速な上昇が見られる。生鐵及び生鋼の産出の發展次の如し(單位千噸)。

年 度	生 鐵	生 鋼
一九一三年	一、二二八	一、二二四
一九二六年	一、〇八八	一、五九六
一九二七年	一、二六〇	一、六九六
一九二八年	一、五六九	一、九九二

この決定的な工業部門ではつきり、一九二七年には断然戦前水準を突破し、生鐵生産は戦前水準の一〇三%、鋼鐵生産は一三八%に達した。一九二八年には既にそれ〴〵一二八%及び一六三%に上つた。一九二九年には生鐵産出一三六%、生鋼産出一八二%とまで評價されてゐる。この生鐵、生鋼生産の急速な上昇は、その餘剰生産の大部分が軍備工業に呑み込まれたとは云へ、工業及び農業の生産力が恐ろしく増大したことを示してゐる。これについては建築事業の大飛躍、特に一九二八年度のが特徴となつてゐる。人口一萬以上の都市七十九を包含した統計調査に據れば、これらの都市に於て一九一九年には六百四十九、一九二四年には五千五百九十一、一九二八年には一萬百五十二、の建築が行はれてゐる。概して建築事業、投資活動の大きかつたことは、輸出の増大と相並んで、一九二七年、一九二八年、及び一九二九年前半の生産飛躍の最も重要な原因であつた。工業及び農業に於ける生産

力の増大は、だが国内のみならず国外からも將來された、それは特に機械輸入が激増したことも分る。例へば紡績工業のみでも、チェコスロヴァキアで製造できない機械の輸入に當つて關稅を軽減する法律のお蔭で、一九二四年から今日迄十億クローネ以上の紡績機械を輸入してゐる。外國機械輸入状態は最近三年間次の如し（單位百萬クローネ）。

	一九二七年	一九二八年	一九二九年
機械器具……………	四七三	七〇二	五五八
			(最初の十ヶ月)
			六六四
電氣機械器具……………	二五五	二六五	一九五
			二八二

この發展振りがまたチェコスロヴァキアの生産力の特別な激増を證明してゐる。

だがチェコスロヴァキアで生産力が増大したのは工業のみではない。農業また然りである。就中、機械及び人造肥料の使用増加の結果、一ヘクター當りの收穫は今日では戦前に比して約一〇%の増大となつてゐる。

遠からずチェコスロヴァキアに起るべかりし問題は、かくも激増した生産装置をどうすべきかといふことであつた。ほんの暫くの間は景氣は言はゞ獨り立ちできたのであつた、といふのは少くとも生産手段を生産する工業は生産装置増大のために作業を行ひ、それで以て或る程度までは國內購買力を擴大したからである。またドイツの二三の産業部門やその他の諸國に於ける外國景氣と、比較的物價高を伴つた二三の豐作のお蔭で、チェコスロヴァキア資本主義は或る期間は破綻を見ずにすんだので

ある。だが驚くべき程増大された生産装置が充分に運轉されるものとすれば、永い間にはまたそれだけ擴大された販賣市場を必要とする。だがそれはチェコスロヴァキア資本主義にとつては、國內でも國外でも算段のできることはない。チェコスロヴァキア資本主義はせいゝのところでは一九二九年にはもはや一九二八年と同じくらゐより賣り捌くことができなかつた。これは増大された生産装置にとつては云ふまでもなく餘りに少な過ぎるものであつた。國內市場の購買力は一九二八年よりもつと少なかつた。これは生産力の全増大が正にプロレタリアートを犠牲にしてなされたからである。殺人的な合理化が行はれてゐた。それで生産力の増大の結果は決して本質的な労働者數の増加でも賃銀引上げでもなかつたのである。農業では、初めは穀物耕作の方ばかりではあつたが、破局的な價格暴落が再び始まつた。これがまた穀物市場を破綻させてしまつた。甜菜耕作者も同様にまた非常に安い價格しか取つてゐなかつた。砂糖輸出を無理矢理に行はんがための犠牲になつたのである。家畜飼養者は一九二九年の家畜價格騰貴から得るところがなかつた、といふのはこの騰貴はとかくしてゐるうちにシンデケートを結んだ商業に利用され、飼養者自身の方は一九二八年の飼料大缺乏の結果殆んど賣る家畜がなかつたのである。國內市場の右のやうな状態をはつきり裏書きしてゐるのは左記の財産移轉稅收入表である。一九二八年及び一九二九年の最初の八ヶ月の財産移轉稅收入は地方別にして次の如くである（單位百萬クローネ）。

(一月より八月まで)

地 方

	一九二八年	一九二九年
ボヘミア	九六六	九五二
モラヴィア	三〇五	四九〇
シレジア	五六	五五
スロヴァキア	一四九	一四三
カルパシアン・ウクライナ	一三	一三

一四

この表で分るやうに一九二九年の最初の八ヶ月の賣上高は、モラヴィアを除けば、各地方とも一九二八年と略ぼ同じ大いさに過ぎない。景氣が一九二九年前半に初めて頂點に達し、且つまた原料輸入指數の如きは一九二九年前半は一九二八年前半に比し二〇%も高くなつてゐるにも拘はらずさうなのである。これに反して一九二八年に於ける財産移轉稅收入は一九二七年に比して終始ともに多かつた。モラヴィアの變則的な成り行きはといふと、モラヴィアでは生産装置の増大が他の地方よりも本質的に永く持續されたからであつて、労働人口の、殊に小農の、購買力が増大したといつたやうな理由からではないのだ。

これと同様な賣行き停滯は外國貿易にも現れてゐる。貨物表の類別に従へば完成品輸出は次の如くである（單位百萬クロネ、最初の十一ヶ月）。

一九二七年

一九二八年

一九二九年

一七、七九七

一三、一三六

一三、一三六

總輸出を見れば事態は一層險惡である。即ちやはり各年最初の十一ヶ月、單位百萬クロネとして次の如くになつてゐる。

一九二七年

一九二八年

一九二九年

一七、七八〇

一九、〇五九

一八、三六五

一九二九年の輸出沈滞の原因は何よりも先づイギリスの關稅政策の結果砂糖輸出が減少したことに歸すべきである。つまり外國貿易でも、せい／＼のところ販賣停頓といふ有様である。しかもこれさへも、労働人口の生活水準をより激しく壓迫し、また一部は遠國へ外國貿易の手を延ばしてやつと得た結果なのだ。チェコスロヴァキアはその自然的販賣地域では、殊にドナウ市場では、どう見ても相對的には次第々々に勢力を失つてゐる。ドナウ諸國が自國の工業を擴大し、且つまたヤング案のドイツがあらゆる手段を盡してチェコスロヴァキアをこれらの市場から逐ひ出さうとしてゐるからだ。チェコスロヴァキアの靴工業は販路爭奪戰の古典的な例である。隣接市場例へばドイツの市場から高關稅でもつて段々逐ひ出されてゐるので、アメリカへの輸出を増加しつゝある。だが一九二八年の輸出高へ完全に達することはできないのだ。

つまり今日チェコスロヴァキアを經濟恐慌へ導いてゐる二つの要素は、一つは激増した生産装置であり、他は停頓といふよりはむしろ減退してゐる賣行きである。生産水準が大體に於て前と變りない

三 東ニ及び中央ヨーロッパ

一四

にも拘はらず恐慌が勃發するといふことは現在の情勢では典型的なことである。勿論これは時が経つにつれて生産水準減退といふことに現はれて来るだらう。チェコスロヴァキア資本主義はつまり、その戦後第三期に當つて、生産力發展と生産關係との間の資本主義的根本矛盾が異常に尖鋭化してゐることを示すのであつて、その一つの現はれが今始まつてゐる經濟恐慌に於て見られるのである。この尖鋭化は他のいろ／＼の形で現はれる。市場と投資領域獲得のための鬭争の尖鋭化、戦争準備、激烈な合理化、労働者階級への政治的壓迫の増大、社會民主主義の社會ファシズムへの轉化、そして結局はファシスト獨裁建設への努力、がそれである。

二 農業恐慌

チェコスロヴァキアの經濟恐慌は先づ最初に、また最も激しく平原地方に農業恐慌として起つた。一九二八年の收穫はレコードを作つた。この收穫は價格高と、労働人口の購買力の低いのとに妨げられて賣捌きができなかつた。それへもつて來て、北米、カナダには大豊作があり、且つまた(例へばポーランドのやうな輸出)プレミアムの補助を受けて、外國穀物が安値でチェコスロヴァキア市場へ投げ込まれた。それで輸入穀物、麥芽、莢豆、麥粉、米の價格は一九二八年最初の十ヶ月に一噸千九百五十一クローネだつたものが一九二九年には千七百三十五クローネとなつた。一九二九年には、かういふ事情の結果穀物、馬鈴薯の急速な價格崩落が起つた。その暴落振りは次の如くである。即ち、最近年のプラーグ取引所十月相場は各生産物百キログラムにつき次の如し(單位一クローネ)。

一九二八年	一九二九年	小麥	ライ麥	大麥	燕麥	馬鈴薯
一九二	一七六	一七三	一七〇	一七〇	三三	
一五五	一五五	一四四	一三〇	一三〇	二〇	

地主黨はこの價格崩落を單に外國穀物の競争にのみ歸してもつて高率關稅の施行を理由づけやうと欺瞞的な企てをしてゐる。だがこれは明かに正しくない。なぜならば、事實、ライ麥は前年よりほんの少し安かつたが北米小麥の價格は一九二九年十月には前年同月よりも確かに高かつたし、のみならず一九二九年最初の十ヶ月の外國パン用穀物、小麥粉の輸入は量から言つても前年同期の輸入の三分ノ二にしか當つてゐないといふ事實もあるからだ。だからと言つても勿論穀物市場の價格暴落によつて農業の情勢が一層險惡になつて來たことには變りがない。勿論こゝでは中小農は問題外である。なぜならば彼等はふだんでもパン用穀物馬鈴薯を賣りはしないからだ。一九二九年の收穫の結果、穀作農と大地主の状態は一層不利になつた。價格安へもつて來て、作付面積の激増にも拘はらず收穫が前年より遙かに少いからだ。(單位百萬ドッヘルツェントナー)

一九二九年	一九二八年	小麥	ライ麥	大麥
一三・一	一四・〇	一六・一	一七・八	一四・〇
一三・八	一四・〇			

三 東ニ及び中央ヨーロッパ

たゞ燕麥と馬鈴薯にあつては收穫は増してゐるがその代り價格崩落も亦た極めて著しいものがある。穀物及び馬鈴薯市場のかういふ事情は平原地方の購買力を甚だしく縮小し、生産手段及び消費手段の賣行きを減退を來し負債増加へと導かざるを得ないことは明かだ。だが、小中農はと云へば、その購買力は大部分家畜價格に依存し、穀物、馬鈴薯の價格安は有利なのであるが、これも亦た、家畜價格の高いにも拘はらずこの情勢にあつて一儲けすることができなかつた。一九二八年のうちその家畜の大部分を賣放さざるを得なかつたからである。だが今家畜飼養は増加しつゝあるから近いうちにはまた家畜市場へ反動の來ることを豫期しなければならぬ。

三 工業に於ける恐慌の發展

チエコスロヴァキアの農業は、少くとも穀物及び甜菜耕作に關しては、既に重大な恐慌のまつたゞなかにあるのだが、工業では恐慌は今始まつたばかりだ。特に直接大衆的消費に供給する工業部門、例へば靴工業、繊維工業、出來合服工業、食料品及び嗜好品工業、金屬商品工業では賣行きが減る一方で、生産を制限せざるを得ないのである。生産手段工業はまだそれほど恐慌に捲き込まれてはゐない、だがこれとてもまた既に多數の労働者解雇を行つてゐる。といふのは生産装置の改善、合理化の激化によつて少數労働者でもつて充分に従通り生産し得るからである。住宅建築事業は一九二九年に入るとも前年に比してすつと振はない。労働大衆が新しい建物へ入ることができないからだ。かうして大ブライグへの建築材料輸送は一九二八年八月の十三萬七千噸に比べて一九二九年八

月には（つまり絶好建築季節の最中にだ）六萬一千噸になつてゐる。國立統計局調査による景氣に敏感な商品の指數は（一九二七年九月一日を一〇〇として）一九二九年四月には未曾有のレコード點たる一〇三・七に達したが、その後絶えず低落して一九二九年十月にはこれまた未曾有のどん底九二・一に達した。同様な景氣反落の様相は取引所にも現はれてゐる。工業株及び運輸事業株の取引所指數は一九二九年三月には一五五（一九二七年三月三日を一〇〇として）といふ頂點に達したが、十一月には一三三まで低落したのである。ウーリツヒ Daise 博士の計算による原料輸入指數は、季節的變動を除去して、一九二九年上半期には一三三の頂點にゐたのが十月には一一〇へ下つてゐる。恐慌への道はまた支拂停止の激増にも現はれてゐる。一九二九年十一月には三一七の支拂停止の報告があつた（一九二八年の二四五に比べて）、かくて一九二三年以來の各年十一月中の最大數に達した譯である。清算の際の負債超過は、一九二八年の最初の十ヶ月の二億二千四百八十萬クローネに比べて一九二九年同期には三億六千六百九十萬クローネとなつてゐる。

恐慌發展の様相は失業に關する數字に極めてはつきりと現はれてゐる。求職失業者の數字は次の如く發展してゐる。但しこの數字は到底全失業者を示すなどいふ譯には行かない。これはたゞ労働局へ申告したものだけの數である。だが失業者の大部分はこの申告をしない。なぜならばチエコスロヴァキアには何等一般的な失業扶助が行はれてゐないからだ。

	一九二七年	一九二八年	一九二九年
一月	八三、三七	五七、一四	五三、二四
二月	八三、三〇	五五、一八	五三、三四
三月	七二、八七	四六、六九	四九、七〇
四月	六〇、三六	三九、四三	四三、〇九
五月	五三、四七	三五、九九	三六、一八
六月	四三、四六	三三、七〇	三四、四三
七月	三九、三二	三三、四八	三三、七一
八月	四〇、八三	三四、〇八	三四、七九
九月	三七、六四	三一、二六	三四、三二
十月	三五、七七	二九、三九	三四、七三
十一月	三六、三〇	二九、九二	約三、二〇〇
十二月	四三、五一	三九、四〇	—

確かにこの数字は實際の失業のほんの三分ノ一乃至四分ノ一を示すに過ぎない。だがその發展はこれの上なく特徴をよく現はしてゐる。これによつて見ると一月を除けば一九二九年の最初の數ヶ月間の失業者數は一九二八年よりも多かつた。これは確かに冬が非常に厳しかつた影響である。七月には一

九二九年も一九二八年もほど同じくらゐだ。だがそれ以後は全く別々な發展を示してゐる。失業者數はぐんぐん上つて一九二九年十一月には既に前年同月よりほど三〇%多くなつてをり、こゝに初めて一九二七年の失業者數を再び突破したのである。この失業の本質、及びその合理化との聯關に就いては後述することゝして、こゝではこの數字をたゞ經濟恐慌來の例として用ひるだけにする。何と云つても注意を惹くことは、一九二九年前半は一九二八年前半に比して生産水準が遙かに高いにも拘はらず失業が増大してゐるといふことだ。これは強度の合理化の結果である。

四 支拂差額の逆轉

チェコスロヴァキア資本主義に起つてゐる恐慌については何より先づ、事態を困難ならしめてゐる或る一つの事情に言及しなければならぬ。チェコスロヴァキアの支拂差額は一九二九年中に異常に悪化したのである。既に一九二七年、一九二八年中に國內大投資の結果、貿易額の出超は減少した。といふのは原料品輸入が完成品輸出よりもずつと激増したからである。だがそれでも一九二八年には貿易差額出超は約二十億クローネであつた。一九二八年初めて支拂差額の經常項目が決濟されたのでこの出超額はチェコスロヴァキア公債の外國からの買戻しや、資本輸出やに宛てられた。資本輸出はチェコスロヴァキアにとつては國外に強力な商品販路を増加せんがために重大な意義をもつてゐる。だが輸出の減退、輸入の不斷の増大の結果チェコスロヴァキアの貿易差額は、一九二八年最初の十一ヶ月の出超十七億八千三百萬クローネに比べて、一九二九年最初の十一ヶ月はたゞの一億七千八百萬ク

コーネに過ぎない。つまり正に今こそチェコスロヴァキア・ブルジョアジーが資本輸出を最も必要不可欠とする時だらうに、支拂差額はかゝる項目を彼等の思ふ儘にさせないのである。チェコスロヴァキアは反つて外國信用を求めざるを得ないので。これは年末に人々が見た通りである。この全成行きはすべて言ふまでもなく經濟恐慌の解決を助けるものでは決してない。むしろそれを益々尖鋭化するものである。

五 金融資本の壓迫と經濟闘争

經濟恐慌の開始は云ふまでもなくもう労働者階級、小農及び勤勞人口一般の上へのしかゝる金融資本の壓迫を異常に激成してゐる。合理化が今日既にいかに激しくなつてゐるかは、工業生産が前年とほぼ同じ規模である今日既に失業者数が約三〇%増加してゐることによつて明かである。なほ例へば十月の石炭總消費高は(すべて石炭に換算すると)一九二九年には二百六十萬噸になつてゐるが、一九二八年十月には二百五十萬噸足らずであつた。しかもそれにも拘はらず失業者は前年に比して殆んど二〇%も多いのだ。いかに無鐵砲に合理化が行はれてゐるかは、一九二九年十月に時間外労働時間数が百九十四萬八千時間に達し、一九二八年同月に比し約十萬時間の増加となつてゐる事實から見ても分る。失業者軍は今合理化と經濟恐慌との結果として發生しつゝあるが、これはまた不斷に増大しつゝある産業豫備軍の根幹と見て差支へない。現在失業に襲はれるものは主として不熟練の且つまた多くは未組織の労働者である。チェコスロヴァキアの社會ファシストたちは(そのなかにはハイスイ

派もゐる)ベルリンの「フォルヴェルツ」の手本にならつて彼等をルンペン・プロレタリアートだの、労働者階級の害虫だのと罵つてゐる。そしてゲント・システムでは、組織され且つ永く續けて仕事に就いてゐた労働者のみが失業扶助を受ける結果、彼等失業者は酷い窮乏の犠牲になつてゐるのだ。ブルジョアジーはまた恐慌に最も手痛く襲はれた二つの産業部門でいち早く賃銀引下げを遂行した。纖維工業、殊に靴下工業に於て一〇%、農業労働者には一五%の引下げである。靴下工業ではその結果部分的ストライキを惹き起した。金融資本は、労働人口が穀物價格の低落によつて安いパンにありつくことさへも非常に有効に妨げることを心得てゐた。食料品價格は小賣では最も高價だつた時と同じ高さなのである。これを極めてはつきり説明する一つの例がある。食料品嗜好品の卸賣指數は一九二八年十月から一九二九年十月にかけて九二九から八一三へ低落したのに、一労働者家族の生活水準の官廳指數は六點といふ「どえらい」低落で七四〇から七三四となつたのである。金融資本はまた暴利價格でもつて消費者としての労働者階級をもう一度搾取することをよく心得てゐるのである。この經濟恐慌と同じ方向へ作用するものにヘーグ會議でまとまる筈の賠償問題の最終的規制がある。勿論チェコスロヴァキアの賠償は決してドイツと比べるべくもない、なぜならば年支拂額千二百萬マルクとなるだらうから。だがこの賠償にしたところで勤勞大衆から先づ搾り取らなければならぬのだ。

だが労働者階級の貧窮状態は一九二九年には豫期したほど充分には大經濟闘争となつて現はれなかつた。社會民主主義は完全に社會ファシストに轉化した。彼等はストライキ手段を實踐に於ても早や

完全に放棄し、武装せるストライキ破りを組織した。赤色労働組合運動と×××は今労働者階級をストライキに於て××××××ものとなつた。だが従来その力が弱いのでこの惨めな労働者階級の状態にふさはしいやうな、又彼等の欲してゐるやうな闘争を捲き起し指導することはできなかつた。比較的大きなストライキと云へば、北ボヘミアの紡績労働者ストライキ、スロヴァキアの農業労働者ストライキ、北西ボヘミアの鑛山労働者ストライキだけが、これは赤色労働組合と××××××とに××××××された。これらの事實からして、ストライキ日数が前年同期の百七十六萬五千日に比べて一九二九年最初の十ヶ月はたつた六十一萬九千日だつた譯が分るのである。

六 恐慌対策

ブルジョアジイは言ふまでもなく勤勞人口を犠牲にして恐慌を解決せんと努力してゐる。詳細な綱領は今までのところではたゞ農業恐慌についてのみできてゐる。これは十二月初めの農業委員會共同會議で作成されたものである。極く簡単に云へば次の如き特徴をもつてゐる。即ち農業資本は恐ろしく高率な保護關稅を要求し、自分の地位を強めて獨占的支配へ達しやうと熱望してゐるのだ。この會議の花形ツァ、ディナ、Zadina 博士は次の三主要任務を提唱した。

『(一)農業生産物の價格をその生産費に相應した高さに安定させ、以て國內農業の収益を確保すること。』

(二)主要農業部門一切のための販賣組織の強化深化。(三)農業生産物の品質の向上確立、その理由

はたゞ優良なる品質のみが良い値と好調な輸出を確保するからである』。

個々の點では農業資本は今日次の如く要求してゐる。現在の自主穀物關稅は協定關稅と解すべしと。これは關稅の倍加を意味してゐる。家畜關稅では頭數稅を重量稅に變へることを望んでゐる。後者によると生きたまゝの目方で一キログラムの關稅は豚三クロネ、牛二クロネと成り、平均して見ると約三倍位に引上げることとなる。のみならず重い財産移轉稅を輸入の場合に施行すべしといふ。その上に農業資本は輸入制限及び許可制度復活を望んでゐる。國家の援助の下に輸入シンデケートが作られ、そのシンデケートの金融上の助力によつて販賣組織を作るべしと云ふのだ。更に將來の見地からして農業資本は社會フランスと完全に一致して穀物獨占を要求する。農業資本による小農の支配をヨリよくするために規格化が遂行さるべきである。殊に農産物の賣捌き會社が作られ、そのために國家は年々五千萬クロネを補助すべきだといふのだ。この農業恐慌解決のための綱領は一見して金融資本の綱領だといふことは明かである。保護關稅壁の下に消費者からの搾取を一層強め、種々のシンデケート、販賣組織、賣捌會社の完成によつて小農に完全に農業資本の足軛をかけておかうとするものだ。これを實際に遂行する上には、もう今までに一つの方策が成功してゐる。即ち製粉業に小麥を内國物六〇%外國物四〇%の割合に混和して製粉すべき義務を課し、かうして國內小麥の賣行きを高めやうと云ふのである。も一つの計畫は近々法律となるべきもので、將來の諸方策の全體系の特を示すものであるが、それは信用基金の創設といふことである。この基金は差當り一千萬クロネを

運用するが、一部は人造肥料値上げ、一部は國家によつて捻出されるのである。基金管理局は生産市場の状況を調査し、供給増加の時には農業資本の支配してゐる協同組合に干渉買占めをさせなければならぬ。その後これを賣放す際、損失を見るかもしれないが、これは基金でうめ合はせるといふ寸法である。この方策がたゞ農業資本にのみ都合いゝものだといふことは贅言を要しない。といふのは小農は物産取引所で穀物を賣ることがないからだ。最も特徴あることは、チェコスロヴァキアに於て金融資本の政治上の最も重要な代理人たる社會ファシストたちが、農業資本の直接の強化といふ結果をもたらす諸方策——何よりも先づ穀物獨占——を、最も熱心に遂行しやうと努力してゐることである。

工業恐慌解決の方は金融資本の掠奪プランがまだこれほど詳細にはできてゐない。主なる要求はこゝでは輸出奨励と統一的關稅率に關するものであつて、後者のうちでは何よりも先づ化學品と機械の關稅を引上げんとするにある。金融資本の掠奪行軍の最も重要な構成部分をなしてゐるものはこゝでは銀行、金融機關、協同組合を國家資本主義的に集中して一つの國立金融審議會を作ることである。攻撃の主力は云ふまでもなく、社會ファシストの産業平和政策、合理化増大、質銀の値下げ等の手段をもつて、直接に労働者階級へ向けられるだらう。この方向をとるものとして、強制労働協約、強制調停裁判管轄權、労働裁判所設定等々に關する法律の計畫ができてゐる。同時に労働者の出費による失業保險の實施、ビール、砂糖の値上げによつて労働者の×××××行軍が組織されるだらう。ピ

ールや砂糖の値上げについては既に具體的の話ができ上つてゐる。

七 社會ファシスト政府の正體

チェコスロヴァキア金融資本のこの全掠奪計畫の遂行が、強大な工業プロレタリアート及び廣汎な小農大衆の激烈な反抗にぶつゝかることは白明の理だ。だからチェコスロヴァキアの經濟恐慌、資本主義安定化一般の激烈な震撼に顧みてチェコスロヴァキア・ブルジョアジエは社會ファシストを政府へ引き入れ、いやそれどころか、形はともかく實質では政府の首腦とすることをすら得策と考へるやうになつてゐる。一九二九年十二月十三日附の首相ウドルツァル Udrzal の政府聲明に於てもまた宜なる哉、殆んど眞先に言はれた文句は次の通りだ。

『余の主班たる政府は、かの幾多の重大なる危機に充ちてゐる現在の世界經濟状態と、密接に關聯する大問題、別して經濟問題の解決を待望するものである。如何となれば、正に今日のこの重大なる經濟上の憂慮こそ、各方面の人民層を代表する分子を糾合し、一つの聯合を結ばしめるものなのであり、この同盟の任務は先づ第一に恐慌のこれ以上の彌漫を抑制し、以て今日の切迫せる情勢より起る攪亂を再び善處善導せんとするにあるからである』。

なほ一層はつきりとこの意見を述べてゐるのは政府の公式機關紙『チェコスロヴェンスカ・レプブリカ』 *Ceskoslovenska Republika* 十二月二十一日の論說である。曰く、

『與黨多數派は内部的にも一蓮托生責任負擔の覺悟ができてゐる。なぜならば彼等は全體としてあら

は既に十一月と十二月との兩月の生産制限にも亦た現はれてをり、このことは個々の炭鑛區でそろそろ作業の一部休業を始めたことにも亦た現はれてゐる。

製鐵業と採鑛業とでは一九二九年の銑鐵總生産額は約二百萬噸で、それに應じて銑鋼の生産も増加した。鐵の輸入は輸出に較べて絶えず増加して、一九二九年の初めの十ヶ月間に既に五十萬噸になつた。このことは注目すべきである。

纖維工業でもはつきりした恐慌が現はれてゐる。失業者數の増加はこの恐慌の一つの徴候である。

木材輸出はチェコスロヴァキア經濟の主要な構成部分だが、この工業部門でも最も主要な木材種類は夥しく輸出が減少してゐるのがわかる。

外國貿易差額はチェコスロヴァキアの經濟恐慌を非常に明瞭に特徴づけてゐる。昨年分には最初の十一ヶ月を見る。

外國貿易(單位十億クローネ)

	輸入	輸出	輸出超過
一九二五年	二五・六	一六・八	一・三
一九二六年	三三・六	一五・九	二・三
一九二七年	三五・六	一七・八	二・二
一九二八年	一七・三	一九・一	一・八
一九二九年	一八・一	一八・三	〇・二

輸入は増加しつつあり、輸出は減少してゐる。そして一九二九年の貿易差額はなほ出超ではあるが二億クローネばかりの出超は既に經濟危機の徴候だといへる。出超減少は急テンポで進み、半期の貿易差額は入超だつたのだからなほ更さうだ。

經濟恐慌はまた一九二九年の支拂停止レコードにも現はれてゐる。去年は特に最後の四半年に破産も和解手續も著しく増してゐる。最近三ヶ年分の數字を次にあげやう(單位百萬クローネ)。

年度	和解數	債務總額	債務超過額	破産數
一九二七年	二、四三四	七五七	三七〇	五〇三
一九二八年	二、二四五	五九五	二九〇	五一八
一九二九年	二、八六四	一、〇三三	四六五	六五〇

一九二八年に較べて 増七四九 増四三八 増一七五 増一四九
三三% 六六% 六〇% 三六%

二 恐慌對策と合理化

ブルジョアジイはもう數年も前から、生産の合理化——これはカルテル化と密接な關係がある——を激化して經濟危機を克服しやうと努めてゐる。特に纖維工業と金屬工業とではカルテル化をやり擴

三 東ニ及び中央ヨーロッパ

大した經濟單位を作らうとして非常な努力を拂つてゐるのが見られる。軍需品工業は對サヴェート同盟戰爭準備を顧慮してチェコスロヴァキアでは著しい役目を演じてゐるが、この工業では統一的コンツェルンを作らうと努力してゐる。統一的コンツェルンは何よりも先づスコダ工場 Skodawerke、ブリュン兵器工場 Brüner Waffenwerke、ルベン・ダネク工場 Kolben-Danek-Betriebe の合併となつて現はれてゐる。

こうした集中運動は一方では大工場の休止に導きつゝあるが、他方では存続してゐる諸工場でも合理化を遂行する結果、幾百も幾百もの労働者は織維工業からも、金屬工業からも、その他あらゆる工業部門から解雇されつゝある。

デント・システムを使つて失業増加を一時的にはままと隠蔽してゐるが、今ではもうデント・システムによる報告でさへも失業増加となつて現はれる恐慌増大を拭ひ消すには充分でない。統計局の報告によると失業者数は昨年十月末に三萬四千七百二で、十一月末に三萬八千二百三十九であつた。これによつて見ると失業の増加は一一%だ。ところが一九二八年の同期には失業増加は二%にすぎなかつた。一九二九年十一月末は一九二八年よりも失業は三〇%多かつた。就職口が一萬八千八百八十から一萬四千五十へ減少したのは、失業者の状態が見込のないことを物語つてゐる。失業が増加すると同時に就職口が減少するのは合理化が進展し、經濟恐慌が進展してゐる徴候である。

どれほどひどくチェコスロヴァキア資本主義が攪亂されてゐるか、また實施せらるべきあらゆる方

策がどれほど見込が無いものかは、この資本主義經濟恐慌「解決」問題に於ける無策ぶり、また特に穀物獨占問題、關稅引上げ問題に於ける議論を見ればわかる。經濟綱領總體がチェコスロヴァキア金融資本の指令に従ひ、またその利益通りに施行されることは疑ふ餘地がない。總經濟恐慌の一部分としての農業恐慌でさへ金融資本の利益通りに解決されるだらう。また社會ファシストたちが穀物獨占を提案して社會ファシズムが金融資本の代辦人だとの化の皮をあらはすのも丁度この農業恐慌に當つてである。その穀物獨占のうしろには、社會ファシストの大購買組合、農業協同組合——そのうしろにはアングロ銀行が控えてゐる——、スコダ工場が控えてゐる。スコダ工場は穀物獨占施行が國內農業の獎勵となつて農業機械が賣れるやうになることを期待してゐるのだ。この部分は恐らく妥協で終るだらう。この妥協では穀物獨占と結びつけて關稅引上げが企てられるのだ。一般に言つて恐慌「解決」の總體的な計畫はまだ少しも立てられてない、ただ一つ確かなことは「解決」は労働人口を犠牲にして遂行されねばならぬといふことである。ヘーグ會議の終結に際して大藏大臣エングリスはこれを繰返して言明し、賠償債務を支拂ふには國內消費を切りつめることが必要であると確認してゐる。これは關稅引上げ、穀物獨占、合理化、貸銀切下げ、借家人保護廢止、利子引上げ及び住家稅引上げ等による労働大衆の生活水準引下げ——一言で言ふと労働者たちを極度の貧困につき落す一つの飢餓計畫を意味してゐる。國家豫算を見ても、經濟恐慌は労働者を犠牲にして解決される勘定になつてゐることが分る。租稅豫算をとつてみる。直接稅が十七億四千七百萬クローネから十五億九千七百萬クロー

ネに引下げられ、この一億五千萬クローネは有産階級への贈物を意味してゐることが分る。収益税は一億三千万クローネだけ引下げられた。間接税はといふとこれとは反対に四億クローネだけ増して七十七億クローネにむりに引上げられてゐる。財産移轉税額は七千万クローネだけ引上げられ、關税は四千八百萬クローネの引上げ、必需品税は八千三百萬クローネの引上げ、手数料は二億クローネの引上げを見てゐる。こうした様相は一つ一つの租税を考へてみると、もつとはつきりする。一つ一つを考へてみるとかういふ個々の金額の引上を蒙つてゐるのは丁度大衆消費品であることがわかる。

三 闘争の昂揚と社會ファシスト

ブルジョアジーのかうした試みに答へるのに労働者大衆はその闘争用意を高めることをもつてした。この闘争用意は何よりも先づあらゆる産業部門あらゆる地方に亘る労働者階級及び農民階級の活動増大となつて現はれてゐる。かういふ革命的闘争用意の増大は何よりも先づ、未組織労働大衆が決定的役割を演じる自發的ストライキの増加に現はれてゐる。西北ポヘミヤの鑛山労働者の十一月ストライキに次いで非常に多數のストライキと閉出ロツファクトとが起つた。そして資本家の攻撃を防がんがためにアインジール Einsiedel の硝子労働者も、タンヴァルド Tannwald の金屬労働者も、ワルンズドルフ Warnsdorf とテレンジヒンタール Theresienthal との纖維労働者も、ブライシニェッタット Bleistadt やウンター・ライヘナウ Unter-Reichenau の硝子労働者も數週間前からすでに闘争をやつてゐる。十一月及び十二月のストライキ統計を見ても亦た急進化の徴候を確認することが出来る。

十一月と十二月とはは各々十三件のストライキが起つてゐて、十一月は十九工場十二月は十八工場であつた。十一月にはストライキ労働者數は四千五百五十一人、十二月には六千七百八十一人、ストライキ労働日數は十一月には一萬七千四百四十二日、十二月には四萬五千五百八十三日であつた。その時の賃銀損失は十二月には百十三萬七千六百三十六クローネ、十一月には四十七萬三千二百七十三クローネと記されてゐる。この概観でわかるやうにストライキの期間は長くなつてゐる、またストライキ参加労働者層は益々増加してゐる。失業者の活動、他の労働者層の連帶行動、デモンストレーションを見るのは、ストライキ運動が闘争に動員する労働者層の増加してゐる證據である。その上あらゆる闘争に諸對立の非常な尖鋭化、労働者階級の非常なねばり強さが現はれてゐる。

だが社會ファシストは賃銀切下げやストライキ破り擁護の行動を公然としてゐるばかりではない。賃銀の引上げを斥ける團體協約を結んでゐるばかりでもない。ガブロンツ Gablons の失業者示威の際やウンテル・ライヘナウのストライキ硝子労働者のデモンストレーションの際には労働者に發砲してゐる。これは社會ファシストの聯立政府時代に初めてのことである。これが社會ファシストの大臣によつて労働者保護に實施された「新精神」なのだ。社會ファシストはゲント・システムの維持に賛成し、失業者扶助切下げによつて遂行されるといふ『改良』『だけ』を認めたり、失業の増加と合理化の激化とにつれて同じやうに増加しつゝある時間外労働の問題に直面して、時間外労働を斷乎として全然禁じてしまはないで、時間外労働の許可はもつと慎重に與へやうと提議するばかりだ。かういふ

こともこの新精神に現はれてゐる。一回限りの救助だとか、ストライキ法の序の口となるにちがひないビケティングの禁止だとか、全国へ憲兵を増員するとか、かうしたことがファシストや社会ファシストやの綱領であり、労働者保護の「新精神」である。

政府に加つてゐる社会ファシストたちはかうした綱領の實施だとか、急進化しつゝある労働者大衆労働組合並びに×××に對する闘争だとかは強力方策をとつてのみやれるものだといふことを知つてゐる。だから新新聞紙法を實施したのも、ファシストの憲法改正問題、議會と獨立の官僚政府の問題を提案したのも社会ファシストたちに外ならぬのである。國際帝國主義及びファシズムの最大の任務を果すために、即ちサヴェート同盟に對する戦争、社会主義建設に對する戦争を遂行するために、チエコスロヴァキアの革命的プロレタリア抑壓はかういふ風に行はれ、また尖鋭化しつゝあるのだ。

第五 ギリシヤ

一 ギリシヤ恐慌と闘争切迫 (ワレッキ、一九三〇年二月五日)。

一 恐慌來とその對策
 『生來の樂天家』たるヴェニツェロスは、『ギリシヤ國民』に與へた年頭祝辭のなかで次のやうに聲明した。

『一九二九年が一九二八年よりヨリよき状態になつたと丁度同様に、一九三〇年は一九二九年よりもヨリよい結果になるだらう。』そしてそれ故に——と彼は續ける——國家の安寧秩序に關してはこの新しき年は平穩に經過し、不安によつて掻き亂されることはないだらう、と確信する』。

穩健反對黨の領袖たる『進歩主義者』カファンダリス Kafandalis は、ヴェニツェロスの獨裁政體が現在の條件の下に於てギリシヤにとり正しいものであるかどうかを疑つてゐる者なのだが、彼との論戰に於て、政府機關紙『ヘステイア』Hestia は次のやうに書いた。

『問題をギリシヤ人らしく、冷靜着實に取扱ふならば、吾々は、世界經濟恐慌の困難なる年を最も確實に切り抜けて一國を救ふ舵手は、ギリシヤではヴェニツェロスを描いて外にないことを認めなければならぬ』。

これがもうすでに些か『樂觀的』でなく聞える。これはもはや『一九三〇年は一九二九年よりもヨ

リよい結果になるだらう』のやうには響かない。なぜならば、一九二九年——政權獲得後ヴェニツェロ
スによつて布告された『四ヶ年計畫』の第二年度が、現實に、ギリシヤ國民經濟と彼の『國內平和』
とにとつて破局的決算をもつて終り、且つ將來の見透しもその破局的な度合を減じてゐないからであ
る。

この國は經濟生活の全領域——工業・農業・商業——に於て、頑強な益々激化する恐慌に見舞はれて
ゐる。工業生産の價値は一九二八年の六十七億ドラクマ(1)から、一九二九年の五十七億に減少した。
破産の數は一九二八年には百八十九件だつたが、一九二九年には十一月で三百八十二件に増加した。
アテネ取引所の有價證券は止め度なく下落し、そのために一年間に價値の三分ノ二までも損害を蒙つ
た人が多い。例へば、三つの鑛山會社株は九十一から四十七に、四つの織維會社株は六十八から四十
三に、五つの麥酒會社株は百三から五十七に暴落した、等々。穀物作付面積は六%以上、羊の數は二
五%以上減少した。貿易差額上の入超は昨年に於けると同じで、輸出は輸入の半分だつた。最近數年
間の租稅滯納金を農民から搾り上げたので、豫算は形式的には不足なしだつたが、最近數ヶ月は大穴
があいてゐる。豫算の六分ノ五は間接稅から成つてゐて、しかも豫算總額は少くも國民總所得の三分
ノ一になつてゐるといふ有様だ。歳出も亦たこれに劣らぬ特色を持つてゐる。即ち歳出の半分は軍事
費と外國債償却とに飛んでしまふのである。

(1) 七十五ドラクマが一弗に等しい。

各種の資本家團體が政府に建じた多くの覺書は、恐慌の主要原因を指摘するよりも、寧ろ『都市と
農村とに於ける』消費者の購買力の減退を指摘してゐる(國民經濟省に宛てたアテネ商業會議所の覺
書)。

農相は、ギリシヤの農家の經濟の遅れてゐることを『ギリシヤ農民の窮態の最も深い原因』として
指摘してゐる。言ふまでもなく農民大衆が租稅と高利とによつて破滅させられることなどには少しも
論及してゐない。彼は續いて説明して曰く『從來の耕作方法が續けられる限り、情勢の好轉が期待し
得ないどころか、情勢の悪化を豫期せねばならぬ』と。昨年土地改革の遂行が中止されたこと——(有
償)收用さるべかりし千五百の農場の僅か三分ノ一が分讓された後——及び年末に行はれた大農援助
のための農業銀行の創立は、數百萬の農民大衆——彼等の大部分はトルコからの逃亡者である——の
貧窮を増大させるだらう。

ギリシヤの農村に於ける激しい恐慌の主要原因の一つは、ギリシヤの主要輸出品たる煙草の價格の
下落、並びに世界市場に於ける他の高級煙草供給者の競争の増大である。

工業が『競争能力』を得るために用ふる主要な闘争方法は、大銀行と政府との直接参加の下に行は
れるトラストへの合同化と合理化とである。これを促進するために政府は最後の手段に訴へた——政
府は四百萬英貨磅の在外預金『安定化』公債の残りの一部を流動化し、これを大銀行の媒介によつて
『生活能力ある』企業のための用ふることを決意した。但しこれらの企業が徹底的に合理化を行

者は負傷し、一名は殺された。四月にはピレウス Piræus の七千の港湾労働者と五千の郵便電信官吏がストライキをやつた。六月には再びピレウスの六千の港湾労働者と千五百の化学工業労働者、七千の絨毯工及び繊維労働者がストライキをやつた。このストライキも亦た警察や憲兵との闘争並びに血の犠牲を伴つた。六月には東マセドニア Ost-Macedonia の煙草労働者（一萬五千）が、戦争犠牲者の行進と自分たちとの連帯性を示すために二十四時間ストライキを宣言した。八月一日には××××××××××従つて一萬五千の労働者が反戦ストライキに参加した。十月にはアグリニオ市 Agrinio で失業煙草労働者がデモをやリ、都市を占領し、バリケード戦のあげくやつとこれを明渡した。同時にファソー Fasso 島の煙草労働者は数隻の汽船を占領し、カバル Kavali に向つて示威行進をやつた。十一月から十二月にかけてはサロニキ Saloniki の市街電車労働者千五百人とアテネのガス工場労働者千八百人とがストライキをやつた。十二月にアテネとピレウスとで、二千五百以上の市街電車従業員と自動車運転手とがストライキをやつた。最後に一九三〇年一月早々サロニキの煙草労働者の嵐の如きデモがあつた。その際警察との血なまぐさい衝突を見た。これらの重大ストライキの外、建築労働者大工、皮革工セメント労働者はストライキ運動に加はつてゐた。

この昂揚の特徴は次の如くであつた。曰く闘争の攻撃性（賃銀値上げ、社会保険、八時間労働日が要求された）、政治闘争への発展（テロル反対、労働組合と××××××××、被逮捕者の解放、××××××××法反対）、高度の闘争形態への移行（アグリニオとカバルに於ける）、闘争に引き入れられた未組

織労働者（化学工、繊維工、絨毯労働者の全ストライキ人員の八〇％）並びに婦人労働者（繊維工、絨毯婦人労働者、主として小アジアその他からの逃亡者）の活潑さ。

最後に失業者——その数はプロレタリアート總数の四分の一に達した——の頑強な、益々激烈化する闘争を挙げなければならぬ。

直接ヴェニヅエロスの御用を勤めてゐる舊阿姆斯特ダム一般労働者組合の改良主義者や警察と阿姆斯特ダム・インタナショナル支部とによつて組織された武装ファシズム團體の指導者、所謂「アルヒーヴォ・マルキスト達」は労働者大衆に對立し、大衆の戰鬥性を打ち壊さうとしてゐた。あらゆる行動を通じて現はれる労働者大衆の戰鬥性はこのことによつてなほ著しくなる。

燃え上る労働者の革命的闘争と同時に、最も廣汎な農民層の奮激も高まりつゝあるが、それは、デモに、集會に、農民の武装行動に現はれた。一月にはサロニキ附近の二農村で憲兵と農民との間に血なまぐさい衝突が起つた。これは農民が没收された土地を政府に引渡すことを肯んじなかつた結果だ。テッサリア Thessalien の農村の一つでは農民の集會があつたが、その席上では重税の廢止、自治制の制定と同時に反共產主義者法の撤廢が要求された。二月にはトリポリ Tripoli 地方の五百の農民が、その村の排水地の引渡しに反対し黒旗の下にデモをやつた。ファノ Phano 島では八月に、××××××理由で憲兵に捕へられた一農民を××××××解放した。十月には西マセドニアの多數の農民代表がセーレス Seres に行き、信用と××××××とを要求した。十一月にはペローネス Pelones の數多

